

0001

昭和四年

聯合二十周年紀念對不穩文書

0003

思想係檢事



調查資料第十四輯

昭和四年十月

昭和四年八月十九日
併合三週年記念
關東不穩文書

朝鮮總督府警務局圖書課



昭和四年八月二十九日、彼等、所謂併合五週年、記念日デアル。
 此ノ記念日ノ前後即チ八月初メ頃カラ九月末日ニカゲテ相當多
 数ノ不穩文書、内地ヨリ移入。支那滿洲ヨリ、輸入ガアツタ。
 其ノ内容ハ殆ト千篇一律、モノデ「朝鮮ノ獨立」「日本帝國主義
 ノ撲滅」「階級鬭争ノ直接行動」「高調」「勞働者ノ解放」等
 ヲ其ノ主ナルモノトシテヤル。

一 内地ヨリノ移入

ニ 謗文ニヨルモノ

(一)

忌恨深キ國耻、日八月二十九日未タストライキトデモデ
 記念シヨウ。

全勞働者農民諸君！

怨恨深キ國耻、日八月二十九日ハ未。非人間的是酷ナル壓迫迫
害採取ノ中デ既ニ二十年目ノ記念日ヲ迎ヘルニ至ツタ。

一九一〇年八月二十九日！此、日ハ幾千年間朝鮮民衆ヲ採取ノ支配
シタ支配階級ノ一ニ韓國政府ガ全朝鮮民衆ノ生命與奪權ヲ日
本帝國主義ニ賣渡シタ日！此、日ハ實ニ朝鮮津々浦々テ一大暴動
カ起ラントシ、此ヲ壓殺セシカ爲ニ開門鎧門ニタ。京城市街ニ
ハ日本帝國主義ノ數門、大砲ガ朝鮮民衆ノ流血ヲ待ツテ居タ。又
大砲一門ハ昌德宮ニ向ツテ萬一ヲ警戒シテ居タ日タ。此、日ハ日
本帝國主義カ朝鮮民衆ニ向ツテ野蛮的植民地政策ヲ公然宣
言シタ日デアリ即チ朝鮮民衆ノ經濟的採取從カツノ没落ト破
滅ヲ豫告シタ日デアル。

全勞働者農民諸君！

我々ハドウシテ此ノ目ヲ忘レラレ様カー我々ハ恨怨深キ國耻記念
 日ヲ迎ヘルニ當リ更ニ根強キ闘爭ヲ決意シ一層固ク強ク戰ハ
 ウー過去五百年間ノ暗黒專制政治ヲ考ヘテ見ヨ。ソシテ又現
 在ノ日本帝國主義下ニ在ル朝鮮總督ノ專制武力政治ヲ思フテ
 見ヨ。ソレハ何處ニ差異ノ點ハアルカー過去ニ在リテハ我々ハ
 幾十年間常民ト云フ名ノ下ニ奴隸生活ヲ甘受シテ來タガ日本帝
 國主義ガ朝鮮ヲ侵掠シメ後ハヨボト云フ名稱ノ下ニ非人間
 的屈辱ト壓迫採取ヲ受ケテ居ル我々朝鮮人デハナイカー
 我々農民ガ耕作シテ居メ田舎ヲ奪取シタモノハ誰ダ。滿洲或ハ
 日本ニ流離分散的生活ヲサセル者ハ又日本帝國主義デハナクテ誰
 カー故ニ我々ハ日本帝國主義ト徹底的闘爭スルコトナクテハ我
 々自身ト及ヒ全朝鮮民衆ノ完全ナル解決ノ出來ナイコトヲ能ク知
 ツル者ル。ソノミナラス世界唯一ノ勞働農民ノ國家ヲ建設シタ兄弟ニ

モ過去ハ我々ト同様ノ悲惨ナル生活ヲ爲シテ来タ。此ノ悲惨ナル生活ヲ逃レントシテ立ツタ瞬間ハ凡有奴隸的屈辱非人間的の生活ノ鉄鎖ヲ切斷セントシテ立ツタ其ノ瞬間デアツタ。

全勞働農民諸君！

我朝鮮民族モ立ツタ！見ヨ永興炭坑夫爭議、沃溝小作爭議、龍川小作爭議、最近デハ元山勞働爭議、釜山ゴム、陶器工爭議等敢然トシテ戦ヒ現今モ勇敢ニ戦ツテ居ル。ノミナラス日本勞働者農民ガ我々朝鮮勞働者農民ノ解放運動ニ爲ニ積極的ニ援助シ支持シテ居ル。日本帝國主義ニ對スル共同闘争ヲ一層力強イ握テ以テシテ居ル。共同闘争ヲ盟誓シタノニ恐怖ヲ感シタ支配階級ハ死力ヲ盡シテ妨害セントシテ居ル。

現今中國革命ヲ中心トシテ第二次帝國主義戦争ヲ準備シテ居ル日本帝國主義ハ朝鮮植民地ノ解放運動ヲ徹底的ニ壓殺セント

仕力カツテ居ル。見ヨ労働者農民ノ學校ナル労働組合ヲ破壊シ戦線
 戦闘的前衛ヲ投獄×殺シ總有スパイ政策ヲ全運動線ヲ分裂
 攪乱サセテ居ルデハナイカ！

全労働者農民諸君！立て！此ノ反革命ト戦ハ！全労働大
 衆ハ可敬ニ立ツテ勇敢ニ陣營ヲ嚴守セヨ。八月廿九日ハ忘レルコトノ出
 来ナイ國耻ノ日デ九月一日ハ憶ルル日本帝國主義ノ命令ノ下ニ悲
 慘ニ多ク同胞ヲ殺シメ彼ノ震災紀念日デ。日本左翼團體ガ
 ハ此期間ヲ反帝週間ト定メテ闘争スルコトニ決定シメ我々朝鮮
 労働大衆モ其レト握手シテ力強キ大衆中闘争捲キ起ソウ！

一 打倒日本帝國主義

一 朝鮮民衆解放萬歲

一 朝鮮總督絶對反對

一 鮮日労働者偏見ヲ棄テヨ

一言論出版集會社自由萬歲、

一國耻紀念日ヲストライキトデモテ紀念セヨ、

一鮮日勞働者共同闘争萬歲、

一九二八、八、二九

在日本朝鮮勞働總同盟

東京勞働組合 署名人 孫 奇 鎮

(二)

國耻紀念日。際シテ全朝鮮二千三百萬同胞。概ス、

全朝鮮二千三百萬同胞諸君。諸君。我々。戦争暴動革命ノ火

焰ノ中ニ生活シテ居ルバハナイカ。勿論。ヨリ記憶シテ居ルコトト

思フ。庚戌年八月廿九日。我等。此ノ日ヲ紀念スル歴史的年回数

ハ今年ガ三十週年。永遠ニ忘レラレナイ耻辱ノ日ダ。

一九〇一年八月廿九日！此時我々民族ハ政治經濟如何デ世界
新思潮ハ如何デアルカ？等々ハ全然知ラサカッタ。此時日本資本主
義ハ長足ノ發展ヲ爲シ極東ノ霸權ヲ握ル爲ニ滿蒙ヲ掠奪スル
爲ニ東洋ノ平和ヲ爲ト云フ名デ日本資本家地主ノ代表桂太郎、伊
藤博文ハ三千里江山ト三三百万同胞ヲ野獸ノ如キ日本帝國主義ニ
掠奪セシメ我々ヲ三重ニ重ニ採取レ始メシメヌ。

親戚タル三三百万同胞諸君！庚戌年八月廿九日以後、我等ノ狀態
ヲ顧ミヨ！奇妙ニ採取ノ手段デ經濟的破滅ヲ興ヘル日本主義ハ
土地ノ八割以上ヲ占領シ、政治的ニ融和政策、民族政策等ヲ敢行
シ、秋鹿ノ自由ヲモ探シ難キ程ニ抹殺シテ仕舞フ。又ハナカ？見ヨ！
大事件ガテテ見ヨウ！三運動當時ノ數萬同胞虐殺、間島
彈春討伐事件、關東震災ニ六千同胞虐殺事件、朝鮮、間島、英産
党事件、最近ニ及ンデ咸南甲山火田民放逐事件等々ガ、又之許リナ

0012

テハタイリ朝鮮内地デ火、如ク起ル労働者罷業（水災炭坑夫、東
 洋唯一ノ元山争議、釜山ゴム、釜山陶工争議）農民暴動（沃溝、龍川、
 作争議）學生罷校、大ニ集會言論機關等ハ皆奴等ニ蹂躪セテ
 居ルデハタイカ、又我々同胞ハ経済的採取、政治的壓迫ニ生活破滅
 ヲ受ケ飢死ニ泣キ止ム得ス父母妻子ニ連レテ故國ヲ血ノ涙テ離レ南北
 滿洲ノ荒蕪地或ハ日本労働市場ニ流離分散ワレ日本帝國主義ノ壓迫
 ト採取ヲ受ケテ居ル現下ノ我等ノ現象デナクテ何ヲアルカ？
 革命戦線ヲ泣イテ居ル労働者諸君！我々此ノ様ナ情勢下ヲ何時迄
 壓迫ト採取ヲ受ケネハナランカ？否！難カリナイ！見ヨ！我等ハ
 實証ヲ吳レメ！獨逸赤色戦士同盟ノ兄弟、露西亞赤衛兄弟等ハ既ニ
 鉄石ノ如キ團結デ故ヲ敗北セシメテ、勝戦鼓ヲ鳴ラシメデハタイカ、然ラ
 我々ハ民族的偏見性ヲ棄テテ階級的立場デ連帶的責任ヲ負フテ共
 同闘争ニ固ク團結シテ資本家地主ノ政府、帝國主義戦争ヲ擁護ス

ル革命的ナル社會愛國主義者ト決死的闘争スルコトニ依ツテノミ我
等ノ解放ヲ得ルト同時ニ勝戰鼓ヲ鳴ラシ太平歌ヲ高唱スルコトガ
出来ル。兄弟等ヨー、八月廿九日ハ一齊ニ武装シテ街頭ニ示威ノ大
暴動ヲ起ソウ、手当リ次第壞シテ復讐シヨー、此ウシテ二十回ノ國耻日
ヲ記念シヨー、日本左翼團體ハ反帝國間ヲ定メ我々ハソレト握手シテ力強ク
大義闘争ヲ起ソウ

一 蘇業トデモテ國耻ヲ記念シヨー

一 ソブエツトロシアヲ死守セヨ、

一 民族的特殊暴壓・抗爭セヨ、

一 朝鮮總督政治ヲ打倒セヨ、

一 渡日朝鮮労働者禁止絶對反對

一 民族の偏見性ヲ棄テヨ、

一 朝鮮民族解放萬歳

- 一、帝國主義戰爭絕對反對
- 一、大國民生活ヲ保證セヨ
- 一、東支鐵道武力回收絕對反對
- 一、言論出版集會結社、自由
- 一、朝鮮、移民政策絕對反對
- 一、在監前衛ヲ奪還セヨ
- 一、朝日、日、勞働階級共同闘争萬歲

一九二九年八月

在日本朝鮮勞働總同盟東京朝鮮勞働組合

北支支部 署名 朴哲奎

(三)

朝鮮民族、此日、國耻日。八月二十九日ヲ紀念シヨ。

弱々シク休マスニ、元氣一ツ散ニ戦場ニ出ヨ。

而シテ吾等ノ怨敵メ、帝國主義ヲメ、打壞ハセ。

八月九日！朝鮮民族トシテ忘レテハ、アタイ日！

毎年此ノ日ヲ迎ヘル毎ニ吾我ノ胸ニ逆ハシル血ヲ止メルコトカ出来ナイ。二十年前

一九〇九年八月廿九日此ノ日ノ。僅州江山ニ千里土ハ何故奴等奪ハレ吾等ノ

身ハ何故奴等ニ縛レタル自由ヲ奪ハレメカ、即此日ニ奪ハレメカ。

朝鮮人等、吾等ニ奪ハレタル自由ヲ奪ハレメカ、即此日ニ奪ハレメカ。

ヲ失ナツメカ、弱クサメカ。

他人ノ力ヲ借スニ、白カガ自今ノキデ自由ヲ奪ハレ返セ。

メ、帝國主義ヲ打倒シヨ。

大漢朝鮮労働組合住吉支部出張事務所

(四)

國耻日ニ際シ朝鮮労働者諸君ニ訴フ朝鮮労働者諸君！！

日本帝國主義、魔手を掛リ、パント職業ト自由ヲ皆奪ハレ、極東ノ都市
ト云フ都市ハ勿論津々浦々ニ迄漂浪シテケレハナクナリタ。朝鮮労働者諸
君!! 諸君ハ奴等ノ暴圧狂暴ナル總督政治ニ依リ警察的絞首ト拷問。
而シテ軍事的大々ヲ敢行シメノハ何回カ。諸君奴等ノ所謂日韓融和ト
云フ欺瞞政策ノ下ニ利用セラレテ居ノモノ。一九〇九年ノ此日ニ所謂極東平
和一視同仁ヲ標榜シテ韓日合併ノ朝鮮國耻ノ幕ニ入リテ十年ノ間慘風
慘風血雨ニ涉ル諸君前ハ奴等ノ驱逐新器戦争、切迫ト朝鮮博覧
會ノ開催ヲ迫ル一方奴等ニ在リテ排斥カアリ、民族的復讐ノ差別持權
暴圧ヲ加重スル等諸君ハ非人間的地位ト塗炭ノ苦シノ生活ハ益々甚
シクナツテ行クゲハナリカ。

諸君ノ怨恨ハ牢獄ニテ呻吟スル数千ノ前衛ト同シアリ、諸君ノ憤激ハ
國耻前後三千年間ニ斃レタナシ數万ノ義士ノ血其ノ低グハナリカ。而シ
テ諸君ノ諸君ノ屈辱ヲ受クルハ諸君ノ闘争ノ力量ガ完全ナル組織デ

ナカノ故 戦闘の熱誠組合の確立ハ、今日、日本、急務ナリ。
朝鮮労働者諸君

今日、日本、固國壯日、如何、紀念スル、朝鮮労働者諸君、亦、間、尹、
諸君、作業ノ休止、ニ、テ、モ、隊伍ヲ組織セヨ。

一、吾等ノ職業、米ト白糖、ト、共、入、リ、

一、民族の賃銀差別、何、作、特權、暴、力、ヲ、粉、碎、シ、ヨ、ウ、

一、解放運動、凡、志、犧牲、者、即、時、釈、放、シ、ヨ、ウ、

一、治安維持、以、制、令、第、一、罪、其、他、諸、惡、法、ヲ、徹、廢、シ、ヨ、ウ、

一、朝鮮、日本、移、民、増、兵、天、上、博、覽、會、ノ、絶、對、反、對、

一、帝國主義、戦争、反、對、

一、戦闘の労働組合、確立、萬、歳、

一、朝鮮労働者、共同闘争、萬、歳、

一、打倒朝鮮總督政治、

0058

大正朝鮮労働組合港區支部

朝鮮民族ノ耻辱ノ日 今其日ヲ千回再ニ迎ヘツシ

朝鮮被壓迫民族ニ檄ス

吾等ハ過去二十年歴史ヲ回顧スルトキ其ノ歴史ノページガ其ノ歴史ヲリ、涙ノ歴史ナルコトハ累々ト語ル必要モナシ。自頭山ヨリ漢拿山マデ津々浦々ノ谷ハ涙ノ谷デアリ、血ノ谷デアリナド。

朝鮮民族ヨリ三千里疆土ニ二千三百万ノ朝鮮民族ハ幾ツカノ賣國奴ハ李完用、宋秉畯等々、日本帝國主義者毒牙ノ祭壇ニ提供セラレテ二十有余年ノ奴等日本帝國主義ハ吾等ニ何物ヲ教ヘタカク、抑壓、迫害、虐殺、生存権迄モ金地ナク剝奪サレタ。見ヨ奴等ノ詐欺首板、日鮮融和共存共榮ト云フ看板ノ下ニ奴等ハ吾等ヲ如何ニ生活セシメサシ様ニナ

如何侮辱如何我等ノ錢金如何日本帝國主義金
融資本ノ魔手、東洋拓殖會社、興業會社等ノ朝鮮農村ノ如何驅逐シ
弱小民族トシテ、朝鮮民族ト云フ烙印ヲ押シ如何我等ノ侮辱虐待ハ朝鮮民
族ノ解放爲勇敢ノ戰。是ハ我等ノ同志如何虐殺監禁、ノゲツメ
カニ方音等ハ事ノ經過ハ八月十九日ノ迎ハトハ開明躍シ。之ニテハ取
ル怖シ驚ノ奴等ハ無賴漢ノ頭領アリ本邦利用、果敢、賤者、子分ノ行動ヲ
爲スト奉琴、魚波、李基英等ヲ利用、御用團體ハ相愛會、自治會、
共和會等々ヲ組織シ、我等朝鮮被壓迫民族ノ解放爲陣營ニ相會
勞働組合、青年同盟、解放運動ノ阻止セシメ居ルカ、朝鮮民族
ヲ、二十週ノ國耻日ニ際シ日本帝國主義トノ抗中、朝鮮第ニ展開ハ御用團
體及御團體ノ徹底的撲滅シヨク。

朝鮮民族特殊暴壓賃銀差別撤廢治安維持法及制令第七號
其他諸惡法即時撤廢

ル。朝鮮ノ天地ハ奴等ノ野蠻劇ヲ公演スル舞臺ノ見ヨリ校
増兵ハ年毎増大シテ居リ、惡法惡制度ハ日毎完備レツアル。何
ヨリモ拓務省ノ新設日本へ渡航阻止法令化、博覽會ヲ控ヘテ戒
嚴、而シテ軍械館事件、甲山火國民對火攻事件、一等々々ハ此
ヲ暴露スルモノナクテ何ヲラカシ

戦國時勞働者諸君、諸君ノ前所ノ論ハ盟友ニ此様ニ残害サ
レテ居リ、帝國主義戰争進出、産業合理化、奴等ノ暴惡無道ヲ
ル壓迫ト白色テロルハ益々深刻ナク居ルモノナリ

戦國時勞働者諸君、諸君ノ國耻ハ力ガ正しく勝ツテ居ルコトヲ立
證スルモノナク、併シ諸君ハ義憤、團結力ハマシ残ツテ居ルガハナイカ。果
シテ然ラハ、諸君ハ仕事ノ休ンテ一大デモト願起セヨ、而シテ鬱積
徹骨シタル憤恨ヲ吐ケ。

一我等、自由ト職業ヲ失ヘヨ！

0022

- 一 我等犧牲ヲ直ニ親放セヨ！
- 一 治安維持法制令第七號其他惡法ヲ撤廢セヨ！
- 一 帝國主義戦争ヲ對一
- 一 朝鮮ノ天上博覽會ヲ粉碎セヨ！
- 一 朝鮮的勞働組合確立萬歲！
- 一 朝日勞働者共同闘争萬歲！
- 一 打倒日本帝國主義！

一九二九年八月二十九日

大坂朝鮮勞働組合本部

(七)

第三十回國耻記念日ノ日

八月二十九日ハ亦再々来タリ

全朝鮮十三百萬民族、胸臆、深、悲、憤、辱、此、日、

全被壓迫民族諸君大衆的、共同闘争ヲ展開シヨク

今ヨリ三十年前九、九年八月十九日此、日、朝鮮、國賊、ム、宋、秉、世、

李、完、用、等々、陰謀、下、二、三、百、萬、吾、等、民族、ト、三、十、里、江、山、ヲ、

一、萬、回、ト、云、フ、安、價、ヲ、日、本、帝、國、主、義、賣、渡、シ、日、本、吾、等、江、山、

ヲ、奴、等、ノ、手、ニ、奪、ハ、レ、メ、其、後、吾、等、民族、ノ、生活、如何、ト、シ、テ、居、ル、カ、

政治、的、ニ、迫、害、蹂、躪、驅、逐、經、濟、的、ニ、擄、取、ト、飢、餓、社、會、的、ニ、

差別、ト、虐、待、ヲ、受、ケ、ル、外、ハ、何、ヒ、モ、ナ、ク、吾、等、民族、ハ、喰、フ、食、

ヲ、住、ム、家、ヲ、流、浪、ノ、旅、ヲ、續、ケ、父、母、兄、弟、姉、妹、ト、別、離、シ、男、負、女、

戴、日、本、勞、働、市、場、ニ、南、北、滿、洲、廣、漠、ノ、土、地、ニ、流、離、漂、浪、シ、又、配、階、

級、ノ、虐、待、下、ニ、飢、餓、喘、ヘ、テ、居、現、下、吾、等、朝鮮、民族、ノ、慘、狀、ヲ、ナ、ク、

全、被、壓、迫、民、族、諸、君、

而レ吾等ハ此背水ノ陣ヨリ前ニ突進シツシ全民族ハ日本帝國主義牙城ニ向テ徹底的ニ抗爭シテコソ吾等民族ハ解放サルノ所アル。若此線上ヨリ後退スレバ大海ニ陷チ死ヌリ外ハナイノ也。

全被壓迫民族諸君

- 吾等ハ此國耻紀念日ニ當リ怨恨ト敵愾心ノ外何等ノ意義モナイノ
- 一 吾等ハ朝鮮民族××萬歲ヲ高唱シツシ大抗爭ヲ捲起セヨ。
- 一 同労働ハ同一賃銀ヲ又拂ヘ
- 一 朝鮮ニ日本移民絶対反對
- 一 學校内軍事教育絶対反對
- 一 渡航阻止絶対反對
- 一 不法強禁及野蠻的拷問絶対反對
- 一 治安維持法制令第七號其他惡法撤廃
- 一 共産党被告即時釈放

- 一 打倒朝鮮總督暴壓政治
- 一 帝國主義戰爭絕對反對
- 一 朝鮮民族解放萬歲

在日本朝鮮青年同盟大改支部

全被壓迫朝鮮民族の記憶を——（一編外附書）

八月廿九日國恥紀念日ハ来ヌ

今ヨリ二十年前（庚戌年）此ノ日ハ三千里疆土ト一千万民族ノ日本帝國主義者奴等ニ隷屬の奪リレテカラ支配階級ノ鉄鎖ハ餘地ナク掩襲サレテ了ツタ

諸君！！

此ニ怒響ッ日ハ諸君ノ團結カト示威デ日本帝國主義并城ニ閉迫シテケル

レハ字耻スルコトが出来ナイ。

集マレ此ノ日ハ塊ベレ此ノ日ハ

一 言論集會出版結社自由獲得!!

二 民族的差別特殊暴壓絶対反對!!

三 打倒朝鮮總督暴壓政治!!

大阪市東成區鴨野町五六九

新幹會大阪支會

(九)

只今ヨリ二十年前八月二十九日

日本帝國主義朝鮮ノ弱小民族ヲ保護スルトテ四千萬年

燦爛タル歴史トシテ三百万ノ生命タル三千里疆土ヲ強奪

サレタ。奴等ハ二十年トテ水ノ間吾朝鮮民族ノ生活出来ザル

朝鮮民族ノ
九日ヲ紀
憶

十二月八日 前年十二月
ハカル 居ラシ

今日ハ朝鮮民族ノ永遠ノ耻辱日

不ナシレバ追害ト蹂躪ヲ以テ一貫シタ

朝鮮民族ヨリ蹴起マヨリ而シテ

日本帝國主義ノ打倒セロ

一 殖民地ノ解放セロ

一 朝鮮青年。特殊暴壓反對

一 朝鮮青年提携萬歳

在日本朝鮮青年連盟同盟成文部曲成班

(6)

全朝鮮被壓迫民族萬歳

八月十九日未名。日本帝國主義ハ暴カデ一朝鮮ヲ取ラバニナシ

此日

全朝鮮被壓迫民族諸君ヨ

朝鮮在ツハ吾等ノ悲慘ノ状態ヲ今更書ノ必要ナリ。今日迄彈壓ト
 捕追、受テ来メケ吾等ノ自由トハ權ハ土地トハ所ニ存難達ニ取上ケ
 メデアル。日本メエ我ノ毒牙ハ朝鮮民族ノ弱ニ來テ朝鮮、日本、
 滿洲、迄、勿論日鮮融和ノ欺騙的又動政策ト特殊暴壓ト原始
 的採取トカ合理化シ退却的ニ民族の破滅ヲ要求シ来メ。見ヨ勞農
 民有學等諸運動ハ一網打尽的逮捕、監禁、投獄拷問ヲシテ、拓殖
 省新設、増女増警、朝鮮日報ヲ通シテ固知ノ事デアル。今年ハ古
 寺ノ平和將メ改良書堂廢止ダト云フ。此ノ態度デハ他殖民萬國農
 者ノ暴壓ト相違ノナリ現實デアル。

全朝鮮被壓迫民族諸君ヨ、此、日ヲ記念セヨ。出メ立テ、團結
 セヨ。固執記念日ヲ動機トシテ今朝鮮民族ヨ。而シテ全ニ解放、途上
 アル日鮮勞農者ヨ、彼等ノメエ帝國主義牙城ニ屈セス團結セヨ。

一 日本帝國主義侵略

一 言論集會結社自由獲得

一 民族的特種恭壓絕對反對

一 和歌山朝鮮勞動組合準備會記乎

一 帝國主義奴隸勞動團體撲滅

一 日鮮勞動者農民提揚萬歲

一 勞農政府樹立

一 打倒××帝國主義

一 打倒朝鮮總督統治

闘争的労働者農民此日ヲ記念スル為ニテ日ノ労働市、和歌山朝鮮労働組合準備會事務所、押掛ケヨ。

和歌山市烟屋敷歷本町

和歌山朝鮮労働組合準備會

和歌山労働者組合本部
 和歌山木材労働者組合準備會
 和歌山紡績染工労働組合準備會

記憶セヨ (二)

06.30 八月二十九日此日日本朝鮮ト合併ニサツタ日也。吾々朝鮮ノ兄弟姉妹ヨリ此日國恥記念日也。此日ヲ忘レナイ様ニ朝鮮人ト日本人ト言フ差別ノ絶対ニ打テ壊セ。

和歌山市歷本町 和歌山朝鮮労働組合

(一)

文帝リフレット

第一輯

又帝國主義同盟日本文部準備會

日韓併合之際、日鮮勞働者農民諸君、訴

視、變ナル日鮮勞働者農民諸君、我々が懷柔と覺え、志ハットノ出

来ナイ恨、日、八月二十九日、又ヤソノ来、十年、前、此日明治四十

三年八月二十九日、貪慾飽、事ヲ知、ナ、日本帝國主義ハ、東洋ノ平

和ト日韓兩國共通ノ平和ト利益、ノ名、下、武力ト奸計ヲ以テ獨立

國韓國ヲ併合シ、我々土地ト生活トヲ掠奪シテ仕舞ツタ、此日隆

熙四年八月二十九日、多年吾々無知ト貪困ノ底、抑ツタ、来々我

々ノ支配者、其ノ支配ノ鞭ト共ニ我々生活ト國土トヲ新ラシキ支配者、

日本帝國主義讓リ渡シタル。支配者ハ代ツタ。デ我々朝鮮併合者
 農民ノ生活カ少シデ。果ニナシタカモ、断シテ否デ。果ニナシタイ計リ
 デナクノ壓制ト貧困トハ以前ニモ増シテ堪ヘ難クナリ。チイシメデハナシカ
 日韓併合ノ際。日本ハ公共ノ安寧ヲ維持シ民族ノ福利ヲ増進センカ
 為ニ。茲ニ永クニ韓國ヲ帝國ニ併合スル。ト宣言シメ。此ノ宣言ガホ
 ントデアツタカ。ウソデアツタカハ併合後十九年間日本ガ朝鮮ヲ振舞
 ツタ事實ヲ見ハ明カメ。如何ナル資本主義國モプロレタリアートヲ
 採取スル丈デハ満足出来ナイ。彼等ハ原料品ヲ得ルコトヲ必要トスル。又
 彼等ハ商品ノ販賣ノ為ノ市場が必要デアル。ソデ彼等ハ其處ノ住
 民ハドンナニ考ヘ様トソシテ事ニナク後進國植民地化スル。彼
 等ハ猫ガ鼠ニ對スルカ如クドンナ手段ニ訴ヘテモ一屢々戰争ト云フ
 手段デ。自分ノ欲シイト思フ場所ヲ奪ヒ取ツテアッ。ソシテ彼等ハ
 其處カラ原料ヲ奪ヒ商品ヲ賣リ付ケ餘剩資本ヲ投シテ其處ノ業

勤者農民から採る文採り取ルダ。東洋の君子國。不ト威張ル
 日本コソハ最も殘忍ナ其ノ資本主義國ノ一ツダ。植民地侵略ニカケ
 テ世界ノ何處ノ國モ敢ラヒケテ取ラナイチヤンビオン。現ニ日
 清戦争ハ朝鮮ヲ又那モ取ラセナイ戦争デアリ。日露戦争ハ帝政口
 シア。取ラレソウ。ナメカラノ戦争デアリス。ソラ此ノ度ノ戦争デ
 慘々労働者農民ヲ殺レテ置テ日本ノ資本家地主が得タモノハ
 何デアツタリ。勿論彼等が長イ間世に世に租ラテ居タ朝鮮、臺
 灣、樺太、南滿洲ゾアル。我々國朝鮮ハ此野獸的ニ貪慾ナ日
 本帝國主義ノ犧牲。ナツメ譯メデハ併合後日本ハドンチ事ラシ
 メリ。米、石炭、鉄等モ皆ト産物ヲ殆ト全部内地ニ持ッテ行カレハ
 朝鮮ノ出木ノ原料ヲ皆持ッテ行カレハ新レイ資本主義的企業が興
 ル若カナイ。其處へ朝鮮カラ持ッテ行ク原料が姿ニ変ヘテ通サナイ
 日本ノ商品がドンぐ入ッテ来ル。マルテ盜棒。盜マシメ目介ノ所持品ヲ心

買ハサレル様ナモノダ。ソレデ莫大ノ利益ヲ收メルハ唯日本ノ資本家丈
 デ飢餓セン計リナルハ我々朝鮮人ダ殊ニ我慢ノナラナイハ東洋極
 拓殖會社ダ。此ノ會社ハ國家權力ノ直接的ノ支持ニ依テ陰險惡辣
 ナル實ニ言語ニ絶スル方法デ朝鮮農民カ土地ヲ捲キ上ゲル仕事ニ従事
 シ居ル。日本ニ往メ又又那滿洲ニ去メ農民諸君ハ皆此ノ魔鬼ノ手
 掛ツテ故國ヲ逐ニ出サレヌメ。斯ウテ日本ハ朝鮮ノ凡ソル富ヲ掠
 奪シテ仕舞フ今や朝鮮ハ日本帝國主義ガ自己ヲ持チコタヘル為
 ニ興クテ、ナランモノナツメ。此ノ事實ヲ見ハ日本ハ朝鮮ノ發展ノ為ニ
 朝鮮民族ノ幸福ヲ為シ併合シヌ等ト云フコトガ如何ニデタラメナ。唯
 アツタカト云フ事ガ分ルデハナイカ。日本帝國主義ガ朝鮮ヲ無理
 矢理ニ併合シヌハ只ドシメク様ニ目的ノ為メタメノダ。日本人ハ優
 レテ居リ、朝鮮人ハ自分ノ國ヲ守ツテ行クコトノ出来ナイ劣等サ民族
 ガカラ日本ガ助ケテヤツタノダトホサイテ朝鮮ヲ取ツテ喰フタ事

ラ正當化シテ居ル。ガ大體民族の本質的要素等トカ高呼シテ、別カレモウ、朝鮮
 人ソシカ等ナリニシタリ。ハ各資本主義國家ナリ。朝鮮人ハ獨立シテ行ケイト
 云ハ獨立出来ナイ様側カラ武力的其ノ獨立ヲ妨害スルカラダ。朝鮮ノ
 獨立ヨリ朝鮮民族ノ最正レイ要求アリ如何。日本帝國主義ハ彈壓シヨウト。否
 彈壓スルニ又此ノ要求ハ高叫バレテ居ルガ。見ヨ後カラ後カラト起ル。何々
 重大事件。何々秘密結社事件。何々陰謀等ノ夥シイ。ハ日。日。日
 本帝國主義ノ基礎ヲユスリ動カシツアリ。日本帝國主義ノ彈壓ハ愈
 ヲ狂暴化シテ行ケ其レ依ツテ決テ衰ヘンシサケハ凶ミモレイ。日本内
 地デモ労働者農民ハ言論集會結社出版自由等ハナリガ。朝鮮デ
 ハソシカ等ノハハハ。培程モアリハシイ。ニ三人集ツテ何リ相談スル直グ不
 逞鮮人ト云ツテ監獄ホウリ込マレル。ハソントラレイ事ヲ書イテアル
 本ハ一冊ダツテ朝鮮ニ入ツテ来ナイ。裁判所デハ朝鮮人ノ理窟ハドウ
 デモ必ス負ケルコトナツテ居ル。此外選舉權被選舉權ハ全然ナイシ。

何、政治的自由モナク徹底的ニ差別待遇ノ下ニ押シツラセテ居ルノ大朝
 鮮ニ所有文化的設備ガ歟ナク居リ唯多過キ程ニモハ二萬以上ノ警
 官トテ師團、兵、警察、總督、監軍人、日及帝國主義ニ對スル朝
 鮮民族ノ反抗ト解放ノ運動ハ此將軍總督指壇下ニ度度トナリ武力
 的鎮壓サレタメ而カモ莫ク鎮壓方法ハ實ニ野蛮極マルモノデアル。
 此デマ、日韓併合ヲ讚美スル者ハ斷テ我々ヲコレデリア、陸營ハ居ナイ筈
 大朝鮮獨立ノ要求コソプロレタリアノ肺腑カラニシテ出テ真實ノ叫ビ也。
 是リ妨害スル奴ハ帝國主義ノ仲間也吾々ノ敵也。ガガ朝鮮ノ獨立決シテ
 朝鮮ノ労働者農民ノ力デケテ出来ナイ。日本ノ労働者農民ノ解放ガ日
 本ノ労働者農民ノ力デ出来ナイ様。吾々固ク縛リツケテ居ル日本帝國主
 義ノ鉄鎖ヲメチ切ル爲ニ先ツ何ヨリモ先キニ日本ト朝鮮ノ労働者農民ガ
 固ク手ヲ握ルコト也。植民地及本國ノ労働者農民ガ壓迫ヲ採取カラ自
 由ニナルハ憎ムヘキ民族の偏見ト排外主義、愛國主義ヲ捨テスカル僅

騙的思想我々諸帝國主義者並其手先の社會民主主義者
 ト戦ハネハナシイ。吾々敵ハ日本人デハナシテ日本ノ資本家地主此
 ノ朝鮮労働者農民共通ノ敵ヲ倒ス爲メ肝心ヲトス我々ハ飽迄朝鮮人
 デアロウト支那人ノアロウト等レノ皆帝國主義者我ブルジョア
 レ壓迫コレ居ルブルジョアトデアリ、共同ノ敵帝國主義者對スル戦ノ同
 志デアルト云フコトバ。彼等遠メ言葉ヲ語ラウト遠メハ俗習慣ヲ持ソ
 テ居ヨウトソノ事ハ吾々トツテ重大ノ事デナシ。ソノ事ヲ重大視レテ
 爲メ幾度狡猾ニ日本帝國主義者ヒドイ目ノ遣ハサレタリ知レナイナ
 ハナカ。アノ関東ノ大震災ノ時ニ日本ノ資本家地主朝鮮人ニ對
 スル日本ノ感情ヲ利用シテ、不逞鮮人來ルノ流言、依リ内乱ヲ發テ防
 止メタノダ。アノ時、虐殺シレメ幾千ノ吾々兄弟ノ事ヲ思フト我々
 ハ口齒ヲ喰ヒシバリ日本帝國主義者對スル復讐言ヲ誓フノミデ！
 親愛ナル朝鮮労働者農民諸君

我々共同敵ハ日本帝國主義者。日本資本家地主。今迄我々
朝鮮解放運動が失敗シ日本無産階級運動が強力ナラカッ
メノハ我々が此事ヲハッキリ理解シ居ス。先介ハ朝鮮労働者、結合
ガサカッタカラダ。我々武器ハ唯團結アルノミ。

八月二十九日。此國耻記念日ヲ期シテ吾々ハ帝國主義ニ反対シテ立
メネハナラナイ。此ノ日ヲ期シテ吾々ハピツタリト結ビツカネハナラナイ。吾々
ハ此ノ日ヲ朝鮮プロレタリアノ團結ノカデ戦ハネハナラナイ。日本デハ八月
一日ニ全世界ノ被壓迫民族ト労働農民トヲ結ブ。反帝國主義植民地
抑壓及対同盟ノ日本又部準備會ガ成立シタ。コレコソ朝鮮労働者農民
ヲ結ブ。然レ機械。我々ハ結束シテ之ニ加ハロウ。此ノ同盟ノ力ヲ盛リ立テ
テ行ク事ニ依ツテ我々ノ力ハ強大化スルダ。吾々ハ八月廿九日ノ國耻記念日ヲ機
會ニシテ反帝國同盟日本支部ハ創立運動ヲ大衆的ニ捲キ起サナケレ
ハナラナイ。

米レー、日本ノ同志ヨ

米レー、朝鮮ノ労働者農民ヨ

八月十九日此日日本帝國主義ニ対スル我々ノ無限ノ團結ト反抗ノ威カトヲ示ソウゲハナイカー、

朝鮮民族解放運動萬歲！！

日本帝國主義ノ植民地侵略反對！！

日鮮プロレタリアートノ團結萬歲！！

反帝國主義同盟日本文部創立萬歲！！

朝鮮民族ニ對スル差別待遇反對！！

朝鮮於ケル言論集會出版結社自由！！

國耻記念日ヲストライキヤデモデ戦ヘ！！

(二)

朝鮮國耻紀念日

八月二十九日

二十年前此ノ日ハ賣國奴李完用、宋秉畯ノ
輩ノ手ニ依ツテ三千三百万民族ト半方ニ歴史ノアル
三千里江山ヲ日本帝國主義ニ賣渡シタリ日ダニ

千秋萬代
國耻紀念日
來夕川

農村カヲ、工場カヲ、ゼネスト
デモ、此ノ日ヲ記念ス

一、治維法、制令第七號、撤廢也。

一、朝鮮X X 院檢奉總對反對

一、朝鮮民族××萬歲

大邱朝鮮勞働組合東北支部
大邱市東區中央街九號琴來南

二十年前の八月二十日

日本帝國主義に其の國を奪はれた日。

朝鮮民族の怨み。紀念日だ！

日本労働者諸君！巨年を差し伸べ！

日本 朝鮮労働者携り萬歳！

打倒朝鮮總督政治！

朝鮮民族解放萬歳！！

無産者新聞文句

二 國外よりノ輸入

(一)

第三回國耻紀念日當り

在中朝鮮勞力青年大衆ニ檄ス

勞働者農民青年大衆諸君！

一切ノ被壓迫青年大衆諸君！！

朝鮮ノ完全ナル解決ヲ得、前ハ朝鮮民族ノ最後ノ一人ヲ残スマデ
切齒握拳シナケレハナラナリ。庚戌年八月二十九日、此ノ日ハ方、新興
ノ銳氣ヲ東亞大陸ニ吐キ出リントスル幼帝國主義日本カ其ノ生
命ヲ續發展ノ唯一ナル毒計ヲ以テ三千里江山ヲ強盜的ニ占領シ二千
萬生靈ヲ野獸的ニ奴隸化シメ日デアル。十九年前ノ今日！天地灰
暗ニ萬籟慘然シリ朝鮮民族ノ最大耻辱、此ノ日！此ノ日ヲ始
トシ我等ハ土地田莊ヲ奪ヒ人權ヲ蹂躪ケレ、国外ニ追放流離セ
シメラレ、野獸的屠殺ヲ受ケル及面ニ奴等ハ一躍世界的一等強盜ト
ナリ我等ノ親隣中國ヲ侵略シ太平洋上ノ優權ヲ握ツメデハナリ。
勞働者農民青年諸君！

總之、被壓迫青年、大衆諸君、

三十年、永々屈辱生活、悲慘、破綻生活、此、境中、我等、

不斷戦つ来々。然、其、七、八、起、惡戰苦闘、代價、唯、惡法、

再、改、惡、法、獸、警、増、置、監、獄、大、増、築、最、小、限、度、人、民、権、利、

最、後、制、奪、シ、タ。彼、等、鉄、蹄、下、踏、蹴、シ、タ、無、数、屍、首、ト、刀、

槍、先、憐、レ、ミ、流、シ、タ、数、万、英、輩、熱、血、バ、タ、タ、結、果、シ、タ、

兄弟等、此、日、我、々、半、南、年、歴、史、の、汚、穢、ノ、加、ヘ、タ、全、

民族、の、最、大、侮、辱、ノ、日、ト、而、シ、同、時、之、我、々、最、大、最、後、勝、利、

實現、齊、来、日、ヲ、ル。爾、外、我、生、ノ、最、大、最、後、勝、利、

現、在、境、遇、決、シ、躊躇、徘徊、シ、許、シ、タ、シ、最、大、最、後、勝、利、

一、切、難、同、散、失、的、惡、法、一、就、シ、英、勇、的、犠、牲、的、同、盟、ヲ、以、テ、自、本、帝、國、主、義、

ノ、打、倒、ス、ル、ト、依、テ、シ、我、等、結、路、カ、唯、一、存、在、シ、タ、

兄弟等、諸君、胸、猛、烈、燃、レ、革命、の、熱、火、ヲ、所、集、メ、ヨ、シ、而、

レノ勞農青年前衛ノ叫ブ喊聲ニ歩武ヲ合ヒ十字街頭ノ最後ノ一戰ヲ開始セヨ。總テ、被壓迫青年大衆ノ所在地ニヨリ勇氣ナル陣容ト偉大ニ決心ヲ以テ此ノ日ノ紀念セヨ。紀元大衆演說會示行行列等、所有大衆的闘争ヲ果敢ニ開始セヨ。朝鮮、勞農青年大衆ノ偉力前ニ日本帝國主義ヲ戰慄セシメヨ。

一 八月十九日、國耻ヲ血デ洗ヘ

一 打倒日本帝國主義

一 日本帝國主義ノ滿蒙侵略ヲ排斥セヨ

一 打倒機會主義、改良主義

一 撲滅保民會等一切ノ走狗機關

一 第三次虐殺ノ危機ト戦ヘ

一 打倒反共論

一 第三次大戦ノ危機ト戦ヘ

一 中國革命！直接參加セヨ

一 S S L / 北岸セヨ

一 朝鮮革命成功萬歲

一 世界革命成功萬歲

一九二九年八月二十九日

在中國韓人青年同盟中央幹部

國耻十九週年紀念之際 (二)

八月二十九日！吾等ハ忘レ得リル日デアル。日本帝國主義ハ暗々

タル野心。驅ラレ朝鮮對シテ掠奪的攻勢ヲ取ツタ之伴。朝鮮

貴族奴等ハ自己ノ安逸ニシテ本位トシテ恩賜金等々多數ノ金品ヲ

受ケテ私腹ノミヲ充テ完全ニ朝鮮ノ國權ヲ日本帝國主義ノ具シ

0046

萬内に入テ仕舞ッ。日本帝國主義ハ朝鮮民族ヲ奴隸ト規定
 シ、吾人ノ血涙ヲ以テ滿天下ヲ彩色シタガ今此ノ日アル。日本帝
 國主義ハ再來朝鮮ヲ商品市場、原料供給地、廉價勞働買
 受地、移民地等トシテ完全ニ實施スル爲メ日本ノ武器ハ朝鮮ニ多
 數裝置サレタ。軍隊警察等ヲ施設シ以テ壓迫採取スル奴等
 ノ完全保障ハ被壓迫被採取ノ朝鮮民族ノ反抗ガツテ朝鮮民
 族ノ反抗ハ日本帝國主義ノ野獸的虐殺、監禁等ヲ以テ能事トシ
 タ。如斯餘地ナキ蹂躪中ニ非人間的生活ヲ此ニ得スシテ繼續シテ
 居ル朝鮮民族ハ一否、コレ朝鮮勞働者農民ハ斯ル辛酸ナル生活
 ニ在リ、大砲モ劍モ何物モ怨シカッタ。

己未三月一日吾等ノ反抗ノ聲滿天下ノ震動シ此反抗ヲ暴壓スル日
 本帝國主義ハ銃劍ハ朝鮮民族ニ銃殺放火負傷、生地獄等八千
 餘ノ犠牲ヲ出シ、此犠牲ト同時朝鮮津々浦々ニ於ケル哭聲

ハ吾人ノ生存ノ鉄則ナリ。如何野蠻的行動デアラフ、
 此時ヲ契機トシテ奴等政治的形勢ハ、變更ニ狡猾ニ政策
 ヲ取ツ。而斯政治ノ又官政治ナリト。此ハソレ本主義攻勢ヲ
 以テ採取シ、範圍ヲ擴張シタモノデアル。四方ノ蜘蛛ノ巣ヲ張りタル如ク
 鐵道網、奴等ノ實質ハ産業増殖、交通便利ヲ説クモ、其ノ實朝鮮
 ノ深山窮谷ノ農民、血ト汗迄ヲ採取スル利益ヲ過クナリ。斯クテ朝
 鮮農村ノ疲弊ト農民生活ノ不安ニ逐日甚レクナル。從ニ處々ニ
 小作爭議、勞働者同盟罷業等ヲ以テ更ニ反抗聲ハ力強ク擴カリ
 始メ、奴等ノ戰慄セシメタ。我々力緩和ヲムル。暴壓政治斷末魔的
 彈壓ヲナサシメ、ナサシメタルヲナシタル。

朝鮮勞働者農民大衆ヨリ最後ノ喊聲ハ死ヲナシ生タリ。起テ、朝鮮勞
 働大衆ヨリ生死ヲ顧ミル餘地ナシ。唯諸君ハ力依テサレ、朝鮮民族解放
 ハ得アレナイ。朝鮮ヨリ日本帝國主義ヲ驅逐シテ、諸君ノ生途ハ望マ

0048

レタイデアル。從ツテ在滿勞力大衆ヨリ日本帝國主義勢力ヲ推サレテ寥々たる滿洲ノ荒野ニ米ト諸君ヨリ風餐露宿ヲ創事スル諸君ニハ日本帝國主義ノ第二次虐殺計畫ト中國統治群ノ鮮人驅逐ノ危機ハ諸君ノ全生涯ヲ脅威スルモノデアル。此處ニ於テ諸君ハ大衆的結束ヲ以テ固メ中國勞力大衆トモ握手シ中國革命ヲ積極支持シ日本帝國主義ノ滿蒙侵略政策ニ反抗シ且又具ノ總テノ勢力ヲ驅逐スルコトガ諸君ノ憤々々朝鮮ヲ爲功アルコトデアツテ又諸君ノ唯一ナル活路ヲ開拓スルモノデアル。諸君ヨリ今日ヲ有意義ニ記念セヨ。

口 碑

- 一 八月二十九日、國耻ノ血ヲ以テ雪耻シヨウ。
- 一 帝國主義日本ヲ根本的ニ打倒シヨウ。
- 一 朝鮮獨立完成萬歲。
- 一 日本帝國主義滿蒙侵略ニ反對シヨウ。

- 一 朝鮮内、日本軍警ヲ殺害シヨウ
- 一 東亞保民會、鮮民府、保民府等一切ノ支荷ヲ撲滅シヨウ
- 一 日本滿蒙駐屯軍ヲ退却セシメヨウ
- 一 白色恐怖ト戦ハフ
- 一 日本シノ死守シヨウ
- 一 第二次世界大戦危機ト戦ハフ
- 一 第二次虐殺ノ危機ト戦ハフ
- 一 中国革命ヲ積極支持シヨウ
- 一 賣國賊ヲ殺害シヨウ
- 一 封建勢力ヲ退治シヨウ
- 一 國粹主義者ヲ撲滅シヨウ
- 一 革命群眾ハ暴動ヲ起ソウ

一九三九年八月二十九日

0050

在滿農 民同盟聯合國耻記念共同籌備委員會
在中國韓青等同盟第二區

(三)

國耻記念第二十四之際シテ

同志等——志友等——悲ノ日——痛哭ノ日——未タ——否、我々憤怒
ト意氣ヲ撒キ印セシムル日（國耻記念）——我々義務ト責任ヲヨリ
鮮明ニヨリ嚴重ニ教ヘム日——未タ——日本帝國主義ノ強盜的併吞ニ
似ツテ半衛、江河ハ完全ニ殺伐ノ屠殺——、全盟的監獄、斷頭台ト
ナリ。後二十年間、日本帝國主義打倒、朝鮮民族解放ト云フ全民衆
ノ喊聲ト共ニ朝鮮民衆ハ總動員シテ日本帝國主義ヲ城ヲ嚙下セント
必死の努力ヲ以テ奮闘シタガ今迄ノ成果ハ檢査、拷問、監禁、
絞殺等敵ノ白色テロルノ下ニ殘忍ニ犧牲トナリ、ソレ日本帝國主
義死物狂の惡口ヲ以テ滿洲迄再ニ第二次屠殺ノ計画シテ居リ、中

團結治群、恐怖政策ハ緊迫、其ハ合流ナル派別、渾然結晶物ナル社會概
 會主義者、民族的團結主義者、改良主義者、ハシリニ主義、直輸入ノ白
 色テロル、ブロッキ、結成シ、燎原ノ火、如ク起リ、奮勵者農民、革命の陣營
 一吞ニセント、飛ンデモ、一口吻、爲シテ居ル、此等總テ、白色テロル、鉄槌ハ
 今急激、勞力大衆、持テ、勞力、青キニサテ居ル、此ガ第三回、國耻紀念シ
 迎ヘ、今日ノ特價、ダール、又之、シラウカ、戰湖、江原、慶南、永安等地方
 熱ノ再生產、統治團體、安行、絶、ナリ、事、何、語、ダール、
 親愛ノ同志等、戰友等、此、赫、瞬間、我、如何、シ、總、障害ヲ
 蹴、飛、新社會、如何、建設、ス、ヤ、アルカ、同志ヨ、親友ヨ、我等ハ
 能、知、テ居ル、朝鮮、獨立、決、テ、或、特權階級、利益、保護、スル、デ
 ナリ、朝鮮、解放、ハ、唯、勞農民、ノ、領導、下、ニ、出、得、ハ、コト、徹底的
 ニ、知、テ居ル、爲、我、ハ、唯、今日、我、ハ、前衛、指導、下、無組織、勞力、青年
 大衆、隊列、ナリ、入、結束、シ、揮、身、武裝、ヲ、以、テ、血、染、メ、亦、旗、ヲ、高、

ノ樹テ、示限、喇叭ノ音ト共ニ飛出シ、反日本帝國主義戰線、武装的戰闘隊トシテ、激戦、残滓一切ノ、重要素ヲ蹴飛ハシ、塵相ニ投テ、込ミ日本帝國主義ヲ根本的ニ打破シテ、来年ノ今日迄ニ全朝鮮ノ勞力大衆ガ一所ニ集ミテ朝鮮革命成功祝賀會ヲ盛大ニ執行スル様ニシヨウ！

力限り叫ベド！汝ノ標語ヲ

- 一 八月二十九日、國耻ヲ血デ雪耻セヨ。
- 一 帝國主義日本ヲ根本的ニ打テ壊セ。
- 一 朝鮮革命成功萬歲。
- 一 日本帝國主義滿蒙侵略ヲ絶對ニ反対セヨ。
- 一 東亞保民會、新民府、保民會等一切ノ走狗機關ヲ撲滅セヨ。
- 一 第二次世界大戰ノ危機ト戦ヘ。
- 一 第二次皇殺ノ危機ト戦ヘ。
- 一 中國革命ニ直接参加セヨ。

- 一、一切社會機會主義、一切改良主義ノ撲滅セヨ。
 一、日本シテ擁護セヨ。

一九二九年八月二十九日

大韓民國青年同盟第三區委員會

(四)

決ト血ニ濡レル八月二十九日迄ハスル迄

迎ムル

韓國被壓迫大衆ヨリ發起シテ以テ國耻ヲ雪ジヨウ

韓國被壓迫大衆ヨリ秦蛇ノ如ク倭帝國主義奴等ノ獨斷權利ヲ剝奪

シテ、額亡國奴タル烙印ヲ押捺セラレタル八月廿九日、怨恨骨髓深ノ一刺

ヲ以テ國耻日ハ十九日振リ迎ムル。同胞等ヨリ一千万ノ人口、數ナク

モノゾハナシ。三千里江山、狹ク、ナシノ何故、一九二九年、今日迄國耻ヲ雪

キ得スレテ七國奴等ノ醜態タル名稱ヲ具シ、儘時續シ、彼ノ極惡無道ナル公

倭敵ノ凶暴ナル畚圯氣内ヲ餓死凍死ハ慘劇ヲ演出シ此ノ目撃
シノ迎ヘテ居ルカ？

兄弟等ヨー倭敵馬蹄ニ踏ミ躓ラレ銃剣ニ射ノレ刺ワレテ斃レル
先列ノ流シタル赤血ト断頭臺ニ落サレル九志ノ骸骨ハ吾等ニ何ヲ
教訓シ人間地獄タル皇國ニ呻吟スル兄弟等ハ何ヲ叫テ居ルカ？夫ヨリシ
倭帝國主義奴等第二次帝國主義大戰準備ノ一部分トシテ、極端的又
動暴壓ト極度採取下ノ餓死凍死被殺驅逐流離彷徨等禽獸的奴
隸生活コソ寧日死ムトモ之以上悲シ剛コトト絶対對立得ナシ。

同胞等ヨー此儘忍ビテ見ルヤカク十九回ニ至ル此國恥目ヲ涙ト嘆息
トテ迎ヘテ見ルヤカク兄弟等ヨー否憤起シヨー此慘憺タル生活
ノ忍ブナラハ死ヲ耐ヘラヌコトガアラウカ？憤起シテ早く死スルカ自由ヲ獲
得スルカ早速天下介ケ目ノ戦ヲシヨウ、サア此ハ兄弟ヨー此自ラ期シテ

一、強盜日本帝國主義ヲ根本的ニ打倒シヨウ、

- 一 朝鮮肉侵軍勢ヲ打殺シヨウ
 - 一 日本帝國主義ノ滿蒙侵略絶対反對
 - 一 日本滿蒙駐屯軍ヲ撤退セヨ
 - 一 鮮民府、東亞保民會、滿洲開發隊等是狗窟ヲ撲滅シヨウ
 - 一 第二次世界大戰ノ危機ト戦ハフ
 - 一 第二次軍役ノ危機ト戦ハフ
 - 一 賣國奴ヲ殺盡シヨウ
 - 一 封建勢力ト國粹主義ノ撲滅シヨウ
 - 一 改良主義ヲ打倒シヨウ
 - 一 日本シヲ死守シヨウ
 - 一 朝鮮獨立完成萬歲
 - 一 世界革命萬歲
- 而シテ八月二十九日國耻ヲ血ヲ以テ雪耻シヨウ

第十九回 國恥日

在中華人前主同盟第四支部

徵文

(五)

三千里江山一寸歩も餘ス所ナク日本帝國に我者、安んずるト化シメ。
 二十三百万人只誰彼、別ノ一切彼等ノ奴隷婢僕、ソレモ出来スシテ滿
 洲ノ露野ニ無依離散シテ居ル。軍閥大將田中、前内閣ノ滿蒙積極政策
 朝鮮移民政策、朝鮮ヲ一口ニ飽食シ、ソレモ不足デ、古ク又滿蒙ニ迄延
 ハシメ、此ノ天下ニ宣傳シ又萬邦ニ誇ラント、田中、腹心ノ部下山梨總督
 ニ命シテ朝鮮ニ所謂博覽會ヲ開カシメ。而シテ田中内閣ノ飽滿症ハ
 滿洲、主、張作霖ヲ爆殺シ、併セテ自体ヲ倒潰滅亡セラ仕舞ッ
 々。民政黨ノ濱口總裁、前軍閥内閣ヲ巧妙ニ財閥内閣ニ替ヘテ

日本、資本開拓、朝鮮、及滿蒙、
 巨彈、洗禮ヲ受、齊藤、右ノ朝鮮總督、再任、
 策、實現、萬金、國、居、同胞、
 策、實現、萬金、國、居、同胞、

激 勵

- 一 八月十九日、國耻紀念、
- 一 三月一日、東京、
- 一 九月十五日、博覽會、

斷 行

- 一 打倒日本帝國主義
- 一 驅逐日本移民政策
- 一 破壞朝鮮博覽會
- 一 打倒朝鮮國內閣
- 一 喚起朝鮮獨立精神

一九二九年九月一日

高麗革命黨本部

國耻紀念 (六)

檄

反日本帝國主義戰線ノ固メ。朝鮮カノ日本帝國主義ノ驅逐
ヨウ。朝鮮絶對獨立萬歲。

此ハ帝國主義ノ斷頭台デ最後ノ血ヲ流ス時迄叫ブ標語デアリ。

屠殺虐殺ノ庭デ革命的勞農民大衆ノ叫ビデアリ。戦闘ノ目標デ

アリ。又從カツテ民族主義大臣等ノ寢言デアリ。封建的英雄的

野心ヲ充ツル商品デアリ。民衆ノ欺ヌ首領ヲツタヘ。カ今一役等ノ

面目ガ曝露サレタ。其ハ全民族的協同党ノ媒介体デアル國

体等ト具、他民族的團體等ノ改良主義的途ヲ踏ムト日本帝國

主義ト戦フ爲メト云ヒルヲ民衆ノ血ト汗ヲ得テ鏡ヲ革命ノ途ノ尋ネ

テ行ク群衆ノ前ニ向クルコトト。具ハ革命的大衆ヲ引導スル

モノ

前衛衛士等、物々たるト、古領地ヲ、指頭ト彼等、戦線デア
ル……而ノ野獸的總督政治、暴壓、餘ス所、民衆ヲ蹂躪
シ虐殺スル、此カ九週年ノ迎ヘ、我等ノ運動ノ特点デアリ。

同志等ヨリ、在滿労働者諸君ニ、諸君等、固國ニ大ツ危険性！
同志等ヲ捕ヘ行キ、引張ツテ行ツテソレテ直接間接、革命建設ヲ吞
ンテ仕舞フ毒物ナルコトヲ知フネバナラズ。

日本帝國主義、B 中國ノ反動政治勢力、C 自己等ノ面目、世
間、暴露サレトキ、其ヲ蔽フ為、解體合同ヲ語り、何府何党何會
等ト騒ギ、依然トテ封建的、反動的ナル統治的地盤ヲ造リ上げ
ル……同志等ヲ集メテ喰フ民族主義大臣等、大部分、C 平安
慶尚、畿湖、江原等地方熱心、左翼戦線ヨリ脱落シテ改良主義
的、ファシスト的途ヲ公々然踏ム、救國主義、大臣等、古土豪劣紳、
二房東等デアル。而シ彼等ハ革命の大衆ヲ虐殺、改訂、銃殺拘 28

禁ヲ敢行シ左翼戦線ニ總攻撃ヲ開始シテ居ル之モ亦十九週年國耻記念日ヲ迎ヘル満洲ノ特點アル。

同志等勞力大衆ヨリハ

併シ朝鮮ノ反帝國主義ノ戦線ハ此ノ様ナ内在的特点ニモ拘ラス日々強ク成長スル、勞働者ト農民等ハ戦闘ノ戦線ニ直接参加スル而シテ最大ノ自己ノ利益ヲ爲シ、戦線ヲ隊列ヲ團體ヲ善ク認識シ革命的反帝國主義ノ戦線ニ参加スル。此處ニ於テ此ノ戦線ハ日本帝國主義ニ衝突シテ其ニ合流スル所有反動勢力ト絶ヘス戦ヒ又我々ノ敵ハ誰々デアルカヲ知ル。此外ニ於テ我々ノ戦線ハ決定的新階段ヲ踏ムコトトナリ、闘争ノ對象ガ明確トナリ、戦闘ノ方向ガ確定スル。

此ノ十九週年國耻記念日ノ收獲ヲナケルハナク、從ツテ我々ハ最も勞働者ト農民ガ愛スル所ノ標語ヲ叫ブ。

1. 革命的又帝國主義的戰爭ヲ闘フ
2. 改良主義的勢力ヲ撲滅シテ
3. 労働者ト農民等ハ党ヲ死守セヨ
4. 民族主義ヲ右傾ハ我等敵ハ左傾ハ同盟軍ナ
5. 日本中国プロレタリアト切實ニ同盟軍ナラフ
6. 日本中国主義ヲ打倒セヨ
7. 中国ノ反動政治ニ反抗セヨ
8. 朝鮮絶對獨立萬歲
9. 労働者農民獨裁主權萬歲

一九二九年八月二十九日

朝鮮共產党中央委員會

滿洲總局

三 新聞記事

0032

民聲報 (一)

白衣人ノ死シタリ

白衣ノ友ヨ、知ルヤ今日ヲ三十里ノ路上ニ下駄ノ入り込シタリ。錦繡江山ガ、オイ、空繡江山ニ染ツタリ。

二十萬止室ノ最後ノ息ノ絶ヘタリ。

オイ友ヨ、志シテ居ナカ、耻カシイ庚戌八月二十九日ヲ最早二十遍ニ我等ノ胸ニ耻辱ノ又ガ来往スルデナカ、思ヒシカ友ヨ、

海牙ノ開カレタ萬國會議ノ席上ニ腹断チ切シテ熱血ヲ萬國ノ奴等ニ味ツテ見ヨトテ流シタ。李俊氏ト、哈爾賓デ伊藤博文、復讐シタ安重根氏ヲ。

オイ、ドウシテ此ノ日ハ、コンナニ静カサカ、

昔ヲ思フテ耻カシサニ堪ヘス、

隠レテ出ナイカラ此ニシテ静カナカ、

然ラサレハ三十年間モ、受テテ未タ酷悪ナ暴壓、堪ヘ切レズ、

オ、トウドウ死滅シテ仕舞ツメノカ、

何故此ノ半島ハ此ニシテ沈黙シテ居ルカ、

此ニ二千萬生靈ガ此ニシテモスツカリ死ンダカ、

オ、友ヨ、聞ヘルカ、天ノ墜ツル音ヲ、

安重根ノ拳銃ノ音ダ、

ソレカラ真赤ナ土が見ヘルカ、

李俊氏ノ熱イ血ダ、

オ、朝鮮ヨ、再生ノ新也、

民聲報 (二) 昔、今日

二十年前、昔、其、時、八月二十九日、
耻辱、其、日、痛哭、其、時!!

二十年後、今日此、時、八月二十九日、
搾取、此、時!! 迫害、今日!

アー恐ロシイ今日、昔モ今モ同じ、
失ツタハ江土、得タハ殺戮!!

ウン 雪耻スヘキ今日、生キントスル民族等ヨ、
工場、農場、学校、街頭、

集マレ團結!! 抗爭!! 打倒!!

庶務記 錄

| 種別 | 保存 | 年度 |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| 丙種十七年 | <p>京城學生アール工入協議會 事件檢舉ニ関スル報告書</p> | 昭和七年 |
| 終期 昭和十七年 | | 京城地方法院檢事局 |

京師警察廳第一三三〇號ノ一
昭和七年二月十八日

京城鐵路警察署長

警務局長 殿
京師警察局長 殿
京城地方法院檢察正 殿
關係各警察署長 殿

京城學生アールエス協議會事件檢舉ニ關スル件

昭和四年十二月ヨリ昭和五年二月迄全詳ニ頁リ勃興囂擾シタル所謂光州學生事件以後ニ於ケル學生運動ハ一時衰頹ノ情勢ニアリシモ昭和五年末ヨリ再び猖獗ヲ挽回シ相當秩序アル運動ノ進展ヲ見ルニ至リ之レガ裏面ニ於ケル組織的ニ指導者ノ存在モ略々推知セラルル點アリタルヲ以テ此等裏面ノ状況嚴密に内査中昭和六年六月府内各學校ニ京城學生ゼネスト協議會名義ヲ以テ發文ヲ散布シタル事件アリ愈々此等學生組織ノ存在モ確實トナリタルヲ以テ捜査ノ歩ヲ進メタルモ確證ヲ得ルニ至ラズ一層時局ヲ警勵シ極力内偵中ノ電報和六年十二月ニ至リ中央高等普通學校學生事相續、京城工業院學生組織等ハ嚴

ル秘密結社ヲ組織シ東京ヨリ入籍セル主義者等ノ指導ヲ受クルト同時ニ東京
 在住中ノ主義者等ト連絡ヲトリ日本共產黨機關紙無産者新聞、労働新聞、土
 木労働等ノ不稟刊行物ヲ入手同志間ニ配布シ居ルトノ間込ヲ得直ニ李相堯韓
 國模ヲ拘束シ嚴重取調ベタル結果昭和六年十月當署ニ於テ檢舉シ京城地方
 法院ニ治安維持法違反關係者トシテ送致シタル李平山ハ當時事件送致セル朝
 鮮共產主義者協議會以外ニ別個ナル運動ヲ展開シ學生層ニ食入リ在東京工ム
 エル系主義者金致廷ト脈絡ヲ通ジ昭和五年八月入籍以來上海ニ於テ知友トナ
 リタル機樂用等ト相謀リ朝鮮共產黨再建設準備ノタメニ之レガ基礎細胞ヲ組
 織スベク活動シ昭和六年四月ヨリ李相堯金東彪韓國模等ノグループヲ組織シ
 此レヲ指導教養中東京在住同志金致廷ヨリ關士金三奎等ノ派遣アリ更ニ李平
 山ハ金三奎ガ東京ヨリ運動ニ参加セシムベク轉達行セル崔兌龍ノ紹介ヲ受ケ
 學生運動ノ全般ヲ崔兌龍ニ引繼ギ崔兌龍主唱ノ下ニ團體ヲ變革シ私有財産制
 度ヲ否認シ共產社會ノ實現ヲ目的トスル秘密結社京城アールエス協議會ヲ組
 織活動中ナルコト判明シ更ニ之レガ關係者ノ引致取調ニヨリ其組織ハ府内ニ
 於ケル中等學校ニ及び相當根拠キ勢力ヲ有スルモノナルコト明瞭トナリタリ
 最近中等學生等ノ流行的社會科學ノ研究ハ正邪善惡ノ批判力ニ乏シク熱情的

ナルト等此等不過主義者等ノ巧妙ナル誘導ト相俟ツテ彼等ハ現社會制度ヲ呪
 咀シ共產主義社會ノ實現ガ現下ノ深刻ナル不況ト失業若貧民等ノ窮狀救助ノ
 方法ナリト倡導シ進デ此等不過ノ運動ニ參加スル等殊ニ將來此等學生ノ卒業
 後ニ於ケル活動竝ニ其ノ宣傳ハ相當社會ニ甚大ナル影響ヲ及ボシ害毒ヲ流ス
 モノト憂慮セラレ一他ノ善良ナル學生ヲ誘致セントスル不良學生等ニ對シ
 後車ノ戒トモナルベキヲ以テ嚴重処分ノ意見ヲ附シ二月十五日十七名ヲ身柄
 拘東京地方法院検事局ニ送致セルガ犯罪ノ概要左記ノ通りニシテ關係者ノ
 本籍住所氏名等別表ノ通りニツキ未逮捕者ニ對シテハ嚴重手配相成度
 右報告（通報）ス

左記

一 李平山入鮮ノ經路ト活動

昭和三年朝鮮共產黨事件關係者ニシテ當時海外ニ逃避シタル梁明、韓偉健
 ハ其後上海ニ至リ階級闘争社ヲ設ケエムエル黨ノ看板ヲ保持スルト同時ニ
 多クノ同志ヲ養成シ之レヲ鮮内ニ派シテ朝鮮共產黨ノ再建設ヲ圖リキタル
 ガ昭和二年同地ニ渡航シタル金致廷、李平山ニ授ケタルヲ以テ同人等ハ其
 ノ遂行方法ニ付協議ヲ重ネタル結果目下運動者缺乏セル朝鮮ニ於テハ最初

ヨリ潜入シ同志ヲ養成スルハ教養中ニシテ發覺等ノ危険率極メテ高キヲ以テ先ヅ東京ニ至リ在日本朝鮮労働總同盟中ニ精神分子ヲ數十名ヲ得テ大畧鮮内ニ潜入黨組織ヲナスコト之レニ要スル費用ハ金少翼ニ於テ調達スベキコト等ヲ約シテ八月中旬李平山ハ韓傳健ヨリ二十圓ノ旅費ヲ得上海發途中營口大連ヲ經由シテ神戶ニ至リ兵庫縣武庫郡鳴尾村サンソ自轉車店ニ職工トシテ入り同志金致廷金少翼ノ東上ヲ待合セタルガ金少翼ハ鮮内ニ運動資金調達ノタメ潜入シ金致廷ハ昭和四年十二月神戶ニ上陸李平山ト連絡ヲトリ直ニ東上李平山ハ神戶ニ留リ更ニ金少翼ノ東上ヲ待合セタルガ同年十二月ニ至ルモ東上セザルヲ以テ神戶ヲ引揚ゲ東京ニ至リ金致廷ト會合シタルニ在日本朝鮮労働總同盟ニ於ケル同志等ハ同年六月警視廳ニ檢舉セラレ直ニ潜入不可能ナルヲ以テ一先ヅ東京ニ於テ前衛闘士ヲ養成シ後鮮内ニ潜入スベキコトヲ協議シ闘士ノ養成ニ着手シタリ

一方昭和四年十二月鮮内ニ潜入シタル金少翼ハ當時同ジク潜入シ居タル同志安鍾冕ヨリ昭和五年一月金一萬圓ヲ運動資金トシテ府内旭町某西洋料理店ニ於テ受取りソノ内四千圓ヲ海外同志ノ運動資金トシテ梁明・韓傳健ノ下ニ送金シ三千圓ハ當時鮮内ニ共產黨組織ノタメ海外ヨリ潜入シキタル數

斗先ニ手交シ一千八百圓ハ之レヲ周旋費用トシテ白鳥某（内地人）ニ支拂
 ヒ同年二月殘金一千二百圓ヲ携ヘ東上シ金致廷李平山等ト會合シ道經ノ情
 勢ヲ臨キ新ニ朝鮮共產黨再建ノタメニハ關士ノ養成ヲ圖ルト同時ニ言論機
 關ヲ利用シ主幹宣傳ヲナスニ加カズトシ此レニ使用スベク協議シ之レガ
 方策トシテ露ニエムエル黨ノ機關紙毎產者社發行雜誌一無產者一ガ資金難
 ノタメ定期發行不能ニ陥リタルヲ以テ之レヲ機關紙トシテ發行スルコトニ
 決議シ資金中一千圓ヲ内務省ニ納附シ出版活動ヲナスベク第一着手トシテ
 無產者ノ附錄一前衛ボルセビ一キ化ノ任務一ヲ一千部印刷シ之レヲ鮮内ニ
 四百部日本内地ニ六百部ヲ各配布シ出版活動ヲ續クルコトトシタルモ資金
 難ニ陥リシヲ以テ先ニ金少員ニ於テ韓偉健ニ送附シタル運動資金中ヨリ一
 千五百圓ヲ受クベク昭和五年四月中旬李平山ハ上海ニ向ケ出發シ上海ニ於
 テ韓偉健ト會合シ事情ヲ告ゲテ出發ヲ請ヒタルモ韓偉健ハ先ニ送金シタル
 資金ハ既ニ消費シ出發不能ナリトテ金二百圓ヲ渡シタルヲ以テ之レヲ金少
 韓宛郵送シ李平山ハ直ニ東京ニ引返ヘシタルガ二百圓ヲ以テシテハ到底出
 版活動ノ繼續不能ナルヲ以テ金少員ヲ鮮内ニ派シ黃海道延白郡延安邑内李
 英培ヲシテ一千五百圓ノ出發ヲナサシムベク決議シ昭和五年五月金少員
 英培ヲ入鮮シ

ヲルモ李庚培ハ不況ノ故ヲ以テ之レニ應ゼズ他ニ於テモ金策出來ザリシヲ
 以テ同年七月滿洲ニ向ヘリ
 東京ニ於テ關士ノ養成ニ努メキタル金致廷李平山ハ金少賢ノ金策ハ不能ニ
 終リタルヲ以テ方針ヲ變更シ金致廷ハ東京ニ於テ同志ヲ養成シ李平山ハ鮮
 内ニ潛入共產黨結成ノ地盤ヲ獲得シ金致廷ニ於テ養成漸次潛入セシムル關
 士ヲ配置シ強力ナル共產黨ノ結成ヲナスコトトシ李平山ハ昭和五年八月東
 京ヲ出發入鮮セリスクテ李平山ハ入鮮後支那ヨリ歸鮮シキタル權泰用ト連
 絡シ當時共產黨再建ノタメ梁明或ハ韓偉健ノ旨ヲ含ミ滿洲ヨリ入鮮セル高
 景欽徐仁植等ト連絡ヲ執リ運動ノ展開ヲ計リタルモ彼等ハ所謂インテリ地
 階級ニ屬シ徒ニ政治的の自己ノ野慾ノタメニ多クノ資金ヲ使用シ何等大衆ノ
 利益ノタメノ闘争ヲナササルヲ以テ自己等ハ此等ト離レ眞ニ勞働者大衆ハ
 利益ノタメニ結成サルベキ共產黨ヲ結成スベク決意シ權泰用ト共ニ協議決
 定シ且ツ同一目的ニ進ムヲ以テ結局ハ同一地點ニ到達スベキ高景欽徐仁植
 ノ一派ハ支持セズト雖モ通信連絡ノ便宜ノミハ與フルコトトシ自己ノ向上
 ヲ計リ有力ナル同志ノ物色ニ努メツツ一方金少賢高景欽等ノ連絡ニ同志ト
 シテ補助ツ與ヘ李宗林高景欽徐仁植等ノ所謂朝鮮共產主義者協議會ノ結成

ヲ助成セリ

二、柳澤用李平山ノ活動

柳澤用李平山ハ昭和五年十一月金澤山ニ於テ會合シ今後ニ於ケル運動方針ニツイテ協議ノ結果特ニ今日ニ至ルマデ朝鮮ニ於ケル運動戦線上ニ進出シタル闘士ノ知己ナク且ツ派閥的爭鬭ノ激甚ナル今日輕易ニ同志ハ獲得シ得ラレズ加フルニ資金ナキ吾等ハ費水漸高ク且ツ生活ニ窮セザル學生方面ニ於テ闘士ヲ養成シ運動ヲ展開スルノ必要アリ殊ニ朝鮮ハ各國ト異リ學生ノ氣風極メテ革命的ナルコトヲ指摘シテ最モ侵入ニ簡易ナル學生運動ニ盡カスベシト約シ策動ヲ續ケ昭和六年四月柳澤用ハ元養成高等普通學校在學當時ノ副學生ニシテ東京ノ明大ニ學中學生運動ニ關與セリト云フ李連爾ガ卒業歸省シ居ルコトヲ知リテ同人ヲ訪問セシニ其時柳澤用ハ東京ニ於ケル各運動ノ活動ナル展開ヲ語リ殊ニ學生運動ハ反帝同盟救護會等花々シキ活動ヲ見ルトテ之レヲ説明シタル後朝鮮ニ於ケル學生運動ニハ何等見ルベキモノナキヲ以テ自己等ハ同志金澤山金澤山ニ共ニ附會ヲ組織シ居ル旨ヲ告グ之レニ加入方ヲ勸誘シタルヲ以テ柳澤用ハソノ方法ヲ聞ヒ單ナル

社會科學研究ニ止マル讀書會ナルコトヲ聽取シ斯ル組織ハブルチヨアノ遊
 戯ニ過ギズ吾等運動者ノトルベキ道ニアラズ吾等ハ宜シク實踐ヲ通ジテ明
 日否今日ノ戰闘ニ役立ツベキ點^用意ト組織ヲ持チ革命闘士ヲ養成シ初メテ
 讀書ノ使命ヲ果スベキモノニシテ何事用意ナキ組織ヘノ参加ハ無意味ナリ
 トテ之レヲ拒絶シ尙革命闘士トシテ同一路線上ヲ進取スル以上必ズヤ闘
 争ニ役立ツベキ組織ヲ必要トスベク之レガ組織ニ進ムベキコトヲ強調シ以
 テ實踐ニ經驗アル闘士ヲ紹介スベシト稱シ會見ヲ打切りソノ後此旨ヲ李平
 山ニ告ケ數日後李平山瀋陽用事道爾爾相健ハ蕪湖町四丁目一五〇番地李道
 爾方ニ會合シ席上續發用ヨリ李平山ヲ紹介シ李平山ハ朝鮮ニ於ケル過去學
 生運動ニ對シ過去ニ於ケル學生運動ハ民族主義的運動濃厚ニシテ最近ニ於
 ケル光州學生事件ノ如キハ民族運動ノ一ト見ルベク其處ニ何等革命の意識
 ナク單ニ自然發生的ナリ然レ共感與ニ於ケル學生ゼネストハ多分ニ學生ノ
 階級性ヲ意識シ革命的ニ勃發シタルモノニシテソノ進取ハ學生運動其命化
 ノ道程ヲ加實ニ物語ルモノナリト現代學生ニ革命思想ヲ如何ニ深刻ニ浸潤
 シ居ルカヲ論ジテ別レソノ後李平山ハ韓相健ノ東京ニ於ケル活動ヲ當時入
 成シキタル金三義ニツキ調査シタルニ同志トシテ信ズベキモノナルヲ知り

行爲ヲ爲スルコトトシ六月上旬苑洞七三番地金東魁方ニ機寮用李平山韓
 組健會合シ居上李平山ヨリ過去ニ於ケル朝鮮ノ運動ハ三・一事件ハ民族主
 義者等ノ運動デアリ六・一〇事件ハ社會主義的性質ヲ多分ニ包含シキタル
 事ヲ言フニ勞働者農民等ノ利益ノタメノ闘争ニアラズソノ他ノ運動ハインテ
 リヤンキヤ等ノ政治的野慾ニヨル人情的緣故的結合ニシテソノ組織ハ思想
 階級ノ形態ヲ取レリ今日既ニソノ弊ハ暴露ニ露サレ派閥抗争ニツイテハ何
 等評價ニ値ヒセザル愚舉ナリ吾等ハ宜シク過去ニ於ケル一切ノ誤謬ヲ清算
 シテ實踐ヲ通ジテ闘争スベク故ニ吾等ノ結合ハ吾等ノ組織ヲ大衆ノタメ
 ノ組織トナシ大衆ヲボルシエビ―キ化シソノ組織ヲ大衆ノ革命ノタメニ嚴
 格ナ實踐ヲ通ジテ初メテ組織セラレ強固ナル組織トナリ得ル即チ吾等ハ斯
 ノ如ク大衆ヲ基礎礎トシタル朝鮮共產黨ノ組織ヲ必要トスルト雖モ朝鮮ニ
 於ケル情勢ハ客觀的ニ主觀的ニモソノ不利ノタメ將又過去ニ於ケル派閥
 分子ノ自己ノ政治的野慾ノタメニ派閥的觀念ノ下ニ大衆ヲ籠絡セントシツ
 ツアルガ故ニ吾等ハ奴等ヲ大衆ヨリ分離セシムルト同時ニ吾等ガ眞ニ大衆
 的組織ヲ持ツニハ可ナリノ時間ト努力トヲ要ス然シ乍ラソノ組織ヲ完成ス
 ルモ事實上朝鮮ニ於テハ未ダ國際路線上ニ立ツ程ノ黨ノ存在ナキヲ以テ吾

等ハ先ヅ大衆ヲ獲得シ組織ヲ急ギ若シ大衆ノ利益ノタメニ眞ニ斗争スル
 意思アル共產黨ガ組織セラレタル時ハ之レニ參加シ以テソノ勢力ヲ強大ナ
 ラシメ若シ吾等ガ大衆ノ組織完成ニ至ルマデ^他共產黨ヲ結成セラレザルトキ
 ハ吾等ノ組織ガソノ基礎トナリ共產黨結成ニ進ムベキモノナリト述ベ一同
 之レニ賛同シ朝鮮共產黨ノ組織ヲ目的トスル秘密結社ヲ組織シソノ後六月
 中旬ニ至ル間ニ於テ嘉會洞九三番地韓相健方及翠雲亭裏等ニ於テ數次會合
 シ今後ニ於ケル運動方針ヲ討議シ時事ノ批判ヲナシ昭和六年六月中旬ヨリ
 韓相健ノ紹介ニヨリ李道雨ガ信ズベキ同志ナルコトヲ知り六月下旬延萊町
 四丁目一五〇番地李道雨方ニ於テ韓相健李平山權泰用李道雨會合シ李道雨
 ニ該結社ガ朝鮮共產黨組織ノ目的ノタメニ結成セラレ居ルノ情ヲ知ラシメ
 結社ニ加入セシメ八月下旬ニ至ルマデニ西大門外金鵝山・高陽郡延禧面・
 同德江面等ノ山中・龍山鐵道公園・孝昌園・翠雲亭・嘉會洞九三韓相健等
 方・府内三清洞一一六番地崔三京方等ニ屢次會合ヲ催シ時事ノ批判及運動
 方針ノ決定等ヲナシ之レガ實踐活動ニ努力スルト共ニ討論中之レヲ宣傳同
 志ヲ獲得シ共產黨結成ノ歩ヲ進メタルモノニシテ今ソノ實踐ニ附シタル討
 論ノ主要ナルモノノ概要ヲ擧グレバ

一、學生問題

學生ハ學校ヲ卒業シテ專門ノ教科ヲ修ムルモ卒業後之レカ

就職ハ不可能ナリ此ノ原因ハ現代ノ教育制度ノ矛盾ニヨル現代教育ガ矛

盾セルコトハ各地ニ於ケル盟休ニ徴スルモ明ナル處ニシテ此等盟休ノ勃

發ハ現代教育ガ學生ニ對スル満足ナル教育ヲ施サザルタメニ奴隷教育ノ

反對或ハ各種搾取反對ノ聲ヲ舉グルモノナリ斯クシテ學生ハ學生トシテ

ノ立場ヲ正確ニ認識セントスルコトニヨリ茲ニ學生問題ガ擡頭シ學生運

動ガ展開セラレル過去ニ於ケル學生ノ盟休ハコノ資本主義教育ノ矛盾ニ

ヨリ端ヲ發シ居ルニ拘ラズ學生等ハ何等ノ認識ナク只自然發生的ニ行ハ

ソノ闘争ハ無意味ノ闘争ニ終リツツアリ現在ノ教育ヲ見ルニ各實業學校

ニ於テハ學生ナル英名ノ下ニ月謝ヲ得見習實修或ハ工作實習等ノ勞働ニ

従事セシメ以テ教育ノ名ノ下ニ二重ノ搾取即チ勞働搾取ト授業料搾取ト

ガ公然行ハレツツアル斯ク見ルトキハ學生ノ本質ハ勞働者ト何等異ラズ

故ニ學生ハ勞働青年ト共ニ學生勞働者トシテノプロフインテルンノ指導

ノ下ニ學生運動ヲ展開スベキデアル故ニ吾等ハ此等學生ニ對シ現代ノ教

育ガ資本家特權階級ガ自己等ノ保全ヲ期スルガタメニ既ニ清算セラルベ

キ教育ヲ施シ學校ヲ工場化セシメ以テ搾取ノ機關トナスモノナルコトヲ

學生等ニ宣傳教養シ資本主義下ノ教育ニ反對シ所謂プロカル運動ニ努ム

ル
コト

ニ反戦デ― 反戦デ―ニ關シソノ決定セラレタル理由ヲ説明シ戦争ガ帝

國主義ノ擴張デアリ資本家特權階級ニ於テプロレタリアヲ犠牲トナシ目
己等ノ利益ノタメニ戦争シ以テプロレタリアノ社會實現ヲ避クル畢竟目
己ノ市場獲得ノタメノ鬭争ナルヲ以テソノ事實ヲ大衆ニ暴露シ之レニ反
對抗争スル組織ト團結ノ必要ナルコトヲ意識セシメ同志ノ獲得ニ努ムベ
キコト

三、李忠武公墓地問題

李朝ノ功臣李忠武公ノ墓地問題ニツイテ東亞日報

朝鮮日報等ニ記載シ賊金ヲ募集シ民族意識ヲ昂揚シ居レルモ朝鮮ヲ離レ
タル李舜臣ノ墓地ナクソノ解決ハ大衆ノ總意ニヨル朝鮮問題ノ解決ヲ俟
ツニアラザレバ實現セズ大衆ヲ捨テ朝鮮ヲ離レテ李舜臣ノ墓地ナキ以上
之レヲハ日和見主義者等ガ自己ノ政治的野慾ノタメノ宣傳ニシテ全ク新
聞ノ廣告ニ過ギズ何等大衆ノ利益ヲ獲得シ得ラザルノミナラズ却ツテ大
衆ヨリ賊金ナル美名ノ下ニ大衆ヲ欺瞞シ之レヲ搾取スルモノナレバ斯ル
欺瞞的行爲ハ之レヲ大衆ニ暴露シ反對ヲ宣傳スルコト

四 萬寶山事件

萬寶山事件ハ日本資本主義政策ト支那ニ於ケル資本主義

ガ互ニ戰爭準備ノタメニ民族ト民族トヲ離反セシメ民族意識ヲ巧ミニ利用セントスルモノナリ斯克シテプロレタリアノ階級ノ對立性ハ魔酔消耗セラレ資本家ノ地盤獲得ノ戰爭ハ準備セラル故ニ吾等ハ民族意識ヲ捨テシメ階級的ニ結合セシムルコトヲ必要トシ全力ヲ傾注スベキモノナルモ各地ニ於ケル民族主義者等ガ萬寶山事件ニ對シ幾多ノ民族的行動ヲ起シタルハ自己ノ政治的野慾ヲ満足セシメンガタメニシテ大衆ヲ欺瞞シ今ヤ大衆ヨリ街頭ニ棄テラレントスル民族主義者等ガ自己ノ地盤ヲ確保センガタメニ殊更ニ民族ノタメナル名ノ下ニ於テ朝鮮プロレタリアト對中
國プロレタリアトノ關係ヲ展開セシメ階級性ヲ魔酔セシメントスル其ノ憎ムベキ行爲ヲ吾等ハ大衆ニ暴露シ同時ニ大衆ヲ階級的ニ導クコトニ努力スベキコト

五 平壤ゴム工場問題

朝鮮ニ於テ最初ノ勞動者等ニヨツテ組織セラレタ

ル平壤ニ於ケルゴム工場ハ工作所ノ名稱ヲ以テ勞動者ノ協同經營ニナレリト稱スルモ資本主義社會ノ下ニ於テハ勞動者ノ向上或ハ農民ノ農園ナルモノハ實現シ能ハズ原料ノ購入販路ノ競争ニヨリ常ニ資本家ノ支配下

ニ屬シ到底勞働者ノミニ於テ經營^{不能ナリ}生産販賣等ニ勞働者ノ手ニ於テ行
フト雖モ結局此等ハ資本家ノ手中ニ歸ルニ等シ即チ大資本主義ノ下ニ於
ケル勞働者農民ハ如何ナル形態ニヨル活動ヲナスモ常ニ資本家ニ屈シソ
ノ支配ヲ免レザルベク只勞働者農民ノ解放ハ革命ニヨツテノミ行ハルベ
キコト

大獨逸賠償金猶豫問題

ドイツノ賠償問題ハ歐洲ノ大戰ニヨツテソノ因
ヲ發ス然シテ賠償ノ性質ハ戰爭ノ實質ハ各國ノプロレタリアカ戦線ニ立
チ多大ノ犧牲ヲ拂ヒシ以上ドイツノプロレタリアハ各國ノプロレタリア
ニ對シ賠償スベキ道理ナルニモ拘ラズ却ツテ事實ハドイツノプロレタリア
アヨリ各國ノ資本家ガ自國ノプロレタリアヨリ搾取スルト同時ニ賠償金
ノ名目ノ下ニ搾取シツツアル斯クシテドイツハ頻死ノ狀態ニ立至リタリ
茲ニ於テ米國ハ救済ノ名ノ下ニ賠償金支拂猶豫案ヲ提出セルガソノ目的
タルヤ頻死ノドイツプロレタリアア救済スルタメノ提案一ヲラズ^{シテ}
ドイツ市場ヲ獨占シ自國ノ殖民地化セシメントスル野心ニ外ナラズ一方
佛國英國等ニ於テモドイツヲ自己ノ掌中ニ收メント計リ再ビ歐洲ノ大戰
ハ達成セラレツツアリ彼ノモラトリアム案ガドイツ政ニ萬國ノプロレタ

リアノタメニ作ラレタルモノニアラズシテ戦争準備ノタメニナサレタルモノナルコト明白ナルヲ以テ吾等ハ之レヲ大衆ニ知ラシメ以テ世界大戦ニ反對セシムベクプロレタリアノ團結ト強力ナル闘争ニヨツテノミ戦争ヲ防止シ得ルコトヲ宣傳スベキナリトナシ

セ 失業救済問題

朝鮮ニ於ケル失業者救済策トシテ道路ノ改修ヲナシツ

ツアルモ之レハ事實上労働者ヲ救済スルモノニアラズシテ全國的ニ道路網ヲ完備シ戦時ノ準備ヲナスモノナリ即チ失業者救済ニ藉口シテ自由労働者ヲ失業者トシテ極メテ小箱ノ賃銀ヲ支拂ヒ其名ノ下ニ最大ノ搾取ヲナシ之レニ従事スル労働者ハソノ日ノ食料ニモ充タザル賃銀ヲ以テ高價ナル勞力ヲ賣リツツアルヲ以テ失業救済事業ニ對スル反對ト之レヲ大衆ニ宣傳暴露スルコト

ハ 婦人労働及幼年労働問題

吾本主義社會ノ發達ハ必然的ニ一般労働者

ヲ驅逐シ婦人労働者幼年労働者ノ採用ヲ必要トス即チ

- (1) 吾本家ニ對スル反抗性少キコト
- (2) 労働時間ノ延長ヲ計ルセズ敵ナキコト
- (3) 賃銀ノ低廉ナルコト

等ノ好條件ニヨリ婦人勞働者幼年勞働者ヲ一層擯取スルガ故ニ吾等ハ現
 段階ニ於テ此等ノ勞働婦人幼年勞働者ヲ指導教養シ覺醒セシメ以テ爾等
 ヲ展開セシムルコト

九世界航空路獲得問題 飛行機ハ旅行其他ニ於テ大衆ノ利益ノタメニ發
 明セラレタルモ資本主義列強ニ於テハ之レヲ戰爭ノ用ニ供スベク機關機
 爆撃機偵察機等ヲ製作シ以テ戰爭ヲ準備シ一方ニ於テ旅客機等モ製作航
 空路獲得ノ競争ヲナシ各國ノ要路其他ノ調査ヲナシツツアリ世界早廻
 リ機ノ如キモ決シテソノ旅行日程ヲ短縮セシメンガタメニアラズシテ却
 ツテ戰爭ノ經路ヲ巧ミニ調査シ其他訪問飛行等ノ名ニ於テプロレタリア
 より擄取セル黃金ヲ以テ資本主義戰爭ノ準備ハ進メラレツツアリ故ニ
 我等ハ之レニ反對スベキコト

等其他梨花學堂盟休批判及女學生問題等ヲ討論シ之レヲ大衆ニ宣傳シ同時
 ニ大衆ヲ獲得シ組織ヲ鞏固ナラシムベク努力シ同時ニ之レガ實踐活動ト
 シテ學生ノ組織ヲナシ之レヲ指導スルト共ニ之レヲ宣傳シテ組織ノ擴大ヲ
 圖リツツアリシガ昭和六年六月末學生ノ組織ヲ總兌龍ニ引續續ギ崔兌龍等
 ハ京城アールエス協議會ヲ組織韓相健ハ之レガ幹部トシテ入りタルモ李連

爾ハ就職ノタメ参加セズ又權濫用李平山ハ労働運動ニ専念スルニ至リタル
關係上各自ノ組織擴大迄ソノ會合ヲ一時中止シタリ

三、學生運動ニ對スル李平山ノ活動

李平山ハ昭和五年十月頃上海在住中反帝同盟責任者タリシ當時ノ盟員李庚
培ガ平壤ニ於テ私立普成專門學校ニ入學シ居ルヲ知り交遊中昭和六年三月
ニ至リ李庚培ヨリ同志トシテ崔三京ノ紹介ヲ受ケ崔三京ト府内三清洞一一
六番地當時崔三京方ニ數次會合シ學生運動ノ必要ナルコトヲ強調シ崔三京
ヨリ有力ナル學生トシテ私立中東學校學生李簡集、元私立培材高等普通學
校學生鄭泰元ノ紹介ヲ受ケ更ニ此等ト北岳山中ニ會合シ李平山ヨリ學生ノ
意識トソノ地位ヲ述ベ階級闘争ノ必然的ニシテ避クベカラザルコトヲ力説
シタル後共產主義社會ノ實現ヲ圖ルニハ宜シク鞏固ナル組織體ヲ持チ闘争
ヲ展開スベシト述ベ一同ノ贊同ヲ得此等ト共ニ秘密結社ヲ組織シ一則一同
會合スルコトニ決定シ場所ヲ北岳山中或ハ翠雲亭等ニ指定シ無產者政治教
育ニヨツテ意識ノ向上ヲ計リ一方前途ノ如キ學生問題、李簡集等地方問題等
ノ時事問題等ヲ提ヘ常ニ實踐的闘争ト同志ノ獲得ニ余力ヲ盡サシメ又宗教
問題ニツイテ宗教ナルモノハ人ヲ禁ハセ乍ラ擯取スル方法竝ニ個人ノ反抗

性ヲ廣澤セシメ組織ヲ修メ其被壞ニシテ宗教ハ阿片ナリト極メテ平
 易ニ説明シ以テ我等階級運動者トシテ宗教ヲ排撃スベキコト等ヲ教授シ學
 校内ニ於テ同志ヲ獲得スベク激勵シタルニ何レモ快諾シ辛皓集ハ中東學校
 ニ在リ錫鄭泰元玄妻英錫等ヲ以テ組織スルニ至リ鄭泰元ハ東大門外居住京
 城留氣株式會社聯工令某ヲ獲得セントシタルモ同人ハ熱烈ナル基督教徒ニ
 シテ鄭泰元ニ於テ再三説明シタル宗教ノ阿片性並ニ階級關係ノ必然性ヲ説
 キタルモ應ゼズ不成功ニ終リタルモ用セズ策動ヲ續ケ其タリ六月上旬ニ至
 リ權泰用韓相健ト共ニ結社ヲ組織スルニ及ビ尙大衆組織ヲ有セザル權泰用
 ニ望望亭ニ於テ會合ノ歸途十字橋附近ニ於テ李平山ノ指導下ニアル鄭泰元
 辛皓集ヲ指導スベキコトヲ命ジ會合紹介ノ場所日時ヲ指定シテ別レ一方同
 年四月同志タル金東赫ノ紹介ニヨリ私立中央高等普通學校學生金東彪ヲ知
 リ更ニ金東彪ノ紹介ニヨリ李相堯及京城工學院學生韓國模ヲ知り昭和六年
 四月中旬苑洞七三番地金東彪方ニ李平山金東彪韓國模李相堯會合シ席上李
 平山ヨリ現在資本主義社會ニ於テハ學生ハ第一ニ精神的擲取ヲ受ケ第二ニ
 物質的擲取ヲ第三ニ奴隸教育ヲ受ケツツアルコトヲ前述ノ如ク續々説明シ
 現在ノ教育ハ既ニ壞滅ニ傾セル資本家目體ガ一日モ自己^水己^ク終ノ地位ヲ持續セ

シガタメニ行フ教育ニシテ同盟休校ノ類發ハ實ニ資本主義教育ノ矛盾ヲ如
 實ニ物語ルモノナリ我等ハ斯カル擷取機關ノ教育制度ヲ破壊シ以テ眞ノ教
 育ヲ要求スベキナリ眞ノ教育ハ社會主義ノ實現ニヨツテノミ得ラルルモノ
 ニシテ我等ハ必然的ニ起ルベキ階級關係ニヨリ吾人ノ團結ヲ強固ニシ又同
 志ヲ獲得シ強力ナル組織ヲ持テ眞ノ教育ヲ得ラルル共產主義社會ノ實現機
 會セバ共產主義社會下ニ於ケル教育ヲ受クベク共產社會ノ實現ヲ期スベシ
 ト説キ一同之レニ賛成即時ニ四名ヲ以テ共產社會ノ實現ヲ期スルタメノ秘
 密結社ヲ組織シ爾來四月下旬ヨリ六月下旬ニ至ル間ニ於テ翠雲亭山中或ハ
 苑洞七三金東彪方ニ於テ數回會合シ無產者政治教程ヲ教本ニ使用シソノ講
 義ヲ事實問題ト照合シ研究ヲ進メ一方學生問題宗教問題李錫臣等地問題等
 ヲ討論批判シ革命意識ノ向上ヲ計ルト共ニ同志ノ獲得ニ全力ヲ傾注スルコ
 トトシ本相變ヲシテ私立中央高等普通學校内ニ學生秘密結社ヲ組織セシメ
 一方韓國境ハ奉平山ノ煽動ニヨリ親社會制度ハ矛盾セルモノト思推シテ連
 ニ共產社會ノ實現ヲ期待シキルニカタテ相當意識水準高キ李相堯トノ同居
 ハ層一層革命意識ヲ深刻ナラシメタリ韓國境ハ專ラ同志ノ獲得ニ努メ義ニ
 中央革命青年會ニ於テ開催セラレタルエスベラント講習會ニ於テ見知越

四、權泰用ノ活動

シトナリタル同志同德女學校學生朴鎮洪ガソノ後同校ノ同盟休校ノリーダートシテ活躍シツアルヲ見テ同志トシテ獲得スベク右朴鎮洪及同校生李鍾煥李孝貞等ヲ諫洞一一七番地當時李相堯ノ下宿先ニ呼寄セ現社會ガ必然的ニ闘争性ヲ帶ビ居ルコト等ヲ語り朴鎮洪ヲ責任トシテ秘密結社ヲ組織スベク勸誘シテ快諾ヲ得之レガ致本トシテ平素購入研究シキタル共產主義ノABCヲ與ヘ組織上ノ秘密保持ニ關シ同志李相堯ヨリ注意指示セラレタル注意書ヲ復寫シ一別紙第一號一之レヲ朴鎮洪ニ手交シ秘密ノ絕對嚴守ヲ命ジ其後朴鎮洪ヲ李平山ニ紹介シ李平山ノ直接指導下ニ入ラシメタリ

權泰用ハ元來李平山ノ教養ニヨリ左翼書籍ヲ耽讀シ遂ニ濃厚ナル共產主義者トナリタルモノナルガ李平山ト共ニ朝鮮共產黨ヲ組織スベキコトヲ約シ後同志トシテ韓相健李道雨ヲ獲得シ李平山李道雨韓相健權泰用ニ於テ朝鮮共產黨組織準備ノ秘密結社ヲ組織シソノ會合ヲ開クニ至レリ何等大衆ノ根據ヲ有セザル同人ニ對シ李平山ニ於テ獲得セル辛皓集鄭泰元等ノ教養ヲ委任セラレ昭和五年六月上旬中央高等普通學校裏ナル運動場ニ於テ豫テ李平山ヨリ指示セラレシ學生帽ヲ反對ニ冠リタル學生二名即チ辛・鄭ノ兩名ト

會合耶元福ナル偽名ヲ用ヒ更ニ四月上旬ニ至ル間高陽郡延禧面山中、北岳
 山中等ニ於テ一週一回成ハ二回會合シ無產者政治教程ニヨリ實際問題ヲ提
 ヘテ之レヲ研究シ時事問題ヲ檢討シ實際運動並ニ宣傳ノ材料ニ供シタルガ
 ソノ事項中主要ナルモノヲ舉グレバ

(1) ロシアノダンピング問題

資本主義國家ニ於テモダンピングヲ行フ

ガ故ニロシアニ於テモ當然之レヲ行フニ何等ノ不可思議ナクロシア
 行フダンピングハロシアニ於ケル勞働者ガ勞働時間外ニ於テ政治的
 融ヲ以テ世界無產大衆ヲ救フベク自己ヲ犠牲トナシ廉價生産シ以テ
 ンピングヲ行フモノニシテ資本主義列強ノ行フダンピングハ市場競争
 ノタメニ勞働者ヲ搾取シ勞働者ノ生活ヲ脅威シ以テ行ハルルモノニシ
 テソノ生産ノ費率ニ於テ既ニ雲泥ノ相異アルコト

(2) 人肉ノ市場

資本主義社會ノ機體ハ鐵テガ商品化シ以テ勞働者勞働

力ヲ賣リ賃銀ト云フ代價ヲ得ルガ如ク人ハ自己ノ肉體ヲ賣ルコトニ
 ツテ初メテ他生活ヲナシ得ル故ニ我々ハ革命ニ成功スルニアラザレバ
 眞ニ人間トシテノ生活ヲ營ムコト不可能ナリ

トテ現社會制度ヲ呪詛革命ヲ力説叫シ其他組織ニツイテ資本主義社會ハ不

合理乍ラモ組織ユル組織ノ完備ニヨリ今日ノ形態ヲ保持シツツアリ依ツテ我等ハ之レトノ闘争ヲ展開シ労働者農民ノ社會實現ヲ期スルタメ宜シク我等ノ組織ヲ擴大シ更ニ強化セシムベキコトヲ説キ其他賠償金猶後問題萬寶山事件失業救済事業問題現代教育問題等ニツイテ前述べ大同小異ノ討論討論ヲナシ之レヲ批判シ以テ彼等ヲシテ革命意識ヲ擴張セシメ革命闘争化セシメ組織ノ擴大強化ヲ計リタルモノナリ

五・韓相健李道雨ノ活動

韓相健李道雨ハ東京在住中央労働學院學生トシテ學ビ常時讀書會及反帝同盟等ニ關係シ共產革命ヲ夢想スルニ至リ昭和六年三月共ニ歸郷シタルモノナルガ機歸郷後朝鮮ニ於ケル學生運動ノ何等見ルベキモノナキヲ慨嘆シ之レガ教養ヲナスベク昭和六年四月初旬府内蘆荻町四丁目一五〇番地李道雨方ニ會合シ同志トシテ金潤權同金憲權ヲ得テ讀書會ヲ組織シ空想ヨリ科學ヘノ社會主義ノ發展ナル書籍ヲ以テ社會科學ノ研究中前述ノ如ク構案用ト相知ルニ及ビ實踐問題ヲ討論批判シ以テ革命ノ經路ヲ研究シ自己等ノ進路ヲ見出し之レヲ運動方針トナシ五月下旬ニ至リ同志法政學校李炳興尹炳赫ノ兩名ヲ獲得シ讀書會ヲ組織シタルガ當時既ニ單ナル研究ノ節

團ヲ救ヘ實跡ニ進出シキタルヲ以テ金潤權金憲權ハ將來ノ身ヲ案ジ所要或ハ病氣ト稱シテ脱退シタルモ韓相傳李平山權泰用李道雨等ハアクマデ所期ノ目的ニ邁進スベク毎週嘉會洞九三韓相傳方及茶屋町九三李炳中の方等ニ於テ會合シ之レガ研究並ニ運動方針ノ討議ヲナシツツアリシガ其後アールエス協勝會結成セララルヤ之レガ勸養指導精神ヲ京城アールエス協勝會ノ支那下ニ附クコトトセリ

六、金三奎ノ入鮮ト其ノ活動

東京ニ於ケル金致廷ハ鮮内ニ潛入セシムベキ前衛闘士ノ養成略々完成シタルヲ以テ同志金三奎ヲ鮮内ニ派スベク決シ此等闘士ノ後續入鮮費用並ニ鮮内ニ於ケル結党費用トシテ一萬圓位ヲ調達並ニ先ニ高景欽徐仁植李宗林等ニ於テ結成セラレタル朝鮮共產主義者協勝會ノ出版活動トシテ金少卿金致廷等ニヨリ獲得シアリシ無産者社ヨリ出版セントスル傾向アルヲ以テ之レガ實情調査ノタメ昭和六年五月中旬金三奎ヲ朝鮮ニ派シタリ金三奎ハ無産者社ヨリニシテ學生運動ニ經驗アル崔兌龍ヲ同伴シテ入鮮同人ニ對シ金一千圓ノ金策ヲ命ジ崔兌龍ハソノ命ヲ受ケテ三浪津ヨリ郷里山清ニ之レガ金策ニ向ヒ金三奎ハ一路入城シ李平山ト府内錦路五丁目五一李平山方ニ於テ

合シ自己ノ使命ヲ告ゲテ是迄ニ於ケル李平山ノ活動狀況ヲ聽取スルト共ニ
 高景欽等ノ組織セシ朝鮮共產主義者協議會ノ真相調査ヲ李平山ニ命ジ李平
 山ハ徐仁植ニツキ結党ノ有無ヲ質シ高景欽ガ東京ニ於テ朝鮮ヨリ党ノ使命
 ヲ帶ビタリト稱スルモ出版物ノ内容ハ党ノ存在ヲ否定セル理由ヲ追求シ朝
 鮮共產主義者協議會ガ單ナル各地ノインテリ級ノ政治的野望ノタメノ結合
 ニ過ギザルコトヲ責メタルヲ以テ徐仁植ハ朝鮮共產主義者協議會ヲ經過ラ
 流ベ且ツ出版活動ノ斡旋方ヲ依頼シタルモ李平山之レヲ一蹴シ其ノ旨ヲ金
 三奎ニ告ゲ當時無產者社ノ實權ヲ握レル金致廷ヲシテ出版物刊行ノ必
 キコトヲ傳言シタルヲ以テ遂ニ出版ニ至ラズ尙李平山ハ自己ノ活動ヲ示
 ベク昭和六年五月下旬東小門外城北里ニ於テ野遊會ヲ催スコトトシ機奏用
 沈仁澤韓國模崔三京等ヲ自己ノ獲得セル闘士ナリト稱シテ午前十一時頃ヨ
 リ東小門外ニ會合セシメ金三奎ニ紹介シ李平山ヨリ鮮内全般ノ運動情勢ヲ
 機奏用ヨリ工場勞働者ノ實情ヲ韓國模ハ定平農民組合ノ活動狀況ヲ崔三京
 ハ京城ニ於ケル學生運動ノ經過ヲ各々述べ終ツテ金三奎ハ日本ニ於ケル共
 産運動ノ全般ニツキ述べタル後今後鮮内ニ於テ一致協力シ共產運動ニ盡力
 スベキコトヲ約シテ散會セリ其後六月上旬ニ至リ先ニ東京無產者社員ニ

ナ鮮内ニ潛入シ共産主義ノ宣傳ヲナス役割及無産者附録トシテノ出版配布
 ノ役割ヲ持タシメ入鮮セシメタル崔逸淑林和安漢等ノ活動ヲ調査スベク毎
 産者社支社創設ノ名ヲ藉リ此等ヲ會合セシメタルモ實際ノ運動トシテ見ル
 ベキモノナク殊ニ安漢ニ於テ支出スベキ運動資金ノ捻出モ亦不可能ナルヲ
 知り將來ヲ具體的ニ展開スベキコトノ注意ヲ與ヘ金策ニ奔走シタルモ成ラ
 ズ僅ニ數百圓ヲ得タルノミナリシヲ六月下旬先ニ一千圓ノ金策ヲ命ゼラ
 レ歸郷シタル崔兌龍ハ歸郷後折シク實父死亡シタルヲ以テ金策ナラズ上
 城シ花月食堂ニ於テ金三泰ト會シ此旨ヲ告ゲタルニ金三泰ヨリ崔兌龍ニ此
 鮮ニ留マリ學生運動ノ指導ヲナスベキコトヲ命シ東大門小學校前ニ於テ此
 旨ヲ李平山ニ告グルト共ニ崔ヲ紹介シ李平山ハ直ニ崔兌龍ヲ自己ノメンバ
 ータル苑洞七三金東彪方ニ止宿セシメ崔ヲシテ學生運動ヲ展開セシムベク
 先ニ指導者トシテ獲得セル崔三京朴鍾洪ヲ紹介シ金三泰ハソノ後十月下旬
 ニ至ル間數次苑洞七三崔兌龍方ニ會合シ今後ニ於ケル學生運動ニツキ協議
 ヲ爲メ後七月下旬金三泰ハ金致廷ヲシテ金策ヲナサシムベク更上ナリ同時
 ニ李平山ハ東京ヨリ來ルベキ同志ハ金致廷ノ紹介狀ヲ持チ來ルベキコトヲ
 ニ朝鮮ヨリ東京ニ派スベキ關士ニハ自轉車ケントノマーカーヲ使用シ連絡ス

10002

ベキコトノ打合セヲナシタリ

七、京城アールエス協議會組織ト活動

六月上旬入城セル崔兌龍ハ東京ニ於テ日本大學内ニアル秘密結社アールエスノ教育部責任タリ其他反帝同盟ニ關係シ其後金三奎ノ紹介ニヨリ朝鮮共產黨組織準備ノタメノ機關雜誌社無産者社目トナリ金三奎ト同伴入鮮シ金策不能ノ爲メ朝鮮ニ留ルコトトナリシヲ以テ労働者等ノ組織ニ進ムベキ希望ヲ將來^{ト將來}ハ労働運動ニ從事スベキコトヲ流ベ再三金三奎ニ請ヒタルモ金三奎ハ労働者方面ニ於テハ實踐運動ノ體驗ト臨機ノ處置方法ヲ必要トスルヲ以テ^他労働運動ノ實踐ト體驗深キ適任者アルヲ以テ^{後金三奎ニ}紹介アル學生運動ノ展開ニ努ムベキコトノ指示ヲナシ李平山ニ於テ組織セシ學生秘密結社ノ引續ヲ受クルト同時ニ之レガ指導者トシテ朴鎮洪崔三京ノ紹介ヲ受ケ昭和六年六月三十日午前十一時頃ヨリ府内三清洞一一六當時崔三京ノ住所ニ於テ李平山ノ指示ニヨリ李平山崔三京朴鎮洪崔兌龍會合シ席上李平山ヨリ今後同人等ニ於テ協力學生運動ニ携ハルベキ事ヲ指示シ崔三京崔兌龍朴鎮洪ハ直ニ之レガ組織ニ入り名稱ヲ京城アールエス協議會ト崔兌龍主唱ノ下ニ名命シ各其部署分擔ヲ定メタルガ

責任並ニ調査組織部責任

崔三京

教育部責任

崔兌鼎

婦人部責任

朴鶴洪

ト決定シ各々現在組織ヲ有スル學校並ニ未ダ組織ヲ有セザルモ近ク組織ヲ有スルニ至ルベシ可能性アル學校ノ分擔ヲ

中山學校

崔兌鼎

中央高等普通學校

慶文高等普通學校

華成專門學校

崔三京

法政學校

仁德女子高等普通學校

朴鎮洪

京城公立女子高等普通學校

京城女子商業學校

餘各學校ノ分擔ヲ定メ今後ニ於ケル會合ノ會期ヲ(1)私生活ニ對スル報告(2)公生活ニ對スル報告(3)一般時事報告(4)討論(5)討論(6)批判ト定メ同時ニ各學校ニ組織責任者ヲ置き以テ之レヲ指導シ教養スルコトトナシ各學校ノ感情

勢ヲ知ルト同時ニ闘争方針確立ノタメ各學校責任者ニ對シ

一主體一組織メンバー一各メンバーノ學年組年齡・本籍住所性格・意識

ノ程度

二客體一學校名一經營體一經營狀態一職員數ニ其中ノ派争一生徒・學年

組別ノ人員・生徒ノ狀態・一般の氣分一學校内ノ合法團體一

一般の不平不満一動向ノ狀態一學校ノ地圖（以上附第四號ノ指令

書）

ノ事項ヲ指示シ調査報告ヲナサシムルコトトシ且ツ未組織學校タル普成專
門學校京城公女女子高等普通學校京城女子商業學校ハ速ニ責任者ヲ以テ手
掛ツ得組織スルコトトセリ其後七月上旬北岳山中ニ正午頃ヨリ嶺三京朴鐵
洪相允組ハ會合シ朴鐵洪ヨリ同德女學校盟休事件ノ經過ノ報告ヲ受ケ其ノ
盟休ガ教師等ノ派争ニヨツテ同校教師申明均外一名ノ煽動ニヨリ惹起セラ
レタルガ斯クノ如キハ教師ガ自己ノ地位獲得ノ爲ニ學生大衆ヲ利用スルモ
ノニシテ恰モ資本家ガプロレタリアアッシテ派争ヲナサシメ以テ自己ノ地盤
ヲ獲得スルガ如クソノ行爲ハ眞ニ憎ムベキモノニシテ之レニ反對スベキモ原
因ノ如何ニ拘ラス學生ハ闘争ヲ展開シタルヲ以テ學生等ノ要求條件ニ對シ

テハ之レニ積極的支援ノ必要ナキモ阻止スル事ナク形勢觀望ニ決シ婦人間
 關ニ就イテ討論散會シソノ後七月中旬府内苑前七三社覺醒下宿ニ於テ會合
 ヲ催シ豫テ李平山ヨリ紹介ヲ受ケキタル健相健モ同席セシメ京城アールエ
 ス協議會ガ共產社會實現運動トシテ行ハルルコトヲ説明シ加入ヲ求メ林相
 健ハ之レヲ承諾シ教育部長トナリ且ツ中東學校ノ指導教養ノ責任ヲ持ツニ
 至リ更ニ近ク其中休暇ニテ歸省スベキ學生等ニ對シ婦人中ノ闘争方針トシ
 テ各郷里ニ於ケル貧農並ニ職場労働者ノ生活學校並ニ學生等ノ救済ノ氣分
 地方運動ノ一般傾向等ノ調査ヲ命ジ如何ニ貧農労働者等ノ生活ノ向上ムベキ
 カヲ知ラシメ階級意識ノ昂揚ヲ計ルト同時ニ秘密保持ニ關シ自己ガ研究シ
 又ハ結社ニ加入シタルコトヲ他人ニ感知セラルルガ如キ動作並ニ言語ノ使
 用ヲ嚴禁シ秘密保持方法トシテ會合其他ニ用ヒタル記録ハ燒却又ハ地中ニ
 埋没スベキ事等指示注意ヲ與フル事ヲ決議散會セリ其後七月中旬黨部事務
 山ニ會合シ當時府内各中等學校ニ撒布セラレタル學生ゼネスト協議會名義
 ノ機文撒布ニ付其内容ヲ検討シ機文撒布時機ヲ失シ既ニ學生ノ其中休暇前
 ナルヲ以テ效果ナカルベキモ若シ此刺戟ニヨリ效果現ハレ盟休労働者等之
 レヲ指示スルコトニ決定シ越ヘテ七月下旬舊三京ハ同志李庚培ノ住所地タ

ル黃海道延白郡延安邑内ニ往來シ當時各學校ハ何レモ暑中休暇ニ入りタルヲ以テ七月下旬ヨリ八月下旬ニ至ル間ニ於テ府内竹添町二丁目朴鎮洪方府内苑洞七三崔兌龍方嘉會洞九三韓相健方等ニ於テ崔兌龍韓相健朴鎮洪數回會合シ佐野學著國家論ヲ使用シテ研究ヲ續ケ時事ノ討論批判ヲナシ且ツ、後ニ於ケル運動ノ展開方針ヲ協議スル處アリタリ其間八月中旬東小門外ニ於テ崔兌龍朴鎮洪韓相健會合シ地方旅行ニ依リ當分歸城ノ見込ナキ崔三京ヲ除名シ同人ノ後ヲ受ケ崔兌龍組織調查部並ニ會全般ノ責任者トナリ八月下旬ニ至リ李平山ニ於テ朴鎮洪ヲ工場ニ入ラシメ勞動婦人ノ獲得ニ從事セシメタルタメ九月下旬府内長沙洞四五當時崔兌龍ノ下宿ニ於テ韓相健崔兌龍會合シアールニス協議會ヨリ朴鎮洪ヲ除名シタリ一方崔三京ハ八月中旬延安ヨリ入城シテ京城ニ留マリキタルガ運動不可能ト見テ自己責任ニ屬スル各學校ヨリ徵シタル報告書ヲ三清洞裏山ニ埋沒隠匿シアリシヲ崔兌龍ニ引續グベク稱頌ヲ堀上ケ之レヲ苑洞七三當時崔兌龍ノ下宿ニ携行セルモ崔兌龍不在ナリシタメ其ノ旨家人ニ告ゲ右書類ヲ崔兌龍ニ引續方李平山ニ託轉シタルニ李平山ハ其後更ニ其他ノ機密書類ト共ニ之レガ保管方ヲ機樂用ニ一任シ機樂用ニ於テ之レヲ引受ケ保管中九月二日檢査セラレタルヲ以テ

同人等ハ此等ノ支費ヲ府内天然洞自宅ニ於テ燒却セリ

其後十月中旬長沙洞四五當時崔兌龍ノ下宿ニ於テ崔兌龍韓相健會合シ同志ノ獲得ト連絡ノ緊密ニ費スベク各學校ニ消費組合ヲ組織シアルエスノ擴大強化ニ努ムベキコトヲ協議シ各學校組織責任者ニ指令シ活動ヲ開始スル所ニシタルニ幹部不足ノタメ充分ナル活動出來ザリシヲ以テ陣容ヲ新ニ整頓シ活動ヲ展開スベク幹部候補者物色中昭和六年十月中旬ニ至リ李道雨ノ紹介ニヨリ崔益秀ト相識ルニ至リ同人ヲ幹部候補者トシテ先ツソノ意識並ニ個人ノ意向ヲ確ムベク李道雨韓相健崔兌龍崔益秀ノ四名ヲ以テアルニス。ハ即ニ韓相健會ヲ組織シ府内各洞九九崔益秀方ニ數回會合シ討論計略ノ結果之レヲ京城アルエス協議會幹部ニ採用スルコトニ決定シ昭和六年十月下旬京小門外ニ於テ會合ヲ約ンタルモ當時韓相健病氣ノタメ參席セズ崔益秀ナリ數日ヲ經テ府内協會洞九三韓相健萬ニ韓相健崔兌龍崔益秀並ニ崔益秀ノ紹介ニヨリ崔兌龍ガ九月下旬ヨリ十月上旬ニ至ル間陳洞一七苑洞七三長沙洞四五等各崔兌龍ノ下宿及三清洞裏山ニ於テ前後九回會合シ原理ノ教導並ニ實踐問題ノ批判等ヲナシ尙同德女學校アルエスノ正メンバートシテ對策ヲナシタル同德女學校學生李順今モ會合タルガ要事ノ兩名

0036

ハ京城アールエス協議會ガ前報ノ目的ノタメノ秘密結社ナルノ情ヲ熟知シ
 テ之レニ入會シ幹部トシテ活動スベキコトヲ決意シタルヲ以テ共ニ學生運
 動ニ對シテ今後ノ運動方針ヲ討議シ更ニ昭和六年十一月上旬午前十時頃ヨ
 リ府内昌留洞九九宴益秀方ニ於テ宴益秀李順今崔兌龍韓相健會合シ京城ア
 ルエス協議會ノ部署ヲ變シ各學校ノ分擔制ニ變更シ

京城公立第二高等普通學校

晏益秀

私立中央高等夜學校

崔兌龍

私立中央高等普通學校

私立中央東學校

私立法政學校

私立同德女子高等普通學校

李順今

私立中央基督教青年會學校

韓相健

私立華隣商業學校

私立徽文高等普通學校

擔任スルコトトシタルガ其内中央基督教青年會學校ハ崔兌龍ヨリ華隣商業

學校ハ李道雨ヨリ夫々紹介ヲ受クルコトニ決定シ其後會合ヲ一週一回ト改

ノ虞アリトシ事更換辛勞集リ一組。幸相宛（國模）ヲ一組トスル二組トナシ
 時恰モ該相宛が本平山ノ紹介ニヨリ入會シタル當時ナリシヲ以テ中東學校
 ノ辛勞集至更換ハ之レガ指領ヲ離相宛ニ一任シ幸相宛（國模）ノ指導幹事ニ
 任ジ一方幸東彰トハ同宿ノ脚路上常住之レガ指導ニ當リ學校内ニ組織ヲ整
 ツベキニトフ指示シタルモ結成ノ見ザル内性來命東彰ヨリ國模（國模）ヲ
 ル幸相宛ヲシテ中央學校責任者トシタルヲ以テ加入ハ其後ニ於テ何種具
 體的活動ヲ見ズ

福信（龍）ハ斯ク幸相宛（國模）兩名ノ指導ニ當リタルヲ指領（國模）幸相宛（國模）ト
 幸合（スル）ト非ニ幸更換ニ亦之レニ參加。七月上旬ヨリ同下旬ニ至ル間ニ於
 テ斯ク宛制七三當時指領（龍）ノ下宿乃府内（府會）洞一七七幸相宛（方）ニ於テ五
 回會合シ原理ヲマルクスノ地代臨ニ採リハ該際ニ當際メ該指領（龍）スルノ同
 時ニ時至間頓々批判シ又實際問題トシテ取扱ヒ運動ノ機關ニ協働努力シ七
 月下旬グル！ブ日替中休暇（省）ニ際シテハルニアルエス協働會ニ於テ決
 定セル貧民ノ生活狀態外（府）ニ置ル諸（方）ヲ非ナシ其後（省）中休暇ヲ經テ
 二學期ニ入り該國模（八）制（龍）ノゾメ（府）城（セ）ズハ相宛（龍）東彰ノ兩名上城（セ）ル
 以テ先ツ中央（府）校ノ責任者タル幸相宛（龍）ヨリ（省）中休暇中ニ於ケル四（府）ニ就

(二) 崔兌龍ト密三京ノ關係

キ陳取スル虞アリ後九月中旬ヨリ十月下旬至ル間府内崔洞八ノ二處
 方ニ金東彪李相堯ヲ五六回會合セシメ與テ共產黨宣言ヲナル
 トヲ以テ時事問題ニ常談メ批判シ且ツ組織ヲ大強化ニツキ計議シ
 學生消費組合ガ學校内ニ於ケル合法團體トシテ最モ同志ノ聯名ヲ大
 強化ニ必要ナルコトヲ説キテ之レガ設立力ヲ李相堯ニ托スル事ニ
 運動ヲ開始セシメタル内昭和六年十月末迄崔兌龍ハ率三京ニ
 警察ニ檢舉セラレタルヲ以テ己ノナク崔兌龍李相堯ノ兩名會合スルコト
 シ昭和六年十一月上旬ヨリ李相堯ガ常務ニ崔兌龍ヲ見ル迄府内崔洞八ニ
 方ニ會合シ李相堯ノ組織シタル中央高平校門ノ組織ノ材料トシテ
 リア經濟學ヲ使用スベキ事ヲ指示シ其他中心ダクルフヲ組織シ以テ學校内
 ニ於ケル組織ノ擴大強化ヲ計リタリ

斯クノ如ク指導ヲ受ケタル李相堯ハ生ニ李平山ノ指導ニヨリハ府内
 結合シタル朴豐稷李應燮ヲ組織部長トシ六月月中旬府内崔洞二ノ四二當時
 朴豐稷ノ下宿ニ於テ李相堯李應燮朴豐稷ト會シ前掲目的ノ程者結社ヲ組織
 シ其後七月中旬ニ至ル間ニ於テ崔洞二ノ四二ナル朴豐稷方ニ數回會合シ時

ベキ費用ハ税金ナル名目ニヨリ無産階級ニ賦課シ以テ資本主義ノ延命ヲ計リプロレタリアノ搾取ヲ一層増大セントスルモノナリ吾等ハ宜シク此解放ヲ阻害スル出兵ニ反對スベシト規定シ置
更ニ各學校内ニ於ケル革命闘争ニ對シ警察權ノ侵入ハソノ指導者ヲ失フノミナラズ學校内ノ戰闘的氣分ヲ消失スルヲ以テ之レニ反對スベキコトヲ決
斷シ京城アールエス協議會ニ於ケルスローガンヲ

一、授業料三割値下

二、失業者ノ子弟ノ授業料免除

三、學園内ニ警察權ノ侵入絶對反對

四、滿州出兵反對

◆ト定メ以テ各學校内ニ組織シアルアールエスヲシテ宣傳セシメ同志ノ獲得
闘争ノ展開ニ努力スルト共ニ智識等ハ右ニヨリ各學校グループニ對シ右ノ
旨ヲ指令シ學生等ヲ煽動スルト同時ニ組織ノ擴大強化ニ努力セリ
(一)各學校アールエスニ對スル崔兌龍ノ活動

崔兌龍ハ李平山ヨリ辛皓集韓國棟李東煥金東彪等ノ紹介ヲ受ケタルヲ以
テ之レガ指導的資力ヲ全力ヲ傾注スル事トシ昭和六年七月上旬ニ夫レ夫レ

前次協議會ニ於テ決定セシ指令ヲ發シ之レガ報告方ヲ示達シ昭和六年七月上旬午後六時頃ヨリ府内三清洞三〇ノ二當時李東煥ノ下宿ニ於テ崔兌龍李相堯韓國模李東煥辛皓集等會合シ席上ニ於テ崔兌龍ハ此會合ガ私有財産制度ヲ否認シ共產社會ノ實現ヲ期スルタメ組織セラレタル京城アルニス協議ノ細胞タルアルニスナル事ヲ告ゲテ會集ノ各人ガ自己ノ屬スル學校ニ於ケル責任トナリ前掲目的ノアルニスヲ組織スルコトヲ指示勸誘シタルニ何レモ之レヲ快諾シ各人ノ所屬學校

私立京城工學院

韓國模

私立徽文高等普通學校

李東煥

私立中央學校

辛皓集

私立中央高等普通學校

李相堯

各責任ヲ決定シ活動ヲ開始シタルガ其後數日ヲ經テ嘉會洞一一七李相堯方ニ會合スル事トシ其集合場所府内嘉會洞藥水場トシタル處李東煥ハ之レヲ誤聞シ翠雲亭藥水場ニ至リシタメ悉皆不能トナリシモ崔兌龍李相堯韓國模辛皓集ノ四名ハ豫定ノ通り會合シ時事ヲ批判討論シテ散會シタリ斯ク云スル内崔兌龍ハ多數會合スルハ會同ノ圖滑ヲ缺クノミナラズ發覺

ノ虞アリトシ奉東煥辛皓集ヲ一組。奉相宛職園棟ヲ一組トスル二組トナシ
 時恰モ旭相館ガ不平山ノ紹介ヨリ入會シタル當時ナリシヲ以テ内閣
 ノ辛皓集奉東煥ハ之レガ指導ヲ職相館ニ一任シ奉相宛職園棟ノ指導者一
 任ジ一方迄東煥トハ同籍ノ關係上常住之レガ指導ニ當リ學校内ニ組織ヲ
 ツベキコトヲ指示シタルモ結成ヲ見ザル内性來金東煥ヨリ關帝廟邊ニ於
 ル奉相宛ヲシテ中央黨黨首トテシタルヲ以テ同人ハ其後ニ於テ組織
 的活動ヲ見ズ

奉兌爾ハ斯ク奉相宛職園棟座長ノ指導ニ當リタルガ猶兌爾奉相宛職園棟
 會合スルト共ニ奉東煥モ亦之ニ參加シ十月上旬ヨリ同下旬ニ至ル間ニ於
 テ府内苑湖七三當時尙兌爾ノ下宿乃府内黨會湖一七七奉相宛方第ニ於テ近
 回會合シ原理ヲマルスノ地代論ニ採リテ實際ニ當談メ研究討論スルノ間
 時ニ時事問題ヲ批判シ又實際問題トシテ取扱ヒ運動ノ機關ニ協働努力シ七
 月下旬グループ日晝中休暇歸省ニ際シテハ先ニアールエス協働會ニ於テ決
 定セル貧農ノ生活狀態外設項ニ亙ル國策方針ヲ指示シ其後晝中休暇ヲ經テ
 二學期ニ入り職園棟ハ病氣ノタメ出城セズ奉相宛命東煥ノ兩名上城セルヲ
 以テ先ツ中央黨將校ノ責任者タル奉相宛ヨリ晝中休暇中ニ於ケル關係ニ就

キ聴取スル處アリ後九月中旬ヨリ十月下旬ニ至ル間府内苑洞八ノ二と相違
 方ニ命東彰李相堯ヲ五六回會合セシメ取テ一其運常宣言一ナルパツツ
 トヲ以テ時事問題ニ對シテ批判シ且ツ組織ノ擴大強化ニツキ計畫シ同時ニ
 學生消費組合ガ學校内ニ設ケル合法團體トシテ最モ同志ノ獲得組織ノ擴大
 強化ニ必要ナルことヲ認メテ之レガ設立方ヲ李相堯ニ指示シ金東彰ト共ニ
 運動ヲ開始セシメハ九月四日昭和六年十月末金東彰ハ崔三京等ト共ニ
 警察ニ檢舉セラレタルヲ以テ已ムナク崔兌龍李相堯ノ兩名會合スルコトト
 シ昭和六年十一月上旬ヨリ李相堯ガ當署ニ檢舉ヲ見ル迄府内苑洞八李相堯
 方ニ會合シ李相堯ノ組織シタル中央高普校内ノ組織ノ材料トシテブツ
 リア經濟學ヲ使用スベキ事ヲ指示シ其他中心グループヲ組織シ以テ學校内
 ニ於ケル組織ノ擴大強化ヲ計

(二) 崔兌龍ト崔三京ノ關係

斯クノ如ク指導的養ヲ受ケタル李相堯ハ先ニ李平山ノ指導ニヨリ人間的
 結合シタル朴豐稷李應業ヲ組織部員トナシ六月中旬府内苑洞二ノ四二當時
 朴豐稷ノ下宿ニ於テ李相堯李應業朴豐稷會合シ前掲目的ノ秘密結社ヲ組織
 シ其後七月中旬ニ至ル間ニ於テ苑洞二ノ四二ナル朴豐稷方ニ數回會合シ時

事關國ヲ批判シ討論ヲ行ハ昭和六年九月ヨリ同年十一月中即ニ至ルマデ
 桂洞二當時半開集ノ下宿及死洞八ノ二本相覽下宿等ニ於テ毎週一回會合
 シ教本トシテ一マールク又主幹經濟學一ヲ使用シテ研究ヲナスト同時ニ時
 事ヲ討論批判シ昭和六年十一月自己等ノ意識ト實踐ニ對スル御論評外ナ
 リト思惟シ同人等ガ中央高専校内ニ於ケルアールエスノ中心タル一ブ
 ナリ各自同志ヲ獲得シアールエスヲ組織シ以テ實力ノ扶植ニ努ムヘキ事
 ヲ協議シタルモ時第三學期終末試験期ナリシヲ以テ第二學期ニ回京トナ
 ルベキ候補者ヲ物色シ三學期ニ入り大々的ニ組織活動スベキ事ヲ協議決
 定シ會合ヲ中止セリ是ヨリ先回組織ノメンバートルタル幸淵葉ハ科學ノ研究
 ト實際ニ於ケル多岐ノ失業等ノ昨ヲ見據ニ共產主義社會ヲ實現スルニテ
 ラザレバ餓死ニ頻メル勞働者等ヲ救フ事不可能ナリト信シ幾ニ其中心組織
 ニテ諸省中ノ在京北新出身學生等ヲ以テ組織セラレ居ル青年會ヲ組織ス
 化ヲ計ル^{（2）}方^{（3）}トシテベキ結果ニ於ケル結果ヲ集メ童話會ヲ開キ之レニ諸議定
 ヲ注入スルト同時ニパンフレット一今ノ世ノ中一「タンク」ノ水一罐ヲ賣
 品トシテ集ムヘ以テ共產主義ノ思想ヲ普及セシメント計リタルモ當時北新
 會ノ禁止ニヨリ會合ヲ催シ得ズ流亡トナリ尚法蘭西上城シテ後同志ヲ得

並ニ主幹宣傳ノタメ學校ニ於テ隨時開催セラルル義論會ヲ利用セント目
 論見共諸主幹的過激ナル原稿（將據品トシテ押收シタルモ別紙ナシ）ヲ
 作成シ之レヲ發表シ共產主義ノ宣傳ヲナヘト同時ニ同志ノ獲得ニ資スベ
 ク機ハヲ窺ヒキタルモ未ダ義論會ノ召集ノキタメ發表ニ至ラズ

(三) 法政學校並ニ中東學校ニ於ケル崔兌龍ノ活動

先ニ京城アルエス義論會ニ於テ崔三京ノ分擔セル普成專門學校ハ既に
 學期末ニ當面セルヲ以テ暑中休暇明ケノ九月ヨリ實行スル事トシ崔相健
 ノ紹介ニヨリ組織リタル私立法政學校學生李炳燮ヲ伴ヒ昭和六年七月上
 旬總督府裏山ニ於テ崔兌龍立會ノ下ニ會合シ法政學校ニハ先ニ陳相健等
 道雨ニヨリ組織セラルキタル學生讀書會ヲ其備京城アルエス協義會ノ
 指導下ニ屬セシムル事ヲ李炳燮ニ指示シ其ノ承諾ヲ得テ當該法政學校ノ
 責任者ヲ李炳燮ニ定メ先ニ京城アルエス協義會ニ於テ決定シタル學校
 ノ情勢報告ヲ作成報告スベキ事ヲ命ジ其後七月中旬府内茶室町九三子炳
 申方ニ於テ崔三京崔兌龍ト法政學校ノメンバータル尹炳赫ト會合シ先ニ
 指令シタル報告書ヲ李炳燮ヨリ崔三京ニ渡シプロレタリア科島トブルキ
 ヲア科島ニ就キ討論シ其後七月下旬頃ニ至リ崔兌龍ハ崔三京ノ後ヲ受ケ

八月上旬ヨリ十二月中旬ニ至ル間ニ於テ府内茶屋町九三李炳方及高陽郡漢芝面往十里以下不詳尹炳赫方及崔兌龍李炳山尹炳赫等方ニ數回會合シ時事開闢ニ就キ討論ヲ重ネタルガ其ノ主要ナルモノヲ舉グレバ當時對炳赫ガ勞動者ノグループヲ作り之レヲ指導且ツ教養シツツアリシヲ以テ其間開ヲトリアゲ

一、學生ハ勞動運動ニ參加スベキモノナリヤ否ヤニ付討論シ學生トイヘトモ革命ノ昂揚ニハ何等其他ノ運動者ト異ル處アキヲ以テ當然力ノ及ビ限り之レニ參加支持スベキモノナリトナシサシテ益々勞動者方面ニ活動セシムル事トシ

二、支那革命ノ朝鮮ニ及ボス影響ニ付テハ支那ニ於ケル近來プロレタリア革命ノ昂揚ヲ例ヲ舉ゲテ說キ支那革命ノ世界革命ニ對スル重要性ヲ汎ベ之レガ朝鮮ニ及ボス影響トシテ地理的或ハ歴史的ニ見テ相關連連續ナルベカラザルヲ以テ吾等ハ支那革命ヲ支持スルト同時ニ運動ノ發展ヲ期ス

三、資本主義社會ニ於ケル法律ノ階級性ニ就テ此等法律モ總テ資本家階級ノ階級ノタメニ作ラシモノニシテ何等平等ナル事ヲ認メラザル事ヲ

理論的ニ討究シ

四二

四民政党内閣ノ崩壊ニ就テ絶對多數ヲ有スル民政党内閣ノ崩壊ハ國內ノ
 經濟的危機ガ資本家特權階級ヲシテ自己ノ地位ヲ庇護スベク一層強力
 ナルフアツシヨ化セラレタル強力内閣ヲ必要トセル爲メノ崩壊ニシテ何
 等大衆ノ意思ニ基ク崩壊ニアラスクシテ日々ニ資本主義ノ終末ノ近
 ツキツツアル事ヲ力説シ

其他前流プロレタリア運動ニ於ケル學生運動ノ地位ドイツ賠償金問題活
 動方針ト組織ノ形態世界恐慌ト政治的危機等ヲ討論批判シ組織ノ擴大強
 化ヲ協議シ其席上尹炳麟ハ京城公立第一高等普通學校私立普成高等普通
 學校私立中央基督教青年會學校等ノ學生ヲ以テ組織轉ヲ持ち居リ其他勞
 働者ノ組織（前流）ヲモ有シ之レガ指導教養ニ努メツツアル旨ヲ報告シ
 タリ

其他中東學校ハ昭和六年十月中旬辛皓集ノ指導ヲ韓相健ヨリ引續ギ同年
 十二月中旬迄ノ間ニ府内三清洞三四辛皓集方及府内勸農洞裏通り觀水橋
 府内長沙洞四五常時崔兌龍下宿等ニ於テ前後九回會合シ其間中心グル
 プノ組織ヲ指示シ同志ノ獲得ニ奔走セシメ時事問題其他プロレタリア運

八

動ニ於ケル學生運動ノ地位等ヲ討論シ之レガ救済ニ努ムル一方中東路使
内ニ於ケル勢力を扶植ニ吸々タリシモノナリ

八・ 鐵相館ノ活動

鐵相館ハ先ニ李平山館ト共ニ朝鮮共產黨再建ノタメノ基礎ダルーゾヲ組織
シ專ラ闘争ニ努メタルガ其後七月上旬李平山ノ紹介ニヨリ京城アールエス
協議會ニ教育部長トシテ入り一方李平山館トノ會合ヲ組織シ居タルガ其後
李平山館トノ會合ヲ一應打切り以テ京城アールエス協議會ニ専心スル事ト
ナリタルモノニシテ昭和六年七月下旬崔兌植ノ紹介ニヨリ辛皓集ト知り私
立中東學校内ニアールエスヲ組織セシメ之レヲ指導シ昭和六年七月上旬ヨ
リ八月上旬ニ至ル間張雲亭崔兌植九三鐵相館方等ニ於テ三四回會合シ之レ
ヲ轉變指導シ營中休暇中ノ闘争方針ヲ授ケ昭和六年九月上旬ヨリ九月下旬
ニ至ル間ニ於テ鄭泰元モ之レニ參加シ鐵相館辛皓集ト共ニ高陽郡恩平面洗
劍亭張雲亭北信山中館ニ於テ前後五回會合シ討論討論批判ヲナシタリ其ノ
討論問題トシテ主要ナルモノヲ舉ゲレバ

一 スベインノ革命ニ就イテスベイン革命ハ現在ブルジョア革命ニシテ決シ
テプロレタリアノ革命トハ云ヒ得ザルモ現時ニ於ケルプロレタリアノ生

0110

長ハ之レニ満足スル事ナク必ズヤブ口レタリア革命ニ到達スベキ必然性
ガアルト述ベ

其他農村問題ドイツ賠償金猶豫案問題消費組合問題等ナリ

市ノ如ク批判討論シ以テ各組織ノ擴大ト學生運動ノ展開ヲ計リ鄭泰元ハ九

月下旬歸郷シ辛皓築ハ其後崔兌龍ノ指導下ニ移レリ

斯ク雖相繼ハ活動ヲ持續スル^{傍ラ}李東煥ノ指導ニ應シ十月上旬ヨリ十月下

旬ニ至ル間翠雪亭ニ於テ三回會合シ之レヲ勸養指導シ同時ニ私立徽文高晉

校生韓泰熙ヲ李東煥ニ紹介シ同校内ニ於テアールエスヲ協力組織スベキ事

ヲ指示シタルモ韓泰熙ニ熱意ナク遂ニ組織ニ至ラズ爲メニ李東煥ハ自己ノ

使命ヲ果スベク同志ヲ物色シ^内校内ニ於ケル趙勝運裴泰成韓鍾亨ヲ有力ナ

ル候補者ト定メ行動内查中ナリシモ組織ニ至ラズ其後裴益秀ノ指導ヲ受ク

ルニ至レリ

朴鎮洪ハ昭和六年六月ヨリ韓國模ノ指導ヲ受ケ韓國模ノ紹介ニヨリ李平山

ト相識リ後李平山ノ紹介ニヨリ京城アールエス協議會ヲ崔兌龍崔三京ト共

ニ組織シ婦人部責任者タル幹部トナリ同時ニ私立同德女學校學生李鍾嬭李

孝貞ト昭和六年七月中旬府内昭格洞八四李鍾嬭方ニ於テ會合シ同所ニ設テ

情ヲ打明ケアールエスヲ組織シ一共產主義ノABC一ヲ以テ教材トシ指導
 ニ努メ其後東小門外ニ李鍾嶠李孝貞李顯今朴鎮洪會合シ李顯今ニソノ情ヲ
 明シテ結社ニ加入セシメ研究討論ヲナシ次デ七月下旬府内昭格洞八四李鍾
 嶠方ニ於テ會合シ此ノ四名ヲ以テ同德女高祥校内ニ於ケルアールエスノ正
 會日トナシ此ノグルーブABC班ト名付ケ同校生李淑囑朴利燦洪鍾顯命
 吉副ヲ定メ之レヲカラクリ班ト命名シ行動ヲ監視スル共ニ
 ルカ同德女學校ニ於ケルメンバーハ極メテ肅謹水準低キタメ特別勸養ヲ要
 ストナシ雖相傳ハ之レガ指導者トシテ時ニ懈怠顯ヨリ指令セラレ七月下旬
 ヨリ八月下旬ニ至ル迄府内竹添町二丁目當時朴鎮洪方ニ同德正メンバーヲ
 對面會合セシメ朝鮮ノ現下ノ世界的地位ニ就テ現在資本主義ハ戰後ノ發展
 ニヨリ其ノ三期ニ入ツタ三期トハ資本主義死滅ノ時デアリ凡有ル矛盾ガ顯
 現形態トナリ現ニ主要ナル資本主義國家ニハ失業率ヲ包含シ最早ヤ此等
 失業率ハ產業設備重トシテデナク剩餘ノ勞働トシテ街頭ニ棄テラレタ斯ク
 シテ階級對立ガ尖鋭化シ資本主義經濟組織ノ基礎ハ搖ギ出シ其レヲ復活セ
 シメンガタメ多クノ國內プロレタリアートト殖民地被壓迫民衆ノ血ノ最後
 ノ一滴迄モ擷取スル其レニ向ツテ各地ノ殖民地半殖民地ニ於テモ革命運動

ガ昂揚セラレ朝鮮ニ於ケル運動モノノ一翼トシテ見ルベク元山ノゼネスト以後ノ極多ノ勞働者農民ノ英雄的闘争ヲ見テモ推知セラルル吾等モ又此運動ノ一翼トシテ運動ヲ展開スルト同時ニ資本主義本國ニ於ケルプロレタリアトノ提携ガナクテハナラヌト説明シ一空想ヨリ科學ヘノ社會主義ノ發展一ナル書籍ヲ使用シ原理ノ教育ヲナスト同時ニ資本主義教育ニ於ケル學生ノ地位ヲ知ラシメ以テ運動ノ展開ニ努メタルヲ其後李順今之レカ責任トトリタルモ未達補ニツキ詳細判明セズ朴鎮洪ハソノ責任部門タル京城公立女子高普校及京城女子商業學校ニハ未ダ同志ノ獲得ニ至ラズ

九、中等夜學校ニ於ケル活動

韓相建ハ私立中等夜學校學生尹長燮ヲ同郷ノ故ヲ以テ知り之レヲ教養スベク微文高普校學生韓泰熙ト共ニ昭和六年七月下旬ヨリ府内嘉會洞九三韓相建方ニ於テ秘密結社讀書會ヲ組織シ同年八月下旬ニ至ル迄數回會合シ一資本主義ノカラクリ一ヲ使用シ之レガ教養ニ努メ昭和六年八月上旬尹長燮ヲシテ私立中等夜學校内ニ崔某ナル同窓生ト共ニ京城アールエス指協議會ノ指導ニヨルアールエスヲ組織セシメ十月下旬迄ニ韓相建方ニ於テ韓相建尹長燮崔某數次會合シ韓相建ニ於テ之レヲ指導教養シ且ツ元李道雨ノ指導中

ナル京城實業專修學校ノ引續ギヲ受クル事ヲ協議シ私立新學校ハ構築用
ヨリ紹介ヲ受ケ組織ノ豫定ナリシモ以上二校並ニ前掲華商商業學校中央基
督教青年會學校ノ四校ハ未ダ實現ノ渾ビニ至ラズ

一〇・華益會ノ活動

華益會ハ朝鮮日報社記者トシテ勤務中京城アルエス協議會ニ参加シ分擔
セル學校ノ指導ニ從事シ昭和六年十一月上旬韓相建ノ紹介ニ依リ相繼リタ
ル中等夜學校ノ責任者タル尹長夢ト昭和六年十一月上旬頃前後二回舟橋町
舟楫ニ於テ會合シ當時勃發シキタル中等夜學校ノ團體休校ニ對シ同校ノ盟
休ガ授業料値上ニ基因スルトノ報告ヲ得授業料値上ノ不法ヲ鳴ラシ又之レ
ニ絕對反對スベク其ノ方法トシテ各班ニ會合協議ヲ囑メ強硬ニ進ムベキ事
ヲ指示シ後韓相建ニソノ指導ヲ引渡シタリ第二高普校ハ崔兌龍ガ長沙洞四
五ニ止宿中同宿ノ學生鄭在瑛ヲ知り知人ヲ指導シ組織ヲサシメタルガ後
十一月上旬具價洞事山ニ於テ華益會ニ鄭在瑛ヲ紹介シ其後華益會ハ舟楫町
舟楫ニ午後六時頃ヨリ第二高普校ノメンバータル鄭在瑛李性魯金桂殷等
ト會合シ數日後府内三清洞金桂殷方ニ華益會並ニ第二高普校ノメンバー三
名ガ會合ヲ組織ノ結社ハ前掲ノ目的ヲ有スル事ヲ打明ケ資本主義社會制度

ノ矛盾ヲ指摘シ闘争ノ必然性ヲ説キ吾等ハ階級運動ニヨツテ最後ノ勝利ヲ
 獲得シ得ベシト激勵シ一理想ニリ科學ヘノ社會主義ノ發展一ナル精神ヲ使
 用シ研究スルト相俟ツテ時事問題ヲ討論批判シ昭和六年十一月月上旬より昭
 和七年一月ニ至ル間毎週一回或ハ二回府内昌信洞九九榮益秀方ニ會合シ同
 一ノ行爲ヲ繼續シ先ニ制定セシスローガンヲ指示シテソノ宣傳ト同志ノ獲
 得ニ努メ尙一方ニ於テ延禧專門學校學生鄭韓民ト府内木欄町ニ於テ會合シ
 現社會制度ヲ排擠シタル後アールエスガ前示ノ目的ナル事ヲ知ラシメテ加
 入セシメ昭和六年十一月中旬ヨリ同年十二月下旬ニ至ル間榮益秀方ニ數回
 會合シ價值論其他時事問題ニツキ討論シ尙徵文高普生李東煥トハ昭和六年
 十一月上旬府内寶金町六丁目京城師範學校裏ニ於テ李東煥ハ洋服ノ第二鈕
 ヲ外シ榮益秀ハ新聞ヲ携帶シテ會合シ其後歸路二丁目バコダ公園ニ於テ二
 回會合榮益秀ハ徵文高普校內ノ組織ニ就イテ質問タルニ未ダ組織ニ至ラザ
 ル旨ヲ答ヘタルヲ以テ速ニ組織シ之レガ擴大強化ヲ計ルベキ事ヲ激勵セリ

一、辛皓集ノ活動ト中東學校ニ於ケル組織

辛皓集ハ先ニ鄭泰元ノ紹介ニヨリ李平山ト相識リ秘密結社ヲ組織セシ後中
 東學校內ニ於ケル實踐運動ト組織ノ擴大強化ヲ謀ルタメ中東學校ニ於ケル

副級生ニシテ平素ヨリ社會科學ヲ研究シ意圖水準相當高キモノト認メラル
 ル蔡玉錫鑑察玄學錫英等ヲ獲得スルコトトシ昭和六年六月中旬北岳山中ニ
 世籍ノ者ト會合シ前示ノ目的ヲ有スル一吾等ノ會合一ナルモノヲ組織シ政
 治部農林部工場部獎勵部ノ部署ヲ設ケ之レガ研究批判討論ヲナシ尙一無
 考政治教育一ヲ使用シ之レヲ研究シ各部門別ニ時事ヲ扱ヒ卒集ニ於テハ
 上層指導者ト討論討論或ハ指示ヲ同人等ニ對シテナシ七月下旬ニ至ル一
 期間中ニ於テ北岳山中或ハ府内三溝三四卒集方ニ無週一回會合シ討論
 ノ展開ヲ計ルト同時ニ一面同志ノ獲得ニ努メ更ニ昭和六年九月上旬ヨリ十
 二月下旬ニ至ル間府内桂洞一〇〇ノ五等錫英下宿同苑洞一五蔡玉錫方勸
 洞六一蔡玉錫下宿等ニ於テ一週一回或ハ二回會合シ理論ノ展開並ニ同志ノ
 獲得ニ充ツベキ同志ノ獲得ヲ協議シ昭和六年十一月中旬ニ至リ崔允龍ヨリ
 中心グループヲ組織シ以テ組織ノ強化ヲ命ゼラレタルヲ以テ四名ガ中心グ
 ループトナリ組織ヲ擴大スベク協議シ候補者ノ養成ニ努ムル事トシ其分擔
 ヲ蔡玉錫ニ於テ

金尚淵 李夏永 李貞錫 李鍾得

蔡錫英ニ於テ

崔相斗 李錫國

鄭泰元ニ於テ

閔永紳 金勳起 構寧俊

辛皓集ニ於テ

金冠同 金昌勳

等同級生ヲ指名シ之レガ教養指導ニ當リ以テ組織ニ編入ノ準備ヲナシ又一方ニ於テ辛皓集ハ三年代表四年代表五年代表等ノ代表者グループヲ組織各場級ニ於ケル組織ノ統一ト之レガ擴大強化ニ努メタルガ辛皓集未逮捕ニ付其内容詳細ナラズ

一二・李相堯ト無產者新聞ノ關係

李相堯ガ舊ツテ同宿シキタル咸南定平郡ノ出身ト稱スル崔東植ナル者昭和六年三月頃東上四月頃ヨリ無產者新聞竝ニ土木勞動・勞動新聞等ヲ東京朝日新聞國民新聞ニ同封シ同年十一月迄ニ數回之レガ郵送ヲ受ケタルガ同人ハ右新聞ガ發賣頒布ヲ禁ゼラレタル日本共產黨ノ機關紙ナル事ヲ知リテ其大部^分ハ韓國模或ハ金東彪トニテ讀ミタル後之レヲ燒棄テタル^{モ其他}六月中旬十數部ヲ郵送シ來リシ^モ以テ之レヲ韓國模李應葉朴豐模金東彪ニ頒布シ且ツ

韓國模ハソノ情ヲ知り乍ラ之レヲ李東煥ニ頒布シ李東煥ハソノ一部ヲ同志趙勝源ニ配布シタリ

一三、學生運動以後ニ於ケル李平山ノ活動

李平山樺寮用ハ前揚ノ學生運動ヲ指兌龍韓相建嶺三京朴鍾洪等ニ引繼ギシ後専ラ工場労働者並ニ農民ヲ獲得シ以テ組織ノ基礎ヲ固ムベク昭和六年六月上旬迄定平ニ於テ農民組合検査後ニ於ケル農民運動ヲ指導スベキ事ヲ計畫シ韓國模ガ農民運動者ヲ知ルヲ以テ韓國模ヲ定平ニ渡シ定平農民組合ト握手シ之レガ運動ヲ展開シ後日己ノ荷中ニ納ムベク韓國模ハ六月上旬定平ニ至リ當時出獄後日淺キ金弘彬ナル者ト會合平山ト會見スベキ事ノ承諾ヲ得日時ヲ決定シ會合ノ場所ヲ新上驛附近ト定メ歸誠直ニ平山ハ京城出發シ金弘彬外數名ト會合協同シタルモ歸ラズ已ムナク咸南咸州義興直ニ居住セル元金漢卿ノ妻ニシテ東京時代ヨリノ知友タル梁鳳順ヲ訪問シ同人ニ情ヲ打明ケ京城ニ來リ婦人運動ノ責任者タル事ノ承諾ヲ得歸城シ其後梁鳳順ハ八月中旬上城シタルガ其間李平山樺寮用ハ八月上旬竹添町二丁目朴鍾洪方ニ朴鍾洪ト共ニ會合シ朴鍾洪ヲ工場ニ潛入セシメ以テ同志ノ獲得ト組織ノ完成ヲ期スベキヲ指令シ樺寮用ハ之レガ就職口ヲ斡旋スベキ事ヲ

協議シタル以來同所ニ於テ數回府内三清洞一一六崔三京方ニ一回會合シ時
 事問題ニ對スル討議ヲナシ同年八月^中旬梁鳳順ノ東城ト共ニ杏村洞二四へ
 居テ移シ梁鳳順^(朴鍾洪)朴鍾洪ヲ同居セシメ同所ニ梁鳳順^と朴鍾洪^と樸鍾洪^と樸鍾洪^と樸鍾洪^と樸鍾洪^と
 會合シ梁鳳順^(朴鍾洪)ニ對シ朝鮮共產黨再建ノタメ責任ヲ持チテ婦人勞働者ノ獲得
 シ計ルベキ事ヲ慫慂シ快諾ヲ得タルヲ以テ同志獲得ノタメ樸鍾洪ヲシテ京
 城製綿會社^と女工タラシメ梁鳳順^と對^とハ李平山ノ紹介ニヨリ中外ゴム
 職工崔孝明ヲ獲得シ樸鍾洪用ハ職工獲得ノ目的ヲ以テ八月下旬府内蓬萊町四
 丁目一五〇李道雨方及南大門通某支那料理店ニ於テ中外ゴム工場職工崔吉
 煥ト會合協議シタルモ未ダ組織ニ至ラザルニ先チ同年九月二日樸鍾洪用李平
 山等朝鮮共產主義者協議會事件ニヨリ檢舉セラレタルヲ以テ運動停止シ梁
 鳳順朴鍾洪モ亦離散ノ已ムナキニ至レリ斯ク李平山等檢舉後ニ於テモ朴鍾
 洪ハ京城製綿會社ニ勤務シ同志ノ獲得ニ努メントシタルモ幼年勞働者ノミ
 ニシテ獲得スベキモノナキモ樸鍾洪用李平山ナキタメ其僑同所ニ留マリ居ル
 内十月中旬樸鍾洪用李平山不起訴トナリ出監シ^{タリ然レ共}同人等ハ當分謹慎シ當
 局ノ監視ヲ避クル必要アリトシ謹慎中十月下旬李平山梁鳳順崔三京等ハ咸
 興塔ニ逮捕セラレタルモ自己等關係ノ事件ナラザルヲ知リタル樸鍾洪用ハ直

ニ活動ヲ開始シ朴鎮洪ヲシテ世昌ゴム工場ニ轉ゼシメタルヤ不況ノタメ職
工ノ會合スル機會ナシ失職ニ歸シタルヲ以テ更ニ大昌織物會社ニ昭和七年
一月上旬就職シ漸次活動ノ機會ヲ窺ヒ一方構想用ニ於テハ本年一月ニ入り
工場ニ於ケル組織ヲ鞏固ナラシムベク計畫シ谷岡印刷所職工金弼練大阪無
日新聞配線夫金弘植同李某ヲ獲得組織ニ進ムベク冷洞希地不詳金弼練方同
冷洞希地不詳金弘植方等ニ於テ前後三回會合シ之レヲ基礎トシ指導中發覺
紛糾ヲ見タルモノナリ

以
上

| 未 | 本 | 籍 | 住 | 所 | 學 | 業 | 氏 | 名 | 生 |
|------------|-----------|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 威南津原郡龍源面 | 東村 | 不詳 | | | | | 藤 | 傳 | 三 |
| 沙熱里 | 不詳 | | | | | | 金 | 少 | 三 |
| 忠北江川郡伊内面 | 不詳 | | | | | | 金 | 致 | 三 |
| 不詳 | 不詳 | | | | | | 金 | 致 | 三 |
| 全南嶺岩郡嶺岩面 | 京城西大門刑務所 | | | | | | 金 | 三 | 三 |
| 京畿道新陽郡義仁 | 府内鋪路五丁目 | | | | | | 李 | 平 | 三 |
| 京城府城南洞 | 府内天然洞 | | | | | | 柳 | 樂 | 三 |
| 忠清南道海美郡丹城面 | 不詳 | | | | | | 金 | 漢 | 三 |
| 京城府海美郡洞 | 府内嘉會洞 | | | | | | 金 | 斗 | 三 |
| 全南道水郡突山面 | 府内昌信洞 | | | | | | 金 | 斗 | 三 |
| 京城府延義町四丁目 | 府内西大門町二丁目 | | | | | | 李 | 道 | 三 |
| 京城府延義町四丁目 | 府内西大門町二丁目 | | | | | | 李 | 道 | 三 |

| | | | | | |
|----------|------------------|------------|-------------|-------|----|
| 全南咸平郡咸平面 | 咸平里二五八 | 府内郁染洞二四 | 無職 | 崔元正 卜 | 五九 |
| 咸北明川郡下加面 | 花臺洞六 | 不定 | 女工 | 朴鍾洪 | 一八 |
| 咸南蔚山郡凡西面 | 立岩里三七 | 府内益善洞三五 | 同德女高 普生徒 | 李順今 | 二〇 |
| 咸南咸州郡退潮面 | 松堡里 | 不詳 | 無職 | 梁鳳順 | 二七 |
| 咸北楸山郡楸山面 | 西部里二五 | 同上 | 無職 | 鄭泰元 | 二〇 |
| 京城府三清洞三 | 思南保寧郡周浦面 | 同上 | 無職 | 辛皓集 | 二二 |
| 咸南定平郡春柳面 | 馬江里一四 | 府内内資洞六〇一 | 咸文高普 校生徒 | 李東煥 | 一九 |
| 咸南定平郡文山面 | 禾洞里三九 | 府内苑洞八〇一 | 中央高普 校生徒 | 李相堯 | 二一 |
| 咸陽里八 | 同上 | 同上 | 無職 | 韓國模 | 一九 |
| 不詳 | 府内茶屋町九五 | 法政學校 | 生 | 李炳中 | 二五 |
| 不詳 | 京畿道高陽郡漢芝 面新堂里 | 有同 | 右同 | 尹炳赫 | 二四 |
| 咸南固城郡固城面 | 府内長沙洞三 | 第二高普 校生 | 聯在榮 | 一七 | |

| | | | | | |
|----------|-----------|---------|-------|-----|----|
| 不詳 | 咸北源郡龍德面 | 府內勸農洞六一 | 中東學校 | 鄭韓民 | 二五 |
| 京畿道龍仁郡外四 | 府內桂洞一〇〇ノ五 | 有同 | 斗榮コト | 蔡玉錫 | 二二 |
| 面北山郡槐山面 | 府內雙泥洞八四 | 中央高普 | 鄭泰玄 | 英 | 二二 |
| 忠南牙山郡仁州面 | 府內昭格洞八四 | 同德女高 | 李淑子コト | 李鍾嬭 | 一九 |
| 文方里 | 府內昭格洞八四 | 普校生 | 李鍾嬭 | 李孝貞 | 一九 |
| 忠北奉化郡奉陽面 | 府內鳳凰洞五六 | 有同 | 李孝貞 | 李孝貞 | 一八 |
| 空陽里 | 府內苑洞七三 | 中央高普 | 金東彪 | 金東彪 | 二〇 |
| 咸南定武郡府內面 | 府內桂洞一〇三 | 有同 | 朴豐樓 | 朴豐樓 | 二一 |
| 咸南洪原郡甫西面 | 府內桂洞一〇三 | 有同 | 李應集 | 李應集 | 二〇 |
| 新坪里二四 | 府內桂洞二ノ四三 | 有同 | 韓泰熙 | 韓泰熙 | 二〇 |
| 咸南北青郡佳會面 | 同上 | 微文高普 | 尹長夢 | 尹長夢 | 二〇 |
| 馬山里四七 | 不詳 | 中等夜學 | 尹長夢 | 尹長夢 | 二〇 |
| 京城府昭格洞五〇 | 不詳 | 校生 | 尹長夢 | 尹長夢 | 二〇 |
| 京畿道水原郡 | 不詳 | 有同 | 尹長夢 | 尹長夢 | 二〇 |
| 不詳 | 不詳 | 有同 | 尹長夢 | 尹長夢 | 二〇 |

未達

不詳

不詳

無職

鄭韓民

二五

咸北源郡龍德面

府內勸農洞六一

中東學校

蔡玉錫

二二

京畿道龍仁郡外四

府內桂洞一〇〇ノ五

有同

斗榮コト

二二

面北山郡槐山面

府內雙泥洞八四

中央高普

鄭泰玄

一九

忠南牙山郡仁州面

府內昭格洞八四

同德女高

李淑子コト

一九

文方里

府內昭格洞八四

普校生

李鍾嬭

一九

忠北奉化郡奉陽面

府內鳳凰洞五六

有同

李孝貞

一八

空陽里

府內苑洞七三

中央高普

金東彪

二〇

咸南定武郡府內面

府內桂洞一〇三

校生

朴豐樓

二一

咸南洪原郡甫西面

府內桂洞一〇三

有同

李應集

二〇

新坪里二四

府內桂洞二ノ四三

有同

韓泰熙

二〇

咸南北青郡佳會面

同上

微文高普

尹長夢

二〇

馬山里四七

不詳

中等夜學

尹長夢

二〇

京城府昭格洞五〇

不詳

校生

尹長夢

二〇

京畿道水原郡

不詳

有同

尹長夢

二〇

不詳

不詳

有同

尹長夢

二〇

五七

0124

| | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| 江頂道三陽郡遠德 | 江頂道三陽郡遠德 | 江頂道三陽郡遠德 | 江頂道三陽郡遠德 | 江頂道三陽郡遠德 | 江頂道三陽郡遠德 |
| 府內花洞亮 | 府內花洞亮 | 府內花洞亮 | 府內花洞亮 | 府內花洞亮 | 府內花洞亮 |
| 右同 | 右同 | 右同 | 右同 | 右同 | 右同 |
| 李性魯 | 李性魯 | 李性魯 | 李性魯 | 李性魯 | 李性魯 |
| 一八 | 一八 | 一八 | 一八 | 一八 | 一八 |

五八

第一號

(一)

一 私生活仕事ノ場所或ハ研究ノ場所ニ於テ組織ハ外觀上決シテ如何ナル關係ニ於テモ環境カラ目ニ別シテハナラナイ。

二 組織内ノ仕事ニ於テハ彼ガソノ組織内ニ仕事ヲヤツテキルカト云フコトヲホノメカシテハナラナイ組織維持ノ爲メハ組織内ニハ最も嚴格ナ秘密ヲ要求スル君ガ組織内ニ占メテキルカ組織内ニ於テ君ノ地位ハ同地位ノ同志ダケガ知レバヨシ又非合法組織ノメンバーノ名前ヤ職名ヲ知ツテハナラナイ三 君ハ細胞ノ組織集合大會等カラ知合ニナツテキル同志ニ街道ヲ挨拶スルナ四 會合場所ヤ會議又ハ集會ノタメノ合言葉ハ只其處ニ出席スベキ同志ノミガ知ツテキルベキダ、必要ナ場合ハ特別ナ定ルガナイザー以外ニ知ラセテハナラナイ。

集會ハ特別ナ注意深キ處置ノ下ニ行ハレネバナラス、或ル秘密ナ住居ヲ訪レル場合ノ合言葉ハ最も嚴格ニ守ラナケレバナラス。此ノ秘密ナ住居（職窓、其他何處カ）ニハ或ル何等カノ目標ガナケレバナラス、其ノ目標ハ決シテ無關係ノ内情ニ通ジナイ人々ノ眼ニ通入ツテハナラナイ。最初ノ呼合

0126

がアツタナラバソノ住居ニ住ンデキル同志ハ其ノ目標ヲ取除カネバナラヌ
 其ノ時令がアツテ州縣が通入ツテ來タ場合ニハ他ノ同志ハ最早ヤ通入ツテ
 ハナラナイ、萬事間違ツタ場合ニハ目標が又仕掛ケラレル、ヨク守ルベシ
 五如何ナル場合ニモ同志ノ迷惑ニナル様ナ手紙ヤアドラスヲ手許ニ持ツテキ
 テハナラナイ、一般アドレスハ記憶シテ置ク様ウニ即チ出來ルダケ多ク暗
 記シテキルヤウニ努メネバナラヌ、ソレガ不可能ナ場合ハ必要ナモノヲ書
 止メテモヨシ、町名ハ記入シナイデ（記憶シナケレバナラヌ）家ヤ住居ノ
 番號ノ數ハ全ク疑ヒヲ呼起シ得ナイ様ナ他ノ數字ノ間ニ書入レルノダ、遠
 捕サレタ場合ニハ記入サレタ數字ニツイテ即座ニ正確ニ躊躇シナイ危險ノ
 ナイ符ヲナシ得ナケレバナラヌ、之レト共ニアドレスハ正確ニ知ラナケレ
 バナラヌ、ダカラアドレスヲ近所ノ人ニ尋ネテハナラヌ、ダカラアドレス
 ヲ教ヘル場合ニハ家屋並ビニソノ階段ヤ住居ノ様子、詳細ニ地理學的ニ述
 ベルガイイ。

六組織體ノマンバーニハ次ノ事ヲ知ラセナケレバナラナイ、即チ自己ノ不注
 意ヤ粗瀆ヤ秘密ヲ守ラナイ行動ノタメニ逮捕ヤ家宅搜索ニ對シテ秘密ナ記
 録非合法的通信費アドレスヤ名前會合ヤ會議ノ日時場所ニ關スル記録等ヲ

七

秘書・探偵ノ手ニユダホタ場合ニハ彼ハ著者トシテ見ラレルデアラウ。
 七吾々ハ自分ノ居室内ニ君ノ活動ニ關係ノアル如何ナル危険ナ資料ヤ記録ヲ
 モ持ツサキテハナラナイ。其ニ非合法的文書ヲモ持ツテハナラヌ。君
 ハ如何ナル場合ニモ家宅搜索逮捕サレルコトヲ覚悟セヨ。住居内ニハ××
 法文書ノ一片ヲモ置放シニシナイ様ニ秘密ニ注意シナケレバナラヌ。往々
 ニシテ忘レ去レタ文書ガ訪問者ノ君ニ對スル注意ヲ呼起シ君ガコンミニス
 トデアル事ヲ暴露スルカモ知レナイ。記録ニ本朝ヘモ××法文書ハ置イテ
 ハナラヌ。秘書探偵ハ搜索ノ際一片ノ片斷スラモ見逃シシナイ事ニ氣ヲ付
 ケヨ。故ニ秘密文書ノ保存ハ住居ハ適當デナイ。極メテフサワシイ保存ハ
 地帯ニ埋メル事ガ必要デアル。

八

×目ハ總テ×ニ必要デアル。ダカラ自分ノ身ヲ大切ニスル事ハ×目ノ神髓
 ナル義務×ノ仕事ニ當ツテモ決シテ無用ナ冒險ヲシテハナラナイ。文書ヲ
 據メル場合ニモ最大ノ注意ヲ以テシナケレバナラヌ。指導的ナ同盟又ハ
 ×機關ノアルガナイ。又ハ一般ニ役目ガ逮捕サレルト常ニ活動ノ停滯又
 ハ瓦解スラモ起ル。デアアル故ニカカル同志ニ文書ヲ據メルガ如キ指令ヲ發
 シテ危険ヲ冒スハ愚策デアリ得ナイ。

九平和的氣分ナルモノニ對シテハ抵抗シナケレバナラヌ、ソレハ階層者組織

ノ最後ノ崩壊後ノアル休止期ニ現レルモノデアル、只一瞬間タリトモ××
ト注意トラ弛メテハナラナイ、ブルジョアジーハ故意ニ秘×警察活動ノ休
止ト外觀上ノ中止トラ巧妙ナル掛引ヲ行フ彼等ハ組織體ノ活動ト秘×ノ緩
和ヲ計リツツカカル手段ニ依ツテ將來ノ豐富ナル收穫ヲ望ンデ。

一〇×並ビニ同盟アルガイザー及指導的ナ同志達別シテ地×的×員勞働
者ハ公然タル集會ヤ示威運動等々ヘノ参加ニ際シテハ最高度ニ注意
セネバナラヌ、主動的×員ハ二人以上一カタマリニナツテ公ノ場所ヘ出掛
ケテハナラナイ。

一一決シテ大言スルナ、自分ガナシ遂ゲタ指令ヲ組織體カラ命ゼラレタ指令
ニツイテ喋ルナ、君ノ仕事ニツイテ知ツテキル人ガ少ナケレバ少ナイ程君
ハ嫌疑ヲ受ケナイデ済ムダラウ、×ヤ同盟ノ指令ハ××里ニ成シ遂ゲホバ
ナラヌ、同志中ノ一黨ノ人々ノミガ知ツテキレバヨシ、×務ニ關スル階和
ハ無關係ナ人達ニ聞カレナイ様ニ注意セヨ。

一二合法的宣傳活動サレタ同志ノタメノ寄附募集其他合法的活動ニ際シテ君
ハ非合法的組織ニ關スル事ヲ現ハスナ、新シイ同志ヲソノ決意ニヨツテ×

胞内ニ引入レ彼レヲ充分知ツタ後初メテ君モ此ノ組織體ノダンバーデアル
事ヲ知ラセヨ。

一三君ガ党ノ會議ヤ集會ニ赴ク際ニハ××ガ君ヲツケテキナイカドウカラ注
意深クダガ氣付カレヌ處ニ注意セヨ。然シ疑ハシイ奴ガキタナラ方向ヲ變
ヘルカ或ハ急ニシヨ―リバンド等ノ偽ニ立留ツテ疑ヒノ正否ヲ確メロ。疑
ガ正シイ事が知ツタラ集會ヘハ行カナイ事ダ。既ニ疑ハレテキル同志之迄
ニ逮捕サレタ事ノアル同志ハ總テ時ニ注意スベシト云フノハ××ガ之等ノ
同志ヲ放免スルノハヨシ一層熱心ニ御意シテ新シイ篇ヲ見付ケ又其ノ同志
連ガ往來スル線ヲ人々ヲ××スルタメダカラ××線カラ×免サレタ同志ハ
或ル期間一般ニ責任アル活動ニ携ハラナイ事が最善ノ策ダ。

一四同ジ場所デハ一ツノ×胞又ハ一ツノ×日會ヨリ多クノモノガ集ツテハナ
ラナイ。若シ迫ツタ必要モナイノニ×密ニ住居ヲ訪問スル事ハ禁物ダ。秘
密ニ住居ニ於テハドンナ事がアツテモスグニ出テ來ナケレバナラヌ。迅速
ト云フ事ハ規律ト×密ノ第二ノ本質。

一五×ノ仕事ヲナストキニハ常ニ×疑ニ喚ボツケラレル事ヲ覺悟シナケレバ
ナラヌダカラ豫メ君ニ諷セラレルカモ知レヌ間ヲヨク考ヘテ假令ソレニ對

スルヲ準備シテ置ケ（即チ何十目的ヲ今何處ニ行キツツアルノカ何十目的
的デソノ住居ヤ其ノ場所ヘヤツテ來タノカ）我等ハ常ニ充分ナ冷靜サト内
的ノ落付キヲ保ツテキナケレバナラヌ、何故ナラ當人ノ興奮ト狼狽トハ最
モ不利ナモノデカラ危險ナ記録ヤ文書ハ何時デモ立チ所ニ又タヤスク破棄
シ來ル様ナ方法ニ依ル際ニノミ手許ニ持ツテキタイイ、證×物件ハ常ニ破
棄スル様ニ努メネバナラヌ。

一六危險ナ同志トノ會合ハ出來ル限り避ケル様ニ努力スルガイイ、×密ノ住
居ノアドレスハ何ナ處ガアツテモカカル同志ニ預ケテハナラヌ。

一七集會ノ場所ハ時々變ヘナケレバナラヌ、ソレハ犬×カラ目ヲツケランテ
キル犠牲者ガ當ニ居ルトヨクナイ。

一八文書ヲ括メル前後ニハ決シテ公園ノ場所ニ集ツテハナラヌ、何故ナラ勞
働者ノ組織ニハ當ニ監視ガツイテキルカラ。

一九私的生活ニ於テハ常ニ周囲ニ迷惑スル様ニ努メヨ、目ニツク汚物ヲ着ナ
イ様、一般ニ人目ヲ引ク様ナ服装ヲシナナ。

二〇知ラナイ疑ハシイ人間ト親密ニスル事ハ絕對ニ禁物デ、嫌疑ヲ受ケサキ
ル同志トノ往來ハ疑ガワレル迄ハ同様に避ヘルベキダ、之ニツイテハ嚴禁

ナ規律ト秘×ガ必要デアル。

一 經驗一少シデモ不注意スレバ或ル組織體ニ×密ノ×バ×ガ入り込シテ來ル奴ハ積極的ニ活動シテ組織體ノ極メテ主動的ニ地位ヲ占メ破壊シ去ル。

二 一他ノ場所ニ住ンデキル同志達ノアミレニ寫眞ヲ其他ノ材料ヲアケツバナシニ保存スル事ハ絕對ニ禁物ダ。

二 二 同盟ノ絕對ニ必要ナ行動ハ示威運動集會等ニ依ツテ惹キ起サレル場合ノ外出來ル限りノ手段ヲ盡シテ越ンサレナイ限ニシナレバナラヌ。××法組織ハ殉難者ヲ必要トセズ生々トシタ活動家ヲ必要トスル。常ニ自分ノ情ヲ隠スト共ニ組織體活動ソノ心ノカラ離レ去ル事ヲ云フノダ。

(二)

我等ノ闘争ニ於テ×密×察ハ語言ヲ強奪シ我等ノ陣營カラ奪ヒ去レル犠牲者ヲ増加スルタメニ一切ノ手段ヲ利用スル。併シ我々自身ガ又×密×間ニ際シテ得策ナ態度ヲ取ル爲メニ犠牲ヲ増加セシメテハナラヌ。戦争準備ノ缺如。思慮ノナイ答。興奮。×密×犬ノ一切ノ聲明ニ對スル輕率ナ信條ノタメニ自分自身ノミデハナク屢々他ノ同志達ヲ害切ル。

0162

一×捕×問及處殺ニ際シテハ我々が我々ニ對スル闘争ニ於テ全能デアール階級の代表者ト關係シナケレバナライ事ヲ常ニ眼中ニ置イテラレ。我々ハ常ニ×サレル事ヲ覺悟シナケレバナラス。ブル文明ハ現在ハ訊問ノ場合證言ヲ強奪スル爲メニハ科學ト技術ノ一切ノ手段ヲ使用スル。電氣ヲ使用シ一切ノ催眠術ヲ使用スル同時ニ破廉耻極ハマル拷問ヲ行フ。豫審判斷ハ溫和ナ假面ヲ被ツテ柔和ニ親切ニ破訊問者ヲモテナシ彼ニ多バコヤ茶ヲモテナシ彼ハ乃ニ破訊問者ヲ一般政治黨ニ引キズリ込ンデ行ク馬鹿者ハ幸福ニ感ジテ公然トソノ思想ヲ表明スル。此處ニ於テ判斷ハ突然彼ニツイテ何等カノ質問ヲ提出ス故ニ訊問ニ際シテホソノ少シデモ環境ニ依ツテ影響サレルナ。父親ラシイ質問ニ對シテハ無頓着ナ短イソシテ自己ノ問題ニ關シテダケ答ラスベシ。淵田ナ自狀ノ要求ニ對シテハ拷問ノ威嚇ニヨツテソレガナサレル場合ニスラソノ事ニツイテハ自分ハ何ニモ知ラナイ或ハ忘レタト拒否セヨ。我等ノ立場ハ××家ハ×密×察ヤ審問機關ニ依ツテソノ××的精神ヲ打ち消シテハナラス。

二同志ガ×捕ノ結果持ツテキタ處ノ各々ノ科學的地位ノ普通ノ市民ニ適ハシイ儘ニ外觀上我々が振舞フ結果ソノ態度ハ明白ナ事實ト矛盾シナイ。例ヘ

パ家宅搜索サレテマルクス主義ノ文獻ガ發見サレタ場合我々ハ宗教的人化
 ダト詐稱シテハナラヌ、コノ場合マルクス主義的文獻ハオ前ノ態度一人ノ
 階級意識アル勞働者或ハ一社曾主義者トシテノ態度ブ不明確ナモノタラシ
 ムル儀ニ使用シナケレバナラヌ、自狀ニ稱シテ我々ハ共×青×××ニ屬シ
 テキルコトヲ自狀シテハナラヌ、處理ニツイテ問題ハ機械的ニ解決サレル
 モノデハナク常談事件ノ具體的ナ事情ニまつテ解決サレヌバナラヌ、我々
 ハ法廷ニ於テモ否認シナケレバナラヌカ父母ノ場合ハ之レニ度シテ我々ハ
 法廷ヲ集會一人民ノ演壇ニシテ判事ヲ應力ニ授イデ××運動ト結ビ付ケル
 之效果アリ。

三×捕ノ直前直後ニ危險ナ材料即チ特ト組織トノ結ビ付キ或ハ害ノ見解ヲ解
 明スル材料ハ一切之レヲ×果シナケレバナラナイ、然シコノ破×ハ完全ニ
 氣ツカレナイ様ニヤラナケレバナラナイ、之レガ不可能ナラバ×捕ヤ家宅
 ×索ノ場合少シノ興奮モ現ハシテハナラナイ、トイフノハ此ノ材料ガ發見
 サレナイ可能性ハ常ニ存在スル君ガ平氣ノ平左デキル程警察機關ノ家宅×
 索ヲ注意ハ益々皮相ナモノトナル、君ガ×捕サレルカサレナイカガ君ノ態
 度如何ニカカツテキル、君ガ落着キハ落着ク程嫌疑ハ益々薄ク。

0134

同家宅×索取ハ×捕ニ際シテ何カが発見サレタナラバ之レヲ自分ノモノトシ
 テ××シナイガ一層ヨロシイ。例ヘバ×密文書トカ×ノ報告書トカ×志ノ
 手紙トカ又ハ×密×官ガ家宅×索ノ際持ツテ來ル武器トカ極メテ重要ナ材
 料ガ発見サレタ場合××スルトイフ事ハ決シテ有害デアリ得ナイガ之レニ
 對シテ承認ハ常ニ有害デアルカラ。

又×捕ニ際シテ×××察ヤ×察ノ×犬共ハ證據ヲ押シツケ様ト努メル家宅機
 入後二隊ニ分レ一隊ハ家宅×索ニ取リカカリ他隊ハ氣付カレナイ様ニ隅ヲ
 コヤ其他ノ場所ニ各隊ノ非合法材料ヲカクムノザアル。之レヲ彼等ハ違捕
 直前ニヤル又ス×イワツテ労働團體ノ屋ノ中ニ只文書ヲ持ツテ來サセル
 バカリデナク其處ニ爆彈ヤ各種ノ武器ヲ持ツテ來テカクス場所ガ多イ。又
 ××察ハ只家主又ハ家屋監督者ガ在住スル場合ニノミ家宅×索ハ一般人ノ面
 前問題ノ同志ノ面前テ行ハレルコトヲ絶対に要求スベキデアル。ソシテ犬
 官ノ指ニ注目スルガヨシ×××察ノ各ノ極メテ僅カバカリノ違反行爲スラ
 モ起訴ノ拒否或ハ発見サレタ紙片ノ拒否ノ爲メニ利用サレナケレバナラヌ
 入夜ニナツタナラ住居ヤ絶對ニ閉鎖サレテキルベキダ其ノ際何人ト合言葉ノ
 交換ナクシテハ家ノ中ニ道入ル事ヲ許シテハナラヌ。(道人ツテ來ルモノノ

ガ和議サレタ結果（論、ノツク、言葉）ヲ實行スルカドウカヨヲ問ケル所
ニ合言葉ガ履行サルベキダトイフノハ×××察ガ我々ノ協定ノ結果ヲ知ル
處トナルカラ、×捕サレタ場合自分ノ逃×又ハ家ノ解放ニツイテ後ニ殘ツ
タ同志ニ知ラセルコトガ必要デアル。然レ手紙ヲ書クコトヲ避ケルベキデ
アル。活動的ナ同志達ハ尚彼等ガ自由デアル限り×捕ヌノ際ハ總チ今圖ニ
ツイテ約定スル必要デアル。

七××ニ際シテ短ク簡單ニ答ヘルベキナル。決シテ我等ノ額付キヲシテハ
ナラヌ。我々ハ他ノ同志ガ陳述スル點ニ相ツ流ベハナラヌツレニツイ
テ其ノ爲メ矛盾ガ生ジルカラ、點トイフ點デアル場合ハ偶然ヲ承認シテ目
分ガソノ事ヲ思ヒ出ス事ガ出来ナイ事ヲ説明セヨ。知人ヲ決シテ慰メテハ
ナラナイ。決シテ他ノ者ヲ事件ノ淵中ニ拖キ込シテハナラナイ。豫審判事
ニヨツテ果ケラレル同志トノ相識ハ×××スベキデアル然シ彼等（他ノ同志
ガ尚自由デアルカ又ハ君ノ事件ト關聯シテ×捕サレテキナイナラ彼等トノ
相識ヲ否認セヨ。

八×間ニ際シテ當該事件ニ對シテ直接關係ノナイ後××等ノ種々ナル言葉ヤ
陳述ヲ完全ニ無視セヨ（以上述べテ來タ點ハ秘密ニ於ケル豫×中ノ新聞ニ

0186

騙スルコトデ我々ガ×動ノ眞理、シテ利用スル義×所ノ辯論ニ關スルモノ
デハナイ。

九段×ニ於テハ×××察ハツマナイ譯卒ナ言葉ヲ利用シソシテ彼等ガ彼×
捕者ガ何方云ヒ始メテ中止シタ場合ハ屢々拷問ヲスル。同志ガ肉體的ニ弱
薄デアリ連帶精神ニ於テ缺ケテキルシ正直ニ白狀シ同志ヲ害切ツタ處デ決
シテ×間ハ免レナイ。君ガ多クノ事ヲ語ル程彼等ハ益々多クノ言葉ヲ要求
スル。處持ヤ威嚇ノ時エハ一切ノ陳述ヲ差シ控ヘ檢事ヲ要求シテ檢×ノ面
前ニノミナスガヨシ。其ノ場合拷問ト威嚇トヲ記録ニヨツテ確認サレル事
ヲ要求スベシ。

一〇同志ノ白狀ヤ發見サレタ證據ニ對シテ×××事ノ物語ハ絕對ニ否認セヨ
他人ノ陳述ヲ事實キスベキ等ノ訊問記録ヲモ否認セロトイフノハ之レガ屢
々低語シテ提出スルモノデアルカラ。君ガ他ノ人が以テ此ノ陳述ヲナシタ
ト確信スル機會（對質ノ場合他ノ証カラノ立証キニ依ツテ）ヲ事實上持ツ
タ場合ニ於テモ他人ノ陳述ヲ正シイモノトシテ承認スベキデハナイトイフ
ノハ此ノ陳述ハ豫察亦裁×ニ於カモノレガ威嚇ト×間ニヨツテ強制サレタ
モノデアアル事ヲ指目シテ必要ナ場合ニハ×認セラレネハナラナイ。

一一對質ニツイテハ我々ハ特ニ根氣強クナケレバナラヌ、此ノ場合同志連ハ眼前ニ相識ノ同志ガキル爲メニ大概當惑サセラルレル若ガ若シ殘レル同一事件ヲ違×サレタ同志ト遵守スベキ置リ方ニツイテ固以テ約定シテキナイナラバ眼前ニ對カレタ人物トノ相識ヲ否認×スベキデアアル、裏切者タル事ガ暴露サレタ組織員トノ對質ハ特ニ適用サレル、裏切者ハ×××察ニヨツテ強制サレテ豫審××ノ面前デサモナクハ監場ニ於テ同志ヲ動かシテ白狀サセ候トスルノデアアル何故ナラ一彼ノ陳述ハハハノモノ、陳述カラ×××察ハ既ニ一切ノ事ヲ知ツテ居リ處ニ否×シヤケルコトハ只不必要ナ拷×ヲモラスニ過ギナイカラ一ト付ツテ。亦監場内ニ於テモ裏切者ト決シテ口ヲキクナ、完全ニ斷然トボイニツトセヨ、同一監場内ニス×イガ座リ込ムコトニモ注意セヨ、亦餘計ナコトヲ言ハズ彼ガ裏切者デアアルカ充分知ラナクテモ充分警戒セヨ。

一二監獄ニ於テモ官吏ヤ給仕ヤ代理人ヲ拒否セヨ、トイフノハ給仕スル背後ニ探偵ノ目的ガヒソソデキル、殆ンド知ラナイ人ヲ同様ニ信頼シテハナラナイ、文通ヲ警戒シヤラナイ様ニセヨ、(手紙デハナイ)

一三我等ガ何等餘計ナ冒険ヲ語ラナイデ出會フ一切ノ人々ヲ根本的ニ知ル様

ニナラネバナラヌ。彼等が最良ノ友デアリ同志デアツタニシテモ××警察ノ手ニ××サレタ時規律アリ意識^的××ナ各組織員ハ一棒ニ××サレタ線ナノモノニ對シテ自ラ豫戒××トナルノデアアル。

一 調問ノ際ニ君ノ手續ガ何等カノ役割リヲ演ジ得ル際ニ調警ヲ法律手續上必要デナイ限り自分ノ手デ警クベキデナイ。調警ノ署名ニ當ツテハ完全ニ氣付カレナイ様ニ君ノ署名ガソレニ復寫サレル何カ別ノ文書ガ調警ノ下ニアリハシナイカドウカラ確カムベシ。調警ノ内容ヲ詳細知悉セヨ。ソシテソレガ君ノ陳述ト一致セルカ若ニ取ツテ好都合ニ起草サレテキルカラ確メヨ。ソウデナケレバ調警ノ變更ヲ要求セヨ。變更シナイ場合ハ署名ヲ拒絶セヨ。

一 調警署名ニ當ツテ最後ノ言葉ト君ノ署名トノ間ニ××が自己ノ意志ト又必要トスルトコロノ一切ノコトヲ寫シ得ル空間ガアリハシナイカト氣ヲ付ケヨ。

一 裁判ニ於テモ牢獄中デモ豫戒中デモ君ハ小心焉々トテツテハナラナイ。常ニ陳述ニ於テハ確然トシナケレバナラヌ。

一 七精神のナ元氣ヲ維持スルタメニ××獄ニ於テハ君ノ健康ニ注意セヨ。××獄

ノ状態ノ可能ナ限リニ於テ。

ハ×紙ノ中デハ×××××及ビ青年×××××ハソノ同志等ト完全ニ團結
シテリナケレバナラヌ。××サレタ青年×××××ハ然ルモ亦其ノ行動ヲ
繼續シナケレバナラナイ我々ノ同志ノ×××××ノ者等ノ手モンストレーシ
ヨン。歌。儼。然。其。中。我。等。ハ。決。シ。テ。一。人。小。心。者。モ。一。人。ノ。裏。切
モ。人。ノ。ス。ト。ニ。イ。フ。時。彼。リ。カ。キ。テ。モ。ナ。ラ。ヌ。

我々組織ノ母ニ對スル決斷性ノ缺乏ニアラハナラヌ。
報復ノ前ニヒルムナ。××ニ屈スルナリ。時ニ當ツテ我々ノ中ノ誰カガ決
ベテ立テル弱昧ハ何人ヲモ救フ處カ違々ソノ理想ヲ懸クスルノザアル。然
シ我ノ同志ノ目カラ見レハ君ハ一切皆デアルタラウ×××××ニ對スル確固
タル確信ト信念ニ結ビ付ケラレタル革命家ノ決斷性ソノ思想ソノ忍耐ト策
謀コレ等ヲ至ル處ニ於テブルゾ。ニ對スル我々ノ闘争ノ武器タラシ
メヨ。

庶務記録

年 度

昭和

七

年

京城地方法院檢事局

名 稱

秘密結社赤色農民組合
組織計五事件檢舉報告

保存

種別

丙

種

十

年

終期

昭和

十七

年

小警署 秘案四六八二號

昭和六年十二月二十八日

水原警察署長

京畿道公署

京城地方法院檢事局

秘密結社赤色農民組合組織計畫

朝鮮内ニ於ケル共產主義運動上ノ著シキ特

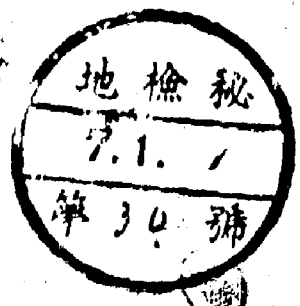
異性トシテ從承ノ如キ都市中心主義ノ共產

運動ヨリ漸次其ノ力ハ地方農村ハ農民層ニ

對スル共產主義化ノ嚮化移行シツ、アルノ嚮向

ニ鑑ミ當署ニ於テハ得ニ此方面ニ對シ深甚

ナル注意ヲ拂ヒ嚴重偵察勵行中ノ所本



0144

年十二月二十三日 菅下 水原 郡 櫻井 西 龍 河 里 一 六
 テ 既 報 ヲ 通 リ (下 一 月 二 十 五 日 水 警 署 高 祿 筭 四 七 八
 ニ 郷 小 作 争 議 ニ 関 ス ル 件) 小 作 争 議 勃 發 シ
 タ ル カ 当 所 小 作 人 四 十 二 名 ハ 結 果 シ テ 土 地 管
 理 人 タ ル 坂 本 北 方 大 譽 シ テ 押 寄 リ 又 坂 本
 稟 ニ 対 シ 頷 ル 不 徳 ナ ル 示 威 行 動 ノ 下 ニ 小 作
 衆 係 ノ 改 善 ヲ 要 求 シ 若 シ 答 テ ラ レ サ ル ト
 ハ 直 接 行 動 ヲ 取 敢 テ 辞 ヲ リ ル 情 状 ノ ミ リ
 シ ヲ 以 テ 当 署 ニ 於 テ ハ 事 件 ノ 極 大 ヲ 防 止 ス ル
 爲 直 接 ニ 署 員 ヲ 現 場 ニ 急 派 シ 相 当 嚴 重
 ナ ル 警 戒 ヲ 威 厲 行 ヒ タ ル 爲 事 ニ 事 ナ キ ヲ
 得 タ ル ニ ハ 事 議 ハ 当 地 方 ニ 於 テ ハ 從 来 懸
 テ 見 サ ル 風 制 ヲ 下 シ 而 テ 国 俗 的 行 動 ハ 恰

之同鏡道方面ニ於ケル激化セル小作爭議一
 行綱ヲル状態ナリ茲ニ於テ各署ニ於テハ必
 スヤ其ノ背後ニ主義者ノ組織カ外在シタレ
 ヲ指導スルモノト認メ各町主課者ト目セラ
 ルニ旅社又小作組合等消滅的罪ヲ任意同
 行ニ相當取調ヲ爲シタル結果彼等ハ本年五
 月鳥山町在、萩、山口、宇部、小幡、水原、農民組合ノ集
 合セル秘密組織ヲ結成シ其ノイニテ了ケ
 加ノ下ニ次下運動ヲ展成シ全州ニ表現因件
 之ヲ操縦シテ起發ナル赤色農民運動即チ
 大座主運動ヲ遂行シ更ニ各部落ニ聯合
 法組織ヲ支部又ハ班ヲ結成スル目的ヲ以テ

0143

小作等議ヲ煽動激發セシメ騷擾等ヲ演ゼシ
其ハ但絏ノ結成ト擴大強化シ圖ラハトスル
戰術ノ下ニ這回ノ小作爭議ヲ煽動シタル
事實判明シタルヲ以テ當署ニ於テハ直ニ
之等關係者ヲ模索シ目下嚴重取調中
ナルカ犯者事實愈々明瞭トナリタルヲ以
テ關係者々名中四名ヲ身柄拘束ノ後茲
訴意見ニテ不日內將模事局ニ送致ハ予
定ニ何報告ハ通報ス

此ヲ既仁澤ニ列シテハ關係員署ハ相若手配相
成ハ

本署最近之學部、東山部、女學部、永登部、是
等ハ

目次

一、紀罪事實要目

第一赤色農工組合、組織

人、赤色農工組合結成、經濟上其、

運動方針

1、水振農工組合運動不振

只、南相煥、金榮相、沈仁澤、指導

ヲ受、方、為、赴、東、海、三

八、赤色農工組合組織上其運動方

針ヲ決議ス

2、金榮相ノ運動

1、金榮相同志獲得、為、青龍山、

同志ト會合ス

0:48

只金榮相朴勝樞合意了亦人
八沈仁澤二但做完了報告
第二赤色農民組合一實現踐開爭
一吏部組織了目的トスル小作爭

議

一蘭爭激發

只黃口池里川邊及龍門里於
ハル具體的爭議準十備收議
ハ張柱文李元燮爭議責任者

トスル

二朴勝樞ハ金榮相ヲ止了爭議團
指令ヲ發ス

二參考事項

1. 沈仁祥，起草九条意见
2. 金泉相，起草同志宣言

一關係者 / 本籍 住所 氏名 年令

迷末 意見 本籍 住所 職業 氏名 年令 割合

迷末 起訴 水原郡楊口面 新見郡朴防村 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

水原郡楊口面 振興郡古後面 金興相 二四

一 犯罪動員

第一赤色農民組合ノ組織

人亦色農民組合結成ノ経緯ト其ノ運動

方針

1. 水振農民組合ノ運動不振

約相煥金榮相ハ何レニ共産主義者ニ

シテ平澤西井里島山地方ニ於ケル各

思想團體ヲ操縦スル苛部ニシテ同時

ニ水振農民組合ノ執行委員ナリ而

シテ彼等ハ第一無産教育ヲ操縦シ

其ノ思想タルハ急進主義ニシテ不穩

ナル言動ヲ弄シ無智ナル農村ノ青少

年ヲシテ徒ラニ地主或ハ官憲ニ對シ

0154

抗争的對立思想ヲ培養スル事ニ努メ
ツ、アリ。從テ水振農民組合之彼等ノ
指導下ニアルヲ以テ其ノ集會タルハ
不穩道激ノ言動ヲ乘シ治安ヲ害ス
虞レ甚トセス當署ニ於テ之ヲ昭和四
年三月創立以來殆ムト集會禁止ノ
止ムナキニ至レリ茲ニ於テカ彼等ノ統
制ハ紊レ志氣ハ弛緩シテ組合リ存在
ハ全ク有名無實ノ狀態トナレリ
只朝相煥金榮相ハ沈仁澤ニ指導ヲ受
クル爲メ栗溝里ニ赴ク
沈仁澤ハ第三次朝鮮共產黨大會
逸早ク海外ニ逃走ニ檢舉ヲ免ル

ル李宗休ト微父島音ノ同窓生ニシテ
同志トシテ常ニ親父アリ本年永城鍾
路本町竜山遺着等ニ於テ檢舉シタル
杖長結社事件ニ係ル者ニ李宗休ハ重
要ナル割役ヲ爲シテアリシコト判明
セル之巧ニ所在ヲ晦シ檢舉ヲ免レ居
タルニナルリ茲時流仁澤ハ表面李
宗休ト共ニ反窓細ニ於テ米穀商ヲ營
ミ裏面ニ於テハ彼等ノ指導下ニ勞働
者衆民ヲ爲メ組織ニ走リ偶々流仁
澤ハ本年九月一日以來江田ハ三回ニテ
御里在徳田米満里ノ實家ニ販賣中
ナル事ヲ知悉スル南相煥金榮相ノ両

名ハ同志トシテ從前ヨリ親交アリ且
 農民運動ノ指導ヲ彼レニ受クルニト
 シ五月七日西名ハ西井里ヲ奔シ徒歩
 ニテ粟浦里ニ赴ケリ
 ハ亦邑農民組合組織ト其ノ運動方針
 ヲ次議ス
 菊相燠金榮相ハ正午粟浦里ニ到着
 シ沈仁澤ノ案内ニ依リ直ニ金里裏
 山ニ登リ人目ヲ避クル爲メ山中ニ入リ
 鼎座シテ約二時間ニ亘リテ農民運動
 一對シ候議シタル結果沈仁澤ノイ
 ニテキリテ下ニ從來ノ如キ運動方
 針ヲ一蹴シテ赤色農民組合ヲ組織

スル事ヲ決議シ其ノ運動方針トシテ
 次ノ通り決定ス

一水振農民組合ナル表現團體ノ別動
 体トシテ其ノ展開ニ非合法組織ヲ結
 成スルコト
 而シテ次ノ赤色農民組合ハ集合シタル
 各同志ノ外金ニ相組織責任者トシ
 テ朴勝桓張桂文李元燮ヲ又引入ル
 コト

一赤色農民組合ハ地下運動ニ依リテ其
 ノ組織ヲ擴大シハルト同時ニ水振農
 民組合ナル表現團體ノイニシアチムヲ
 獲得シ活発ナル赤色農民斗争ヲ

展開スルコト

③赤色農民組合ハ各部落毎ニ其ノ支部又ハ班ヲ結成スル戦術トシテ現在各部落ニアル親睦會或ハワレヘ農旗會等ヲ利用シテ其ノ裏面ヨリフラックシヨシ運動ニ依リ小作爭議其他ノ農民斗争ヲ煽動シテ激化セシメ闘争ヲ通シテ支部又ハ班ヲ組織シ結成スルコト

④赤色農民組合ノ諸任務(一)起業該黨(一)部分の日常斗争ヲ形成激化(二)部分の日常斗争ヲ激化トハ常ニ起ル農旗會等ハ向題ヲ捉ヘテ其斗争

運原則的要求斗争トハ革命の斗争
即チ皮肉斗争ヲ意味シ部分的要求
斗争トハ經濟斗争ヲ意味ス茲ニ於
テ原則的要求斗争ニ於テ部分的要
求斗争トハ赤色農工組合ノ指導ハ
常ニ革命的政治斗争ニ導クコトヲ
目的トシテ經濟斗争即チ小作爭議
等ノ一部分的要求斗争ヲ以テト
云フコト

三 勞農同盟ノ思想(國際主義ノ普及宣傳)
農工ヘゲモニ主義、愛國排外主義
ノ非難

三 勞農同盟ノ思想(國際主義ノ普及宣傳)

トハ赤色労働組合や赤色農民組合、
思想ヲ國際的ニ普及宣傳セシムルト云
フ事ニテハ農民ヘゲモニー主義リ愛國排外
主義ノ排撃トハ赤色農民組合ヲハ飽
ク追農民即チ無産階級カヘゲモニー
即チ獨權政權ヲ掌控シテ行ク標榜
ハルト同時ニ日本トカ朝鮮トカニ標榜
特別自國ヲ愛シ他國ヲ排撃スルト
云フトハコミニスムストノ立場カラ觀テ
排撃シテナクテハナラズ秋葉ハ飽ク追
エフコレタリヤ云フ階級的立場カラシ
テ提擧シテハ階級乃至資本家
階級ニ對シテ行クヘキデアル

夫改良主義諸形態ノ最露迹也。
 蓋改良主義者ハ亦色農氏組合ト云フ
 共產主義者カラ觀ル時ハ合法的自
 治主義ノ範疇ヲセテ以其ノ行動タル
 ヲ非革命的ニテソノ行動タル例
 ハ天道教ノ如キハ自治運動ニ進ム民族
 改良主義ヲアリ金朝鮮農民組合
 ノ如キ又其ノ運動ハ人民主義的傾向
 ヲ持ツ民族改良主義ヲアル又恨同組
 合ノ如キハ極メテ平和的ナル啓蒙運動
 ノ域ヲ限セリルハ民族改良主義ヲ
 アル故ニ之ノ非革命的又動ハ其ノ假
 面ヲ去ル前ニ露迹シテ亦色

農民組合ノ革命的な翼障の力ヲ
 逐出シナケレハナラナイ
 地主及官製ノ諸産業組合ノ反動ヲ暴
 落
 駐地主或ハ官製等ニ於テ作ラシメ金融組
 合畜産組合林業組合等ノ如キモノハ
 専ラプロレタリア大衆ニ對シテハ有害
 無益ノ反動組織ナリ何レモ資本家
 保護ノ目的ニ作リタルモノナルカ故
 ニ之等ノ国外カ大衆ヲ偽ラシメテ搾取
 スル關係具他プロレタリア階級ニ不
 利益ナル欠点ヲ指摘シテ之レヲ大衆
 ノ前ニ暴露シ以テ破壊シナクテハ不

ラナイ

ト下層階級より統一政策、展開
 進労働者農民層、非合法的但徹
 斗争ヲ通シテ達成シ漸次其ノ政策
 ヲ上部組織へト展開シテ鉄練ノ如ク
 共產黨ヲ結成シテハナラナイ
 夫諸改良主義農民組合ハ於テ凡
 翼的又對派ノ形以
 進凡ソハ民族改良主義ノ農民組合
 即チ天道教農民社トカ全朝鮮農
 民社朝鮮農民同盟トカ、如キ諸
 団体ハ非合法的組織即チ赤色農
 民組合、グルトゾヲ結成シテ之等ノ

以上、決議事項ヲ（即チ其ノ文者ニ依テ）

0168

色農民組合、綱領規約、看做、の、後、衆
 民運動、ヲ、以、テ、據、ラ、シ、ム、ル、ヲ、決、ス、
 散會、ス、リ、

金榮相同志

金榮相同志復得、為青龍山同志

卜會合不

金榮相同志、仁澤、印相、故卜、

栗浦、忠、旅、了、銀、成、心、赤、色、農、民、

組、合、同、志、了、復、得、又、心、為、了、銀、織、

黃、傳、石、卜、了、了、了、了、了、了、了、了、了、了、

後、一、時、頃、楊、甘、面、龍、治、里、至、了、

農、民、像、又、赤、色、農、民、組、合、加、入、

竹、心、志、了、符、了、心、事、元、更、卜、共、密、

野、良、仕、事、中、了、服、杜、文、了、身、

不、了、了、偶、然、某、所、了、了、了、了、了、了、

通、止、了、了、了、了、了、了、了、了、了、了、

漢子伯導、受分久要、
 一、通り、父志、朝讀、
 加、久、後、色、眾、民、組、合、組、織、
 少、要、一、説、一、本、心、在、家、見、
 久、而、知、人、其、理、論、其、
 取、以、加、入、示、
 只、金、景、相、史、林、務、抗、同、志、
 金、景、相、青、龍、山、旅、張、杜、父、
 九、変、々、和、色、農、民、組、合、加、入、水、
 説、
 沈、仁、澤、
 吉、元、変、
 不、
 朴、勝、極、
 交、
 及、下、休、
 休、

八

沈仁澤

組織完成

後符

金榮相係定

進

同定

後符

七

赤毛農組

中

大組織

六

多

初旬

沈仁澤

五

下

中

龍方旅

四

合

組織完成

後符

三

赤毛農組

合

員

二

左

成

後符

一

赤毛農組

合

員

指導員

沈仁澤

相

煥

組員

金榮相

相

煥

組員

南相

煥

粒

組員

朴勝

粒

煥

交換して、予り、力、相、本、年、秋、米、
誰、取、里、秋、今、心、土、地、在、程、人、坂、本、
某、卜、其、小、作、人、間、小、作、契約、ノ、
内容、其、他、在、意、見、ヲ、無、シ、納、
内、題、他、ノ、一、不、一、氣、也、
代、ノ、以、前、一、期、取、り、人、等、相、換、
朴、勝、他、方、一、小、相、換、在、交、手、久、
変、分、一、期、取、り、人、等、相、換、
卜、力、中、月、作、何、頃、ヲ、取、り、
衆、民、世、々、ノ、中、心、の、作、手、
或、然、否、ハ、所、謂、シ、其、ノ、斗、争、
平、等、ノ、有、物、的、運、動、ノ、
不、然、人、心、を、示、シ、

只賣口池里、川邊に施門里に於ケル
具體的爭議準備、後談

十月二十七日、小勝極張、元、皇、相、

黄口池里、川邊に集合シ、文部組織

、實踐闘争、方法、協議シタル結果

一部落（ヨリ）點々、進シテ文部、協

ハ、局、ス、ト、レ、迄、到テ、八日、下、激化セ

トスル氣、サ、リ、龍、治、里、小、作、争、議

、激化スル、ト、議、決シ、張、極、文、ハ、黄、口

池、里、に、於、ケル、小、作、人、間、ノ、氣、分、四、散、シ

命、セ、ラ、ル

八、張、極、文、ハ、元、變、争、議、負、任、者、ト、シ

小、勝、極、ハ、主、ト、シ、テ、張、極、文、ヲ、シ、テ、今、四、ノ

0116

小作爭議ノ責任者ト定メ李元變ト共
一里内ノ有力者洪建村李鉅國等ヲ集
面シテ操縦シ二七二日夜ハ全里夜學校
ノ父兄會ト稱シテ小作人會ヲ確シ小
作人四十二名ヲ召集シテ必報ヲ通リ
小作爭議ノ端ヲ知渡古リ爲シ或ハ
小作人側ノ要求聚件取聚ニ参割シ
更ニ二十三日ハ小作人四十二名ヲ使遊
テ管理村板下方ニ示成行爲等ノ
行爲ヲ煽動シタリ
二村勝姓ハ金榮樹ヲシテ爭議團ニ
加入シ衆不

二月二十三日以來小作爭議ハ計五回

卷之六

鬚
爭
フ
以
死
闘
争
一
角
ノ
手
短
一
何
大

十一月廿四日 西永村 勝利堂 同人 志金榮

同
其
白
其
杜
陵
五
三
方
シ
關
等

方針ヲ撰
取ル
結果ヲ小
作人側

一
家
水
生
甲
寅
解
×
リ
レ
ハ
小
作
人
ハ

結束
ハ
カ
物
能
ク
サ
ル
ト

而
不
能
與
之
行
也
而
不
能
與
之
行
也

26
 1
 7
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

卜
姓
縣
山
金
洋
不
同
假
年
十
八

卷之四 關 於 延 平

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

4
3

沈仁澤，親果也，赤色，眾民但念仇，
 不怨，不相，此是中，日誌寫。

世界，擔任義務

一、部分的日常鬥爭，形成激發

二、反帝國鬥爭，反對達爾文主義，連綿

三、原則的要求，鬥爭，於部分的的要求

四、鬥爭（原則，於部分，部分，於原則

五、勞農同盟，思想，國際主義，普及

宣傳）

農民，主義，愛國排外主義，排

擊

六、改良主義，新形態，暴露，逐出

七、天道教，民族主義

八、金朝，農民，社會主義（人

九、金朝，農民，社會主義（人

民主主義的傾向

3. 共同組合、平和的改良主義

大連立及官制水、諸産業組合、反動、是事實

七、下層階級より統一戦線、展開

八、階級主義、農民組合、内、於、反、對、的、反

對、新、政

九、農民組合創立、意味、下、消費、組合、運動

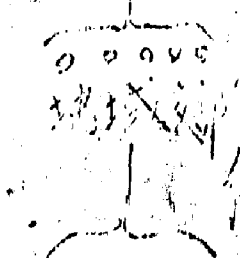
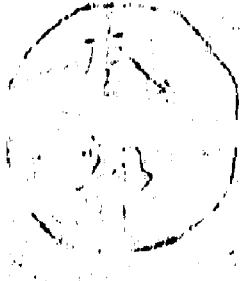
十、農民組合、諸、關、系、但、識、力、を、三、つ、ハ、必、ス、農、民、組、合、

チ、一、ブ、下、ニ、遂、行、サ、レ、ル、コ、ト

ハ、農、民、組、合、の、形、態

合法的組合

非合法組合



組合、法、に、従、ハ、強、ハ、湯、金、を、使、リ、テ、
以、テ、自、己、の、利、益、ヲ、保、護、ス、ル、コ、ト、
然、ル、ハ、合、法、ト、非、合、法、ト、對、立、ス、ル、カ、如、ク、
元、來、シ、テ、然、ラ、ス

本部

合法
非合法

支部

班

(10) 斯

クンテ運動ヲ日常非合法ノイニシアチ

ブ下ニ合法運動カ猛烈ニ展開セル

(6) 運動

カ猛烈ニ展開セル、斯ニ支配階級ノ

奴等ノ押壓力開始ナル、而シテ解壓シ

テ加ヘテ漸次出来セルハ結局全組合ヲ司

散サセルノダ

(10) 然レ

共非合法ニ統制下ニ運動ハ概然上

テ繼續サル、ノダ

(10) 其ノ

為メ一ツノ組合ハ於テ又只今ハ合法

体系ト非合法体系カ併存シテ非合法体

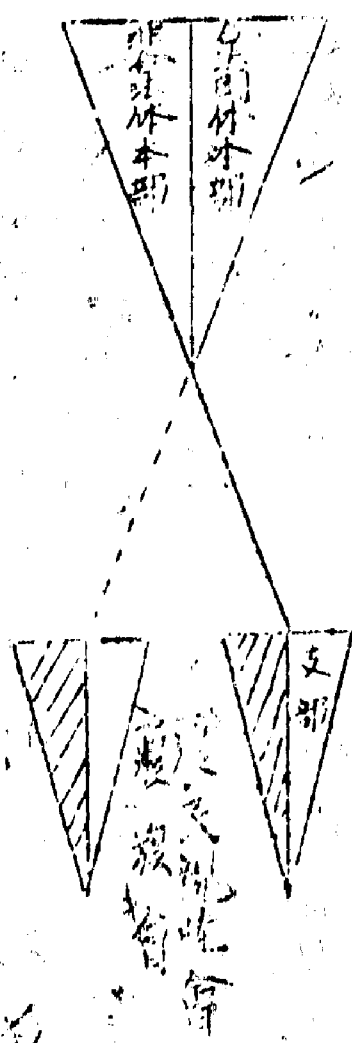
系ハ合法体系ヲ統制運轉スルニ統一約

行動ヲ爲ス

民支部又ハ班ノ建設ヲ爲スタメバーツノ義術
 合法ノ組織体系ノ下ニ於テ支部カ班ヲ設
 置スル時ハ非合法体系ヲ土臺トシテ分立
 的ニ農民団体（名目）極端順ニ屬セシム而シ
 テ内容ハ支部カ班ノ性質ヲ帶ヒシモノダニテ結成
 スルモノタ然シテ此ノ結成サレタル団体
 内ニ大衆カ應呼シテ大衆ノ力ヲ以テ名目
 ヲ變更シ名實メ々農民組合ノ支部カ
 班カ出来ルノタ此時分立的ニテ結成サ
 レタル団体ハ決シテ單獨的行動ヲ採ル
 ヘカラス

備考

合法團體ハ非合法團體ノ類別ヲ受クル
 シテ非合法體ハ結成スル事ハ未
 今ハ結成スル事カ出来ル所
 光ニ出来非合法體カ後ニ出来



組織圖内ニ引タル、象徴

主トシテ貧農農業者労働者第二級ハ
 農層及學生官公吏ニテアル
 此ハ例故必要ナリマトモハ後等ハ只今
 迄ノ活動ニ来ル對相ハ小ブルノ組織分

子ヲ有スル為メ気分ト思越運動ハ多少
 アルヤモ知レサル又農民ノ革命的力
 ヲ發揮セシムル時ニテ久致仕方カカス
 タ

水警高第第四六八二號

昭和七年一月七日

水原警察署長

京畿道警察部長殿

京城地方法院検事正殿

京城地方法院水原支庁検事殿

秋畠結社赤色農民組合組織計

由二関スル件

對十二月二十八日付水端

首題ノ件對拂リ以テ既報ノ通リナ

水原警察署

ルカ其後引續中取調ノ結果愈々罪狀
 明白トナリタルヲ以テ別紙意見見ノ通リ
 南相煥井馬雄金榮相張柱文李元夏〃各
 身柄拘束ノ儘差訴意見見ノ通リ
 ハ所在不明ニ付起訴中止意見見ノ通リ
 建物李鍾國ハ不起訴意見見ノ通リ
 畜類ト共二月六日所轄京城地方
 法院水原支廳檢察分局ハ送致セ
 り
 右報告(通報)ス

意見書

本籍京畿道楊州郡別內面退溪里二十六番地
住所同

西班新聞記者 南相燠

當二十五年

本籍京畿道祿威郡古德面社陵里六六一番地
住所全

西班農業新聞記者 金榮相

當二十六年

本籍京畿道水原郡楊口面龍沼里五十九番地
住所全

市民農業 張柱文

當二十六年

本籍京畿道水原郡楊甘面旋門里三四八番地

常民新聞記者

朴勝極

當二十二年

本籍京畿道水原郡楊甘面龍沼里五八番地

兩班農業

李元燮

當二十八年

本籍京畿道水原郡古德面泉浦里番地不詳

無職

沈仁澤

當二十二年

本籍京畿道水原郡西吳面金角里七四番地

住所全上

西班 農業

又 狗

不 籍京畿道振威都西炭面黃口沙里飛地

任所 全不詳

常民 農業

李 鍾 國

一 刑事 知分 越 詐 猶 豫 又 訓 戒 放 鬼 夕 受 ケ

タルコト、肩魚

疑者 余元 變 昭和二年十一月十八日 恩

鳴罪 依リ 京地 地方 法 院 水原 文 廳 於テ

叙ハク 同ニ 處セラルトアルニ 叙 院

着 率 相 燠 全 金 榮 相 全 張 植 全 科

0:00

勝越全決建約全李鍾國ハ該當事
ブ千自自供シ被疑者沈仁澤ハ所
在不明ニ付該當事項ハ尙無不詳ナリ
犯罪事實
被疑者沈仁澤ハ昭和五年京城普成專
同學校ヲ中途退學シ紹興郡永登浦
ニ於テ中外日報永登浦支局ヲ在營中
朝鮮共産黨ノ幹部ニレテ從テ數次ハ大
學校ニ巧ニ官憲ノ目ヲ晦マシテ國外
ニ逃走中ナル李衆林ト交遊スルニ及ヒ
共産主義ニ共鳴スルニ至レリ
被疑者沈仁澤ハ今年八月李衆林ハ指
導ニ依リ被疑者南相煥ト共ニ西井里

中心トシテ振威少年同盟会創立
奇リ創立シ其ノ午耳ヲ握リテ夜以圖之
ニ依ル其産正義運動ヲ展開スルモト金
シタル之所鴨水原警察署ニ於テ其ノ集會
ヲ禁止シ嚴重ナル取締ヲ勵行シタル爲
計画ハ區餘ニ終レリ
而シテ被疑者虎仁澤ハ昭和七年二月
中外日報永金田支店ヲ經營班、均中
止ニ由ル不承認ニ永登明駅前一
借家ヲ爲レ被疑者虎仁澤ヨリ營業班
金トシテ面立、不足資金不詳額ヲ
李宗林ニ於テ各酬出シ衣田水穀賣シ
装ヒツ、衆面ニ於テハ李宗林指導、

下ニ專ラ京城永登浦水原地方ヲ中ニ
テ消行の「共產主義運動」ニ奔走セリ
被疑者南相煥ハ性質陰陰ニレテ邪智
ニ長ク大正十一年京城普成高等普通學
校卒業後京城東大門市場ニ於テ單独水
穀商ヲ經營シタルカ失敗ニ致シ資産全
部ヲ蕩盡セリ爾今生活上ノ窮迫ハ畢竟
現社會制度ノ罪ヲリト自信シ共產主
義ニ突如スルニ至レリ其ノ後西井里ニ移
轉シ朝鮮日報分局ヲ經營シ傍ラ現社
會制度ヲ變革シ共產主義社會ヲ
實現スル目的ノ下ニ西井里ニ私立夜學
誦習所ヲ設ケテ不就學者現里ニ無産者

育シ施シ或ハ振威少年同盟全青年同盟
 西井里勝劬組合水振農民組合并ノ忍
 廻國休ヲ創立シテ自カラ其ノ指導者ト
 シテ各團體ノ牛耳ヲ握リ地方青年ト
 レテ共産主義的革命意識ノ教訓練
 ニ努メ常ニ不穩遇激ノ言動ヲ弄シテ民
 衆ヲ煽動シ所轄署ニ身柄ヲ拘束セラル
 フトニテ放回ノ多クニ從ヒタルニ激ス
 憤ノ情ナク益々思想惡化ノ傾向ニアリ
 被疑者金榮相ハ中流ノ家庭ニ生レ平澤
 公立普通學校ヲ卒業シタルノミノ學歴
 ナルニ資性伶俐知能ニ長ス昭和五年
 三月被疑者草相煥ヨリ朝鮮日報西井

軍分局ヲ讓受ケ函來特殊ノ親交ヲ結
 フニ至リ共産主義ニ共鳴スルニ至レリ其
 後被疑者南相燠ノ推薦ニ依リ振威青
 年同盟水振農民組合等ノ思想團結幹
 部トシテ關係スルニ及ヒ急進過激ナル共
 産主義ヲ奉スルニ至リ又被疑者南相燠
 ニ倣ヒテ昭和五年夏ヨリ鄉軍社陵里ニ
 夜學講習所ヲ設立シテ不就學兒童五
 十名ヲ收容シテ勞働讀本其ノ他、社會科
 學ヲ基礎トシテ自カラ無産教育ヲ施シ革
 命意識ヲ教養訓練ニ努メタリ
 被疑者張植文ハ貧困ナル農家ニ生レ成規
 ヲ教育シ受ケタルコトナク十九歳ノ時笈

シ負ヒテ京城ニ出テ私立中東學校別科ニ
 入學シタルニ學費ノ關係止餘假テクニ
 年ニシテ中途退學シ同ニ郷里ニ於テ小
 作農カ爲スニ至リタルカ衆庭ノ貧困自
 己ノ不遇ハ畢竟現在ノ社會制度ノ
 罪ヲリトノ不平ヲ抱ヤ共產主義ニ共感ス
 ルニ至レリ爾來新幹會水原支會水原
 青年同盟水原農民組合等ノ思想團體
 ノ幹部トシテ活躍スルノ外被疑者ト
 極全季元變ト共ニ旋門里ニ新興學堂
 龍沼里ニ大化義塾社會里ニ普新講習
 所ヲ創立シテ不就學兒童シ五ノ名
 乃至六ノ名ヲ收容シテ勞働讀本等ヲ教

科書トシテ無産教育ヲ施シ貧農屬子
受ニ對シ共產主義革命意識ノ教養訓
練ニ努メタリ
被疑者朴勝極ハ相當富裕ナル家庭ニ
育ク京城培材高等普通學校卒業後
昭和三年三月東京ニ渡リ私立日本大
學予科一年ニ入學シタルニ在學中
竹田リ左他女收物ヲ耽讀シテ共產主
義ニ共鳴シタルヨリ教育ヲ嫌忌シテ
今年七月退學般歸ス爾來水原ニ於
ケル新聞日報水原支局ヲ經營ノ傍
被疑者李元燮全張柱文ト共ニ旋
門里ニ新興學子堂龍沼里ニ大仁義塾

社倉里ニ普新調習所等シ創設シ自
 カラ最高指導者トナリテ無産教育
 シ施シ或ハ新將會水原支會水原記
 者同盟水原青年同盟朝鮮ガコレタリ
 ア藝術同盟水原支部水原農民組
 合等ヲ創立シテ一年ハ水原ニ於テ
 口展シ同進シタル奇農村青年ニ對
 シテ革命意識ヲ鼓養シ最近數ヶ年
 ニ於テ之不穩ナル言動ヲ弄シテ暴
 署ニ拘禁セラルフトニテ五回以上
 ヒタル之豪傑ニ改悔ノ情ナリ益々
 ナル共產思想ヲ抱クニ至レリ
 被疑者李元變ハ性質陰險素行極

ナテ不良貧困ナル家庭ニ生レ、幼少ニ
 成規、教育ヲ受ケタルコトナシ、稍ル長
 スルニ及ヒ、京城ニ在テ苦學、堂々ト
 トシテ苦學スル中、現在ノ社會制
 度ニ不滿ヲ抱キ、共產主義ヲ其鳴
 歌スルニ至ル、爾來朝報日報、社ノ受
 付或ハ全社、島山支局、毎日、報、京、東、支
 局、中、外、日、報、京、東、支、局、等、ヲ、佐、營、ス、ル、ノ
 傍、新、聞、會、京、東、支、局、中、央、青、年、團、盟
 幹部トシテ、思想運動ニ在リ、タルカ
 一昨、年、三、月、敏、郎、後、ハ、前、記、ノ、通、リ、被、疑
 者、林、勝、程、全、張、程、支、ト、共、ニ、農、業、ノ、傍
 ヲ、無、産、教、育、ニ、熱、中、シ、貧、農、層、子、女、

訓練 共產主義的 革命意識
前記 通り 疑者 汎仁澤 全相
金榮 相合 張狂 文全 朴勝 程全 李
元 變等 ハ何レ之 極端ナル 共產主義
者ニモテ 現在ノ 社會制度ニ對シテ
ル不満ヲ 抱テ 共產主義 革命ヲ爲
ニ負 農層ノ 子弟ニ對シテ 教育ヲ
シ 施シ 或ハ 思想團體ニ關係シテ 表現
運動シ 通シテ 革命意識ヲ 教養訓練
スル等ニ 努力ノ ツ、アルニ 現下ノ 客觀
的諸情勢下ニ 於テハ 容易ニ 其ノ 目
的ヲ 達成スルコト 能ハサル 實情ニアル

二トヲ察知ニ茲ニ被疑者等一從來
運動方針ヲ轉換シ專ラ農民運動ノ
ニ立カリ注干非合法的ニ赤色農民
斗争ヲ展開シテ曰本帝國主義ノ權力
朝鮮民族ヲシテ革命ニ導キ
露緬糾ヨリ離脱シ私利私欲ノ度ヲ
破壊シテ魚鱗取ルニ無陷綱ノ共産主義
新社會ヲ建設スルコトヲ目的トシテ
第一被疑者等朝鮮煥ハ前項ノ目的ニテ
行ノ手段トシテ昭和六年二月中旬水
登師李宗赫方ニ赴キ被疑者沈仁
澤ニ共ニ合衆ノ運送及指導ヲ受ケ
農民運動上ノ運送及指導ヲ受ケ

夷二被疑者、相煥金、然不、
 和六年五月七日、正午頃、被疑者、沈、
 澤、カ、郷里、栗浦、里、米穀買入、爲ト、
 仁、般、省、中、訪、同、シ、全、里、ノ、衆、山、ク、又、
 千、林、ノ、中、ハ、何、候、與、テ、分、書、ノ、通、リ、ニ、於、
 テ、赤色農民組合、組合ニ、何、次、ノ、如、キ、後、
 議、ヲ、爲、シ、秘、密、結、社、赤色農民組合、ノ、後、
 組織、ヲ、爲、ス、
 赤色農民組合、ノ、組織、
 被疑者、中、相煥、アリ、逃、去、ニ、於、ケル、水、派、
 農民組合、ノ、農民、運動、不、振、ノ、原因、
 ハ、警察、ノ、彈、壓、ニ、因、ル、ト、簡、單、ナ、ル、
 報告、ヲ、爲、シ、ク、ル、後、之、カ、挽回、策、ヲ、

證リタルニ被疑者沈仁澤ハ別紙
証受 邦 寫ノ農組ノ請任務ナ
ル 文書ヲ取在レ一應朗讀ノ上各
員ニ付説明ヲ加ヘタル後
從來ノ農民運動ノ誤謬ヲ指摘
將來ハ水振農民組合ナル表現圖作
ノ裏面但僞トシラ非合法のニ赤
色農民組合ニ但僞シ當分の間下
運動ヲ展開シラ非合法的ニ具
但僞シ拡大シ漸次赤色農民組
合ヲ表現圖作タル水振農民組
合ノイニシアチーブルヲ握ル
的ニ赤色農民運動ヲ展開シ奥

赤色農民組合の支部を組織するに
スルニハ現在水原・平澤方面の
各部落にアルツレハ一農旗會
或ハ親睦會ノ中ニ赤
分子の潜伏アルニメ農旗會ヨリ
クレハ運動の依リテ農民闘争
ヲ激成セシメ闘争ヲ通シテ完成
セサルハカリトスレ
ト提議シタルニ被疑者ナク相煥
全金宗伯ハ大ニ是ノ叙音ニ賛
成シ即ち赤色農民組合ヲ
金沈 仁澤
榮 相澤

0204

南 湘 燠

三名ニ依リテ但織シ更ニ楊口甘面

方面ノ同志被疑者科陽極全

張柱又全李元變又又加六八

シムヘク名レカ但織責任者トシ

チ金榮相ヲ選任シ合州ニ該

文書ヲ各分ノ間赤色農民但該

合ノ綱領規約ト看做シ赤色

農民組合ノ指導方針トスル

コトニ反談シ約一町圖ニシテ散

會セリ

被疑者金榮相ハ此ノ決議ニ基キ但

織責任者トシテ農組ノ諸任務ヲ

ル文聖ヲ其ノ席上被疑者沈仁澤ヨ
リ受取リ五月二十日午後一時頃被疑
者李元燮全張在子下榻而青龍
山ノ麓水林ノ中刑依實況見分書
ノ通リニ被疑者李元燮ニ被疑者沈仁澤
澤ヨリ指導セラル要領ヲ以テ
テ赤色震氏組合加入方ヲ指示シ
タルニ被疑者李元燮全張在子下
大ニ具ノ主旨ニ賛成シテ即加入
ヲ義諾シタルカ被疑者金梁相ハ席
上被疑者朴勝熙ニ初誘加入方ヲ
兩名ニ依頼シテ農民ノ諸任弱シ
疑者李元燮ニ腹ニシテ被疑者

0206

朴勝極一手交方リ囑託セリ
被疑者李元燮ハ五月二十日楊N面
龍沼里ノ私立夜學滿習所ニ庭ニ於
テ被疑者朴勝極ニ會ヒ被疑者金
榮桐ヨリ依頼セラレタル丁農但ノ諸任
務ナル文書ヲ手交シ赤色農民但令
但蔵ニ付加方ヲ勸誘シタルカ感
情上即ハ回答シ辭ケ然ムトモテ
名ハ互別レタルカ被疑者朴勝極
ハ取定後直ケニ自定器定ニ於テ該
文書ヲ熟讀シ大ヒニ其ノ趣旨ヲ贊
成シタルカ斯ル文書ヲ所持スルコ
トハ甚チ奈着ヨリ探知セラルノ危險

ヲ憶リ讀ミ了リタル後即
チ變却シ証據、煙滅セリ
然ルニ其後又月初旬被疑者朴勝
極ハ西井里駅前理髮店附近、路
ニ於テ被疑者金榮相ト會談、結果
赤色農民組合、但蔵、加入スル旨承
諾シ興一、田劍一ル打合、ハ後日ニ
シテ立別タルカ茲ニ於テ亦色農民
組合、但蔵ハ最初、訂出通り

指導者

但蔵責任者

沈仁澤
常相煥
金榮相
李元燮

0203

張 柱 文
朴 勝 極
二 依りテ 構成セラルルニ至リタルカ被疑
者 金 榮 相ハ 又 月 中 旬 西 井 里 李 常 龍
方ニ於テ 相 導 者タル被疑
朴 勝 極 疑 者 李 元 燮 合 張 柱 文 全 澤
シタルカ茲ニ於テ 秘 密 結 社 赤 色 農 民
但 合ノ 不 部 但 咸ハ 完 成セリ
夢ニ赤色農民組員タル被疑者朴勝
極 全 金 榮 相 全 張 柱 文 全 李 元 燮 合
率 相 導 者ハ 赤 色 農 民 組 員 但 合ノ 不 部
又ハ 班ヲ 結 成シテ 其ハ 組 織ノ 據 大 強

化計以テ前項ノ目的達行ノ手段
トシ其ノ後屢々循行の「運治」誤議
ナリシカテ十月二十七日午前
省林務廳金金榮不桐金榮經文榮八
楊下西莫口池里ノ川邊「秘密集會」
ヲ角ニ赤色農民組合ノ組織問題ニ
付懷疑ナル結果一被疑者旅程文八
約落、角邊然安摩又人ノ右部蓋ニ赤
起農民組合ノ支部ヲ六班ニ能成スルニ
一、開爭ヲ商正テ但做スルコトヲ決議シ
全州ニ些小作人町地主間ニ相考問
顯化マムトシソ、アル莫口池里ノ小作人
ヲ煽動シテ小作爭議ヲ誘発セシメ

又チ支部又ハ班ヲ非合法的ニ結成スル
コトヲ申合ヒ散會シタルカ今日午後
大外環被疑者張柱文ハ旋門里ノ前
記被疑者村勝經者ヲ訪レタルカ被疑
者村勝經ハ全金樂相ト當日談議
シタル者色霞阻但微同類ノ内容ヲ傳
達シタル被疑者張柱文ハ赤色農民
組合並ニ任前トシテ汝カ貴佐者ナリ貴
地里ノ小作人ヲ煽動シ小作爭議ヲ起
ス一ヤコトヲ命ジタルニ被疑者張柱文
ハ即時之レヲ被疑レ先ツ小作爭議ノ事
端トシテ小作人側ノ氣分調査并合又

PDF created with FinePrint pdfElement - Buy trial version

愛口池電ノ小作争議計画ノ情勢ヲ報告
ニ小作人々會ニ當場ニテ和議ヲ提ス
タル友類ナル被疑者朴勝植ハ身
餘ニ故障アルヲ理由トシテ表面ニ立ッコト
ヲ避ケ被疑者朴勝植又ニ次ノ如キ小作争議
戰術上ノ指令ヲ爲ス
以テ小作人側ノ態度ヲ素リ、ル様充分
注意シテ指導スルコト
ニ地主對スル小作人側ノ要求事項ハ可成
小作人々之意思ヲ尊重シテ（當面、
利益ニス早カシク作ルコト、
蓋シハ人々當面ノ利益トシテ經
済關係ノ範圍ニ局限シテハ

赤色農民運動ノ最上法ナル者ナリト
 被疑者張柱文ハ今季九月十六日
 者朴勝極ノ指示ニ従ヒ今日午後
 黄口忠聖趙學謙等所ニ集リ小作人
 十數名ヲ集メ小作人代表ヲ選出シ被
 疑者朴勝極等ハ張柱文等ヲ演説シ
 ナリ現在ハ社會制度ノ不備及農民ノ指
 摘シ地主等ハ有テ不忠不義ノ行爲
 テ小作人等ハ要求シテ農民等ハ抗爭
 ト小作人等ハ運動シタルニ小作人
 何レニ運動シテ直チニ之ニ賛成シ第
 一被疑者張柱文全共運動會中ハ十

0214

リ管理人ニ対スル小作人側ノ要求事項トシテ
テ九託四環目ヲ掲ケ
一管理者カ小作人ニ貸付ケアル金ハ半
額トシ無利息ニテ十年ノ年式償還
ト爲ス
二管理手数料タル物目概ニ付二厘ハシ
三此止スルニ
四種物トシテ一斗五升ニ付キ毎年三斗五合
宛給シツアルヲ五年ニ増ス
五右ニ要求シ得レサル場合ハ物落リ爲
サス小作料ノ不納同意ヲ爲ス
六小作人全部ノ承諾ヲ得被疑者無任
道ノ疑義ニテ小作人側ノ要求ト爲ス

約メ小作人全部の隊伍ヲ爲シテ靜忍
 軍以本方ニ御成リ國体の示成ル力ヲ
 以テ要求事項ヲ交渉シ小作人側ノ
 目的ヲ貫徹スル事難キナリトモ
 ルニ小作人全部ニテ不難ニ午後七
 一時散會セリ
 而シテ翌二十一日ハ門下小作人四十數
 名ハ被疑有テ又猶門下ニ金半元
 變金半元國庫券ハ被疑有テ門下ニ
 々隊伍ヲ組ミテ靜忍軍ハ地管理人
 坂本重幸方ニ押寄ル小作人側ノ要求
 事項ハ莫クテ示成リ交渉ヲ爲シ不穩
 ナル直接交渉ニ敢テ出ル形勢

ヲ示シ坂本陣平以テ展轉ノ念ヲ生
セシメタルニナリ
翌ニヤ四月八日某村張姓ノ李元妻金
李鍾國張建村ノ水原姓某着ニ小作
手議事件ヲ取調ハシテ任意同行
シラルト云々疑者朴勝福ハ指導者ヲ
失念ル小作人側ノ結末ヲ覆入且ツ米爭
情狀ノ内情ヲ解スルヲ作事議ヲ終新
聞手ヨリ助益耳爭ハ孰モ指導スルコ
トノ目的トシテ同日正午頃北陵里ニ至
リ被疑者金榮相以誠ニ結末被疑
者金榮相ヲ以テ直接ニ問フニ
コトニ米議ヲ被疑者金榮相ハ全無干

[illegible]

北走シ振威郡古徳面海倉里驛
 萬益方ニ潜伏シ更ニ旅費二十三
 田余リヲ得テ北走計一途中十二
 月二十一日水原急参着員ノ半
 依リ遠衝ムラレタルモノナリ

右事件ノ案スルニ被疑者有華國燠合金
 榮個全農生又金朴勝極金李元談ノ
 行為ハ何レノ意識的ニ赤色農民組合
 シ組織シ更ニ共ノ目的遂行ノ手段トシ
 テ小作爭議ナル實踐行為ヲ敢行シタ
 ル又ノニシテ共ノ行為ハ各、恐無維持法
 第一條ニ該當スル犯罪ニシテ証拠又動
 カスヘカラサルニテテ起訴必分
 ニ被疑者有仁輝ノ行為ハ全法第一條
 ニ該當人ト犯罪ニシテ所在不明ニ付
 起訴止必分ニ被疑者有李鍾國金
 洪建杓ノ行為ハ暴力行為等必罰ニ
 關スル法律第一條第一項ニ該當スル

犯罪ナリト認メラル、又本件小作手
 誤ヲ為スル至リタル動機ハ金ヲ被疑
 者朴勝越全張柱文全李元爰全金榮
 相ノ計画酌煽動一乘ヨラレタル又ハニシ
 テ且フ犯意ツクシ犯罪構成ノ域ニ達
 セサルモノト思料ヨラル、ニ付不起訴也
 今相成り度
 昭和七年一月六日

水原警察署司法警察官

道警部 補首藤 昨

京成地方
 検事 寺田 克巳 殿

本部 (0) 斯汀運動 = 日常非合法 / 1 = 非合法下 = 合法運動



運動 = 激烈 - 展開される

(0) 運動 = 激烈 - 展開される時 = 支配階級 / 奴才 / 弾壓
ハ開始される面は弾壓 = 弾壓を加へた尚未出来れば
結局は組合 / 解散せざる



(1) 非合法 / 統制下 = 運動ハ依然トハ継続される



(1) 非合法 = 一ツノ組合内ニ於テ只今ハ合法体系ト非合法体系ハ並存シ非合法体系ハ合法体系ヲ統制運轉シ統一の = 行動ヲ為ス

支部・班建設ヲ為スハ一個ノ戰術

合法組織体系下ニ於テ支部・班ヲ設置シ時ハ非合法体系ヲ去ス

合法の = 農民團體 (農民) ヲ組織シ時ハ非合法体系ヲ去ス

1 性質ヲ帯び (1) ヲ組織スルニ其ハ統一組織ナルハ團體ハ大

衆ハ時ニ大衆力ヲ為シ時ニ變更シ時ニ大衆ハ農民組合 / 支部

特色農組ノ諸任務——

- 一、部分的日常闘争ノ形成、激發
- 二、日常闘争ノ反封建闘争連絡
- 三、原則的要求闘争ニ於テ部分的要求闘争(原則的紛争・部分的紛争)
- 四、勞農同盟ノ思想=(國際主義ノ普及宣傳)
農民ハケエロ主義—愛國排外主義ノ排撃
- 五、改良主義諸形態ノ暴露、逐出
1、天道教民族主義
2、全朝鮮農民組合ノ農民社會主義(人民主義の傾向)
3、協同組合ノ平和的改良主義
4、地主及官僚ノ諸産業組合ノ反動ヲ暴露
5、諸改良主義農民組合ハニテ左翼的反動ヲ形成
6、農民組合ノ劇的意味、下ニ消費組合運動

- 八、諸改良主義農民組合、政、反翼的反対派、形成
- 九、農民組合劇主意味、下、消費組合運動
- 十、農村、諸開爭組織、如、紅、八、公、農、組、1947、進行、
- 四、農民組織形態

合法的組織

非合法的組織



合法組織、非合法組織
 上開、下開、
 合法組織、非合法組織
 合法組織、非合法組織

此、何故必要ナレトモ、我等、只今迄活動以來對相、小ナリ
智識分子ヲ有スル馬メ氣分ト思想運動ハ多大ノ刺激ヲ受ケル也
農民ノ革命的力量ヲ發揮セシメタル時ニテハ馬メ外ニ出来得ナク、

決